

仮設管理待合棟・仮設動物炉棟 図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
AK-000	仮設管理待合棟・仮設動物炉棟 図面リスト	----
AK-001	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-1	----
AK-002	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-2	----
AK-003	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-3	----
AK-004	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-4	----
AK-005	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-5	----
AK-006	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-6	----
AK-007	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-7	----
AK-008	仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-8	----
AK-009	仮設管理待合棟、仮設動物炉棟 敷地図・案内図	(A1) 1/400, 1/10000
AK-010	仮設管理待合棟、仮設動物炉棟 配置図	(A1) 1/250
AK-011	仮設管理待合棟 外部仕上げ表	----
AK-012	仮設管理待合棟 内部仕上げ表	----
AK-013	仮設管理待合棟 平面図・屋根伏図	(A1) 1/100
AK-014	仮設管理待合棟 基礎伏図・土台大引伏図	(A1) 1/100, 1/10
AK-015	仮設管理待合棟 小屋伏図・母屋垂木伏図	(A1) 1/100
AK-016	仮設管理待合棟 立面図	(A1) 1/100
AK-017	仮設管理待合棟 断面図	(A1) 1/100
AK-018	仮設管理待合棟 矩形図 1	(A1) 1/30
AK-019	仮設管理待合棟 矩形図 2	(A1) 1/30
AK-020	仮設管理待合棟 矩形図 3	(A1) 1/30, 1/10
AK-021	仮設管理待合棟 矩形図 4	(A1) 1/30
AK-022	仮設管理待合棟 展開図 1	(A1) 1/100
AK-023	仮設管理待合棟 展開図 2	(A1) 1/100

図面番号	図面名称	縮尺
AK-024	仮設管理待合棟 展開図 3	(A1) 1/100
AK-025	仮設管理待合棟 展開図 4	(A1) 1/100
AK-026	仮設管理待合棟 展開図 5	(A1) 1/100
AK-027	仮設管理待合棟 建具仕様書	----
AK-028	仮設管理待合棟 建具符号図	(A1) 1/100
AK-029	仮設管理待合棟 建具表	(A1) 1/100
AK-030	仮設管理待合棟 サイン配置図	(A1) 1/100
AK-031	仮設管理待合棟 建築面積求積図・室面積求積図	(A1) 1/100
AK-032	仮設管理待合棟 開口部算定図-1 (建築基準法)	(A1) 1/100
AK-033	仮設管理待合棟 開口部算定図-2 (建築基準法)	(A1) 1/100
AK-034	仮設管理待合棟 採光補正係数算定用水平距離図	(A1) 1/200
AK-035	仮設管理待合棟 開口部算定図 (消防法)	(A1) 1/100
AK-036	仮設管理待合棟 24時間換気計算図	(A1) 1/100
AK-037	仮設管理待合棟 耐力壁算定図 1	(A1) 1/100
AK-038	仮設管理待合棟 耐力壁算定図 2	(A1) 1/100
AK-039	仮設管理待合棟 接合金物算定表	----
AK-040	仮設動物炉棟 平面図・立面図・断面図	(A1) 1/20, 30, 50
AK-041	仮設動物炉棟 鉄骨構造標準図 (1)	----
AK-042	仮設動物炉棟 鉄骨構造標準図 (2)	----
AK-043	仮設動物炉棟 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	----
AK-044	仮設動物炉棟 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	----
AK-045	仮設動物炉棟 伏図・軸組図・RC断面リスト	(A1) 1/50
AK-046	仮設動物炉棟 鉄骨詳細図・鉄骨断面リスト	(A1) 1/20

<p>令和7年度 弘前市畜場長寿命化改修工事（建築工事）特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 青森県弘前市大字常盤坂2丁目20-1、20-4、20-5、20-6、20-7</p> <p>2. 敷地面積 21,875.01 m²</p> <p>3. 工事種目</p> <p>直接仮設工事 地業工事 木工事 防水工事 屋根及びとい工事 金属工事 建具工事 塗装工事 内・外装工事 ユニット及びその他工事</p> <p>4. 工事範囲 図示</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書最新版」（以下「木造標準仕様書」という。）による。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の[] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) G印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和2年2月7日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。</p>	<p>章 項目</p> <p>1 意各章共通事項</p> <p>○適用基準</p> <p>○適用区分</p> <p>○環境への配慮</p> <p>○材料の品質等</p>	<p>1) 図面、本特記仕様書、木造標準仕様書及び標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 [基準とするもの] ・建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・公共建築改修工事標準仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部</p> <p>[標準とするもの] ・木造住宅工事仕様書（最新版） 一般財団法人 住宅金融普及協会</p> <p>2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V₀= 3.4m/s） 地表面粗度区分（Ⅲ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（十二）</p> <p><1.4.1> 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p><1.4.2> 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</p> <p>5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ・床型持用鋼製デッキプレート・鉄鋼柱下無収縮モルタル ・無収縮グラウト材 ・既製調合モルタル(タイル工用) ・既製調合自地材・ルーフトレン ・吸水調整材 ・錠前類 ・クローザ類 ・自動扉機構 ・自閉式吊り引戸機構(手動開き式) ・重量シャッター ・軽量シャッター ・オーバーヘッドドア ・防水剤 ・現場発泡断熱材(特定のフロンによるものを除く) ・フリーアクセスフロア ・可動間仕切 ・移動間仕切 ・トイレブース ・煙突用成形ライニング材 ・天井点検口 ・床点検口 ・グレーチング ・トブライト ・ポリマーセメントモルタル・鑄鉄製ふた</p>	<p>○設備工事との取り合い</p> <p>施工範囲 ・ 図示された貫通孔、開口部の型枠及び補強筋 ・ 図示された壁、天井の仕上材及び下地材の切込み並びに ・ 駆動装置が電動による建具の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</p> <p>施工図 ※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し監督職員の承諾を受ける。</p> <p>2 章 仮設工事</p> <p>○足場等</p> <p><2.2.4> 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>3-1 章 土工事</p> <p>・埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>材料及び工法 ・材料 () 工法 () ※表3.2.1による 種別 ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質() 受渡場所 () ・D種 適用場所 () 品質 細粒分 (75µm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。 ・材料 () 工法 ()</p> <p>・建設発生土の処理 ※ 場外搬出適正処理 (参考標準運搬距離 km) ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外指示の場所に処分 (受入れ施設名、受入れ場所、仮置場所、搬出調書等を提出する。)</p> <p>3-2 地業工事</p> <p>・床下防湿層 (4.6.2、5) 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ・図示</p> <p>・地盤改良工法 種類及び施工方法等 ・図示による ()</p> <p>4 章 木造工事</p> <p>○材料 使用する材料は、部材リストによる図示及び特記による指定並びに木造標準仕様書各章の規定による。</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 JAS・JIS規格品 ※ F☆☆☆☆品等 (木造標準仕様書4.1.3(a)(1)及び4.1.3(a)(2)による) その他の材料 ※上記規格品に準ずる ・ 図示</p> <p>○防霉・防蟻処理 <4.2.1~3></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>防霉・防蟻処理が不要な樹種</th> <th>薬剤の加圧注入</th> <th>薬剤の塗布等</th> </tr> <tr> <td>下記による</td> <td>・</td> <td>・K2○K3・K4</td> <td>○行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>インサイジング ・適用する ・適用しない</p> <p>○薬剤の塗布等による処理 薬剤の種類 ○木造標準仕様書4.2.1(ウ)(a)による 適用部材 ○GL+1000の範囲にかかる木造部材 (造作材は含まない) 処理の方法 ・ ※木造標準仕様書4.2.1(ウ)(b)による</p> <p>・薬剤の接着剤への混入による防霉・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	処理の種類及び処理の方法				適用部材	防霉・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	下記による	・	・K2○K3・K4	○行う									適用部位	処理の方法							<p>5 章 軸組構法壁構造系工事</p> <p>○木材 <5.2.2> 軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表1による</p> <p>○構造用面材 <5.2.3> 軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による</p> <p>○接合金物 <5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・火打金物</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・筋かいプレート</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td>Z</td> <td>10.0~25.0kN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物に付随する接合金物も含む。</p> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○釘及び木ねじ <5.2.4><5.5.7><5.5.9> 釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス鋼</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス鋼</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Z、C、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・火打金物	Z			・筋かいプレート	Z			・引き寄せ金物	Z	10.0~25.0kN		・梁受け金物	Z							種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考																種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製								種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス鋼	JIS B 1112	・すりわり付き木ねじ	ステンレス鋼	JIS B 1135							<p>○合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入 (K3) による防霉・防蟻処理 適用部位 ○図示 <4.2.2> ・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書4.2.2 ・(7)による ・(4)による <4.2.3></p> <p>・地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統 () 剤型の種類 ・液剤 ・粒剤 処理方法及び使用量 ・帯状散布 (帯状の幅: 約20cm) 液剤: 処理長さ 1L/m 粒剤: () ・面状散布 液剤: 3L/m² 粒剤: ()</p> <p>・防霉措置 <4.2.4> 基礎外周部の換気孔 ・ねこ土台 材質等 () ※防鼠スクリーン又は防虫網 ・換気孔 ※防鼠スクリーン又は防虫網</p> <p>小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) ・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) 換気孔の大きさ ・ 図示 ・ <4.3.1~3></p> <p>・防火被覆処理 <4.3.1~3> ・防火被覆材の材料 ・ 図示 ・ ・防火被覆材の厚さ ・ 図示 ・ ・接合部等の防火被覆処理 ・ 図示 ・</p>
処理の種類及び処理の方法																																																																																																																		
適用部材	防霉・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																																																																																																															
下記による	・	・K2○K3・K4	○行う																																																																																																															
適用部位	処理の方法																																																																																																																	
Z、C、D、Sマーク表示金物																																																																																																																		
種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																																																																															
・火打金物	Z																																																																																																																	
・筋かいプレート	Z																																																																																																																	
・引き寄せ金物	Z	10.0~25.0kN																																																																																																																
・梁受け金物	Z																																																																																																																	
種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考																																																																																																														
種類	材質	その他																																																																																																																
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																																																																																	
種類	材質	その他																																																																																																																
・十字穴付き木ねじ	ステンレス鋼	JIS B 1112																																																																																																																
・すりわり付き木ねじ	ステンレス鋼	JIS B 1135																																																																																																																

<p>○ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p><5.2.4><5.5.10></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">Z、C、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ・ ※木造標準仕様書5.2.4による 寸法 ・図示 座金の種類 ・引張応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.3 () ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.4 () 表面処理 ・ アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ・ 寸法 ・図示 座金の種類 ・引張応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.3 () ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.4 () 表面処理 ・</p> <p>・ラグスクリー</p> <p><5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">Z、C、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリー</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリー</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリー</td> <td>木造標準仕様書5.2.2のボルトによる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ドリフトピン</p> <p><5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">ドリフトピン</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・木栓及び木だぼ</p> <p><5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">木栓・木だぼ</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木だぼ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・接着剤</p> <p><5.2.4></p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>・孔あけ加工</p> <p><5.4.3></p> <p>ボルト孔の径 ・図示 ※木造標準仕様書5.4.2による ドリフトピンの孔径 ・図示 ※ピン径と同径</p>	Z、C、D、Sマーク表示金物			種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト	Z		・六角ボルト	Z		・座金	Z		Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物					種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考	・		図示			・					Z、C、D、Sマーク表示金物			種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリー	Z								種類	材質等	寸法・形状等	表面処理	・ラグスクリー	木造標準仕様書5.2.2のボルトによる											ドリフトピン				種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	・			・	※SS400	※丸鋼						木栓・木だぼ				種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だぼ								<p>○表面の仕上げ</p> <p><5.4.4> (18.13.2)</p> <p>見え掛り面の表面仕上げ</p> <p>○製材 機械加工 ・A種 ・H-A種 手加工 ・H-B種 ・H-C種 <表5.4.3> <表5.4.5></p> <p>○構造用集成材 機械加工 ・A種 ・B種 ・丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 <表5.4.4> <表5.4.6></p> <p>○木材保護塗料塗り 施工箇所 種類 ○図示 ・A種 ・B種 (18.13.2)</p> <p>・アンカーボルトの設置等</p> <p><5.5.3></p> <p>埋め込み深さ 保持及び埋込み工法 埋込み位置の許容誤差 ・ ・A種 ・B種 ・ ※±5mm</p> <p>・基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ</p> <p><5.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書5.5.4 (7)による ・無収縮モルタルモルタルの厚さ ・ ・図示</p> <p>○建方精度</p> <p><5.5.6></p> <p>建入れ直し後の建方精度の許容値 ・1/500以下 ※1/1,000以下</p> <p>○接合金物の工法</p> <p><5.5.8></p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ○埋め木 ○簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・</p> <p>○釘及び木ねじの工法</p> <p><5.5.9></p> <p>構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・つぶし頭釘打ち ・釘頭埋め木 ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p> <p>・火打土台</p> <p><5.6.2></p> <p>・木製の火打土台 ・鋼製火打土台</p> <p>○火打梁</p> <p><5.7.8><5.8.6></p> <p>小屋組 床組 ・木製の火打梁 ・木製の火打梁 ○鋼製の火打梁 ・鋼製の火打梁</p> <p>・床束</p> <p><5.8.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	<p>○木材の耐候性処理</p> <p><10.3.1>(18.13.2)</p> <p>屋外に使用する仕上げ木材 ○木材保護塗料塗り 施工箇所 種類 ○図示 ・ ○A種 ・B種</p> <p>・木材の防虫処理</p> <p><10.3.2></p> <p>○外壁通気構法下地</p> <p><10.8.2></p> <p>積雪地の場合の下地補強</p> <table border="1"> <tr> <th>工種選別</th> <th>補強工法</th> <th>補強高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○縦通気胴縁工法</td> <td>※木造標準仕様書10.8.2(9)(h)による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○横通気胴縁工法</td> <td>※木造標準仕様書10.8.2(9)(i)による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・和室の造作</p> <p><10.10.1></p> <p>柱 ・背割不要の処理</p> <p><11.2.2、4></p> <p>・FRP系塗膜防水</p> <p><11.2.2、4></p> <p>・ルーフトレン ・FRP系塗膜防水用ルーフトレン ・鋳鉄製 ・オーバーフロー管 ※つば付き 製造所の指定する製品 ・下地合板の上の防火板 種類 (・ 厚さ (・ ※ケイ酸カルシウム板) ※10mm)</p> <p>防水層平場の勾配 ・ ※1/100以上 水張り試験 ・行う</p> <p>○シーリング</p> <p><11.3.2><表11.3.1><11.3.3></p> <p>下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。 ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※木造標準仕様書3.3(a)(1)から(3)までによる</p> <p>・防水テープ</p> <p><11.4.2></p> <p>両面粘着防水テープの幅 ・ ※50mm以上</p> <p>・バルコニー手すり</p> <p><11.4.3></p> <p>バルコニー手すりの工法 ・図示 ※木造標準仕様書11.4.3(4)①から⑤までによる固定方法</p> <p>・ケイ酸質系塗布防水</p> <p><11.5.1>(9.6.1、3)(表9.6.1、2)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・C-U I</td> <td></td> <td>・C-U P</td> <td></td> </tr> </table> <p>○材料</p> <p><10.2.2> <10.2.3> <10.2.4></p> <p>○図示 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による</p> <p>釘 ・JIS A 5508 材質 (木造標準仕様書10.2.4(1)(7)による) ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質 () ・造作材化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し</p> <p>木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135に規定されているもの以外の木ねじ 材質 ()</p> <p>○表面仕上げ</p> <p><10.1.3></p> <p>製材の表面仕上げ ○機械加工 ・A種 ・B種 ○C種 <表10.1.1> ・手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 <表10.1.2> ※内部造作材はH-B種 ※下地材はH-C種</p> <p>造作用集成材の表面仕上げ ○機械加工 ・A種 ・B種 ○C種 <表10.1.1></p>	工種選別	補強工法	補強高さ(mm)	○縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(9)(h)による		○横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(9)(i)による		施工箇所	シーリング材の種類(記号)	図示	図示					種別	施工箇所	種別	施工箇所	・C-U I		・C-U P		<p>○金属板葺</p> <p><14.3.2~8></p> <table border="1"> <tr> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>固定釘等の材質</th> </tr> <tr> <td>・ ※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td>0.35</td> <td>・平葺 (一文字葺) ・心木あり瓦葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ○立平葺</td> <td>・木造標準仕様書表14.3.2による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>心木の防腐・防蟻処理方法 ()</p> <p>・平葺 (一文字葺) の工法 ・はげの作り方 ・ ※図示 ・心木あり瓦葺葺の工法 ・銅板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 ・ ※木造標準仕様書14.3.5(3)(7)(c)による 瓦棒の間隔 ・ ※図示 ・銅板による屋根一般部分の工法 瓦棒の間隔 ・ ※図示 ・心木なし瓦葺葺の工法 屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部 ・雨押さえを付ける場合 ※木造標準仕様書14.3.6(4)(4)(a)による ・ ・雨押さえを用いない場合 ※木造標準仕様書14.3.6(4)(4)(b)による ・ 工法 吊子、各部の釘の留付け間隔 ・ 図示 ・ 建築基準法に基づく風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ○設置する (施工箇所 ○図示 ・)</p> <p>・とい</p> <p><14.8.2、3><表14.8.1></p> <p>といの材料 ・金属板 (銅板を除く。) 種類 ・木造標準仕様書表14.8.1 () 板厚 ・ ・谷どい 種類 ・木造標準仕様書表14.8.1 (耐酸被覆銅板) 板厚 ・0.4mm ・銅板 板厚 ・ ※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm ・硬質塩化ビニル樹脂製 種類 () 厚さ () 長さ ()</p> <p>とい受金物 材質 ・溶融亜鉛めつきを行った鋼板製 ・鋼板製 形状 ・市販品 (とい径100以下) ・25×4.5以上 足金物 材質 ・溶融亜鉛めつきを行った鋼板製 ・鋼板製 多雪地域 ・適用する ・適用しない 硬質塩化ビニル製集水器の形状 ・図示 硬質塩化ビニル製あんこうの形状 ・図示</p>	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質	・ ※JIS G 3322の屋根用コイル		0.35	・平葺 (一文字葺) ・心木あり瓦葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ○立平葺	・木造標準仕様書表14.3.2による											<p>・スレート葺</p> <p>・アスファルト</p>
	Z、C、D、Sマーク表示金物																																																																																																																																																										
	種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																								
	・アンカーボルト	Z																																																																																																																																																									
	・六角ボルト	Z																																																																																																																																																									
	・座金	Z																																																																																																																																																									
	Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物																																																																																																																																																										
	種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考																																																																																																																																																						
	・		図示																																																																																																																																																								
	・																																																																																																																																																										
Z、C、D、Sマーク表示金物																																																																																																																																																											
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																									
・ラグスクリー	Z																																																																																																																																																										
種類	材質等	寸法・形状等	表面処理																																																																																																																																																								
・ラグスクリー	木造標準仕様書5.2.2のボルトによる																																																																																																																																																										
ドリフトピン																																																																																																																																																											
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																																																																																																																																								
・ドリフトピン	・																																																																																																																																																										
・	※SS400	※丸鋼																																																																																																																																																									
木栓・木だぼ																																																																																																																																																											
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																																																																																																																																								
・木栓																																																																																																																																																											
・木だぼ																																																																																																																																																											
工種選別	補強工法	補強高さ(mm)																																																																																																																																																									
○縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(9)(h)による																																																																																																																																																										
○横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(9)(i)による																																																																																																																																																										
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																										
図示	図示																																																																																																																																																										
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																																								
・C-U I		・C-U P																																																																																																																																																									
板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質																																																																																																																																																							
・ ※JIS G 3322の屋根用コイル		0.35	・平葺 (一文字葺) ・心木あり瓦葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ○立平葺	・木造標準仕様書表14.3.2による																																																																																																																																																							

<p>・アルミニウム製笠木</p> <p>取付け用下地 ・図示 ※標準仕様書14.4.1による 伸縮調整継手 ・設ける(施工箇所 ・図示 ・) ・設けない</p> <p>(14.7.2、3) (表14.2.1) (表14.7.1)</p> <p>種類 ・250形 ・300形 ・350形 表面処理 種別 () 種 () 色合等 ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>・手すり及びタラップ (14.8.2、3)</p> <p>手すり ・SUS304(表面処理 ・ ※HL程度) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき種別 ※標準仕様書表14.2.2による</p> <p>タラップ ・SUS304(表面処理 ・研磨なし ・HL程度) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種 ・アルミ製</p>	<p>・モルタル塗り (15.3.2、5)</p> <p>モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既調合材料 () 既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状(※図示 ・)</p> <p>床の目地 ・設けない ・設ける (目地割り ・ ※2m程度(最大目地間隔3m程度) (種類 ・ ※押し目地) ・設けない</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない</p> <p>・防水剤 (試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤試験方法」による</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>防水剤の種別</td> <td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td> </tr> <tr> <td>混合割合</td> <td>セメント重量の5%以下 (凝結時間)</td> </tr> <tr> <td>凝結及び安定性</td> <td>始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。</td> </tr> <tr> <td>曲げ及び圧縮強度比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td> </tr> <tr> <td>吸水比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下</td> </tr> <tr> <td>透水比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10^{-5} Paとし1時間行う</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下 (凝結時間)	凝結及び安定性	始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。	曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下	透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、 3.0×10^{-5} Paとし1時間行う	<p>仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材Si</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形外装塗材Si</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・外装薄塗材E</td> <td rowspan="4">・</td> <td rowspan="4">・</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・着色骨材砂壁状</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形外装塗材E</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・薄付け仕上塗料</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材S</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材C ・内装薄塗材L</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材W</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・京壁状じゅらく ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材L</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材C</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材G</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・吹放し</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り ・ローラー塗り</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	工法等	・外装薄塗材Si	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・可とう形外装塗材Si	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・外装薄塗材E	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	・可とう形外装塗材E	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・薄付け仕上塗料	・	・	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・外装薄塗材S	・	・	・砂壁状	・吹付け	・凹凸状	・吹付け	・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・	・	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・内装薄塗材W	・	・	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・内装薄塗材L	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・内装厚塗材C	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・内装厚塗材G	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・	・	・吹放し	・吹付け	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー塗り	<p>・ALCパネルの場合の下地処理</p> <p>・マステック塗材塗り</p> <p>・せっこうプラスター塗り</p> <p>・ロックウール吹付け</p> <p>・しっくい塗り</p> <p>・こまい壁塗り</p>	<p>・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE</p> <p>・可とう型複層塗材CE</p> <p>・防水型複層塗材CE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE</p> <p>・軽量骨材仕上塗材</p> <p>薄付け仕上塗料 吸放湿性 ・適用する ・適用しない</p> <p>厚付け仕上塗料 吸放湿性 ・適用する ・適用しない 上塗材 ・適用する ・適用しない</p> <p>複層仕上塗料 耐水性 ・ ※耐候形3種 上塗材の種類 溶媒 ・ ※水系 樹脂 ・ ※アクリル系 外観 ・ ※つやあり</p> <p>内壁目地部の形状 ・ ※V形目地付き</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p> <p>下塗り ・ 既調合プラスター(下塗り用) ・現場調合プラスター(下塗り用)</p> <p>上塗り ・ 既調合プラスター(上塗り用) ・しっくい塗り</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上げ吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25</p> <p>しっくい ・現場調合材料 ※標準仕様書15.10.2(1)(7)による ・既調合材料 製造所 () 種類 ()</p> <p>下地 ※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード</p> <p>調合及び塗厚 ・木ずり下地の場合 ※標準仕様書表15.10.1 ・こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書表15.10.2</p> <p>のり ・土壁用ののり ・ふのり ※つまた ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・砂壁用ののり ※ふのり ・つまた ・こんにやくのり ・にかわ ・合成樹脂系混和剤</p> <p>色土 ・土物仕上に用いる色土の種類 () ・大津仕上に用いる色土の種類 ()</p>	<p>色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの</p> <p>調合 下塗りの調合 ・ ※標準仕様書表15.11.2</p> <p>塗厚 ※標準仕様書表15.11.3による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () 工程 ※A種 ・ B種</p> <p>・土物仕上げ 種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法</p> <p>・大津仕上げ 種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法</p> <p>・防火戸 (16.1.3)</p> <p>・見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>・防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>○アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1)</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 (・) (建具符号: ・建具表による ・) 気密性の等級 (・) (建具符号: ・建具表による ・) 水密性の等級 (・) (建具符号: ・建具表による ・)</p> <p>外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号: ・建具表による ・) ・B種(建具符号: ・建具表による ・) ・C種(建具符号: ・建具表による ・) ・D種(建具符号: ・建具表による ・) ・E種(建具符号: ・建具表による ・)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・) (建具符号: ・建具表による ・) 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級(・) (建具符号: ・建具表による ・) 耐震ドア 面内変形追随性の等級(・) (建具符号: ・建具表による ・)</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 枠の見込み寸法 ○建具による</p> <p>表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1 ・BB-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具 種別 ・BC-1 ・BC-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板 ※図示 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL程度 ・No.2B程度</p>
		項目	品質・性能																																																																																																																												
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																														
混合割合	セメント重量の5%以下 (凝結時間)																																																																																																																														
凝結及び安定性	始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。																																																																																																																														
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																														
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下																																																																																																																														
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、 3.0×10^{-5} Paとし1時間行う																																																																																																																														
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	工法等																																																																																																																											
・外装薄塗材Si	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																																											
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																											
・可とう形外装塗材Si	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																																											
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																											
・外装薄塗材E	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																																											
			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																											
			・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り																																																																																																																											
・可とう形外装塗材E	・	・	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																																											
			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
・薄付け仕上塗料	・	・	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																											
			・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																										
・外装薄塗材S	・	・	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																											
			・凹凸状	・吹付け																																																																																																																											
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
			・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																											
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・	・	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																																											
			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
・内装薄塗材W	・	・	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り																																																																																																																											
			・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け																																																																																																																											
・内装薄塗材L	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
			・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け																																																																																																																											
・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
			・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け																																																																																																																											
・内装厚塗材C	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
			・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け																																																																																																																											
・内装厚塗材G	・	・	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																											
			・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り																																																																																																																											
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・	・	・吹放し	・吹付け																																																																																																																											
			・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー塗り																																																																																																																											
<p>・ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地 ・通気構法単層下地 換気口部の防水処理 ・通気構法二層下地 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 ・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定 ()</p> <p>ラスの材料 素材による区分 () 種類 () 単位面積当たりの質量 ()</p> <p>・せっこう系 ・セメント系 (15.5.2) (表15.5.1)</p> <p>・仕上げ塗材仕上げ (15.6.2)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	<p>704</p> <p>AK-003</p>	<p>令和7年度 弘前市斎場長寿化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 本造建築工事特記仕様書-3</p>																																																																																																																													

<p>○網戸等</p> <p>(16.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>・樹脂製建具</p> <p>(16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1)</p> <p>性能等級</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級 ()</p> <p>気密性の等級 ()</p> <p>水密性の等級 ()</p> <p>外部に面する建具</p> <p>・A種(建具符号:・建具表による)</p> <p>・B種(建具符号:・建具表による)</p> <p>・C種(建具符号:・建具表による)</p> <p>・D種(建具符号:・建具表による)</p> <p>・E種(建具符号:・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による)</p> <p>表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示)</p> <p>ガラス ・ ※複層ガラス</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL程度 ・No.2B程度)</p> <p>・鋼製建具</p> <p>(16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>・適用する(建具符号:・建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・S-4(建具符号:・建具表による)</p> <p>・S-5(建具符号:・建具表による)</p> <p>・S-6(建具符号:・建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板 ・</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ</p> <p>※標準仕様書表16.4.2による</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL程度 ・No.2B程度)</p> <p>・鋼製軽量建具</p> <p>(16.2.2) (16.5.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>・適用する(建具符号:・建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板</p> <p>・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板 ・</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ(mm) ・ 使用箇所()</p> <p>※標準仕様書表16.5.1による</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ・ ※鋼板</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL程度 ・No.2B程度)</p>	種類	材質	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	<p>・ステンレス製建具</p> <p>(16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>・適用する(建具符号:・建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・S-4(建具符号:・建具表による)</p> <p>・S-5(建具符号:・建具表による)</p> <p>・S-6(建具符号:・建具表による)</p> <p>・</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板 ・</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>表面仕上げ ・ ※HL ・鏡面仕上げ</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ</p> <p>※HL程度 ・No.2B程度)</p> <p>・木製建具</p> <p>(16.7.2~4)</p> <p>既成建具(建具の製作所の仕様による)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ・ ※B種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外)</p> <p>○フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 G</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗リ (※ラワン合板程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>不透明塗料塗リ (※しな合板程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 G</td> <td>樹種名 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 G</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 ()タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ・ ※表16.7.6による</p> <p>○かまち戸</p> <p>かまち樹種(集材材) 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ○建具表による ・ ※36mm</p> <p>・ふすま</p> <p>張りの種別 (・I型 ・II型)</p> <p>上張り(押入等の裏側以外)</p> <p>・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>縁仕上げ</p> <p>・塗り縁 ・生地縁(素地)</p> <p>・生地縁(ウレタンクリヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 ・建具表による ・ ※19.5mm</p> <p>・戸ぶすま</p> <p>見込み寸法 ・建具表による ・ ※30mm</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ・建具表による ・ ※30mm</p> <p>枠、くつずりの材料 ・建具表による)</p> <p>○建具用金物</p> <p>○建具の製作所の仕様による (16.8.2、3) (表16.8.1)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による</p> <p>○</p> <p>金属性建具に使用する番の枚数及び大きさ</p> <p>・建具表による</p> <p>※標準仕様書表16.8.2</p> <p>樹脂製建具に使用する番の枚数及び大きさ</p> <p>・建具表による</p> <p>※標準仕様書表16.8.3による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗リ (※ラワン合板程度)			不透明塗料塗リ (※しな合板程度)			板面の品質 ()			接着の程度 (・1種 ・2種)		・天然木化粧合板 G	樹種名 ()			接着の程度 (・1種 ・2種)		・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)			表面性能 ()タイプ			接着の程度 (・1種 ・2種)		<p>木製建具に使用する番の枚数及び大きさ</p> <p>・建具表による</p> <p>※標準仕様書表16.8.4</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール</p> <p>・建具表による</p> <p>※標準仕様書表16.8.5による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</p> <p>・建具表による)</p> <p>○錠前類 ○建具の製作所の仕様による</p> <p>【シリンダ箱錠及びシリンダ本締め錠】</p> <p>(品質)</p> <p>デッドボルトの寸法は17mm以上とする。</p> <p>鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <table border="1"> <tr> <td>使用頻度による性能</td> <td>1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締め錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>外力に対する性能</td> <td>1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>使用扉の質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)</td> <td>1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3) 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4) ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</td> </tr> </table>	使用頻度による性能	1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。		2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締め錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。		3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。		4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)	外力に対する性能	1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。		2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。		3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。		4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。	使用扉の質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)	1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。		2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。		3) 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。		4) ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。		5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。	<p>鍵</p> <p>1) かぎ(鍵)数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵)違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物—錠—第1部:試験方法)による。</p> <p>【レバーハンドル】</p> <p>(性能)</p> <table border="1"> <tr> <td>ねじり強度</td> <td>レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</td> </tr> <tr> <td>引張り強度</td> <td>ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</td> </tr> <tr> <td>垂直荷重強度</td> <td>ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</td> </tr> </table> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物—錠—第1部:試験方法)による。</p> <p>○クローザ類 ○建具の製作所の仕様による</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">性能試験項目</th> <th colspan="6">区分</th> </tr> <tr> <th colspan="2">①ドアクローザ</th> <th colspan="2">②ヒンジクローザ</th> <th colspan="2">③フロアヒンジ</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">閉じ力及び効率による区分(注1)(注2)</td> <td rowspan="6">Grad e2</td> <td rowspan="6">番手</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効率(%)</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効率(%)</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効率(%)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> <td>5以上</td> <td>30</td> <td>5以上</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>10</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> <td>15以上</td> <td>35</td> <td>15以上</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> <td>25以上</td> <td>40</td> <td>25以上</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> <td>35以上</td> <td>45</td> <td>35以上</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45</td> <td>45以上</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>閉じ速度(秒)</td> <td colspan="6">常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。</td> </tr> <tr> <td>温度依存性(℃)</td> <td colspan="6">緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ストップ力</td> <td rowspan="2">ストップ入力</td> <td colspan="2">60 N・m以下 但しコンシールド型は200 N・m以下</td> <td colspan="2">100 N・m以下</td> <td colspan="2">100 N・m以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ストップ解除力</td> <td colspan="2">8 N・m以上</td> <td colspan="2">3 N・m以上 10 N・m以上</td> </tr> </table>	ねじり強度	レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。	引張り強度	ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。	垂直荷重強度	ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。	性能試験項目	区分						①ドアクローザ		②ヒンジクローザ		③フロアヒンジ		閉じ力及び効率による区分(注1)(注2)	Grad e2	番手	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	1	5以上	30以上	5以上	30	5以上	30	2	10以上	30以上	10	30	10	30	3	15以上	35以上	15以上	35	15以上	35	4	25以上	40以上	25以上	40	25以上	40	5	35以上	45以上	35以上	45	35以上	45	6	45以上	45以上	45以上	45	45以上	45	閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。						温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。						ストップ力	ストップ入力	60 N・m以下 但しコンシールド型は200 N・m以下		100 N・m以下		100 N・m以下		ストップ解除力		8 N・m以上		3 N・m以上 10 N・m以上		<p>704</p> <p>AK-004</p> <p>令和7年度 弘前市畜場長寿命化改修工事(建築工事)</p> <p>仮設管理待合棟 本造建築工事特記仕様書-4</p> <p>検 図</p> <p>一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエタック 一級建築士事務所</p> <p>青森県弘前市北園2-11-11 0172(38)3000</p> <p>一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓</p> <p>検 図</p> <p>一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所</p> <p>東京都新宿区四谷本増町4-5 03(351)7101</p> <p>一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功</p>
	種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																						
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																							
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																							
合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																								
・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗リ (※ラワン合板程度)																																																																																																																																																																									
	不透明塗料塗リ (※しな合板程度)																																																																																																																																																																									
	板面の品質 ()																																																																																																																																																																									
	接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																									
・天然木化粧合板 G	樹種名 ()																																																																																																																																																																									
	接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																									
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)																																																																																																																																																																									
	表面性能 ()タイプ																																																																																																																																																																									
	接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																									
使用頻度による性能	1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。																																																																																																																																																																									
	2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締め錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。																																																																																																																																																																									
	3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。																																																																																																																																																																									
	4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)																																																																																																																																																																									
外力に対する性能	1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。																																																																																																																																																																									
	2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。																																																																																																																																																																									
	3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。																																																																																																																																																																									
	4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。																																																																																																																																																																									
使用扉の質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)	1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。																																																																																																																																																																									
	2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。																																																																																																																																																																									
	3) 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。																																																																																																																																																																									
	4) ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。																																																																																																																																																																									
	5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。																																																																																																																																																																									
ねじり強度	レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。																																																																																																																																																																									
引張り強度	ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。																																																																																																																																																																									
垂直荷重強度	ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。																																																																																																																																																																									
性能試験項目	区分																																																																																																																																																																									
	①ドアクローザ		②ヒンジクローザ		③フロアヒンジ																																																																																																																																																																					
閉じ力及び効率による区分(注1)(注2)	Grad e2	番手	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)	閉じモーメント(N・m)	効率(%)																																																																																																																																																																		
			1	5以上	30以上	5以上	30	5以上	30																																																																																																																																																																	
			2	10以上	30以上	10	30	10	30																																																																																																																																																																	
			3	15以上	35以上	15以上	35	15以上	35																																																																																																																																																																	
			4	25以上	40以上	25以上	40	25以上	40																																																																																																																																																																	
			5	35以上	45以上	35以上	45	35以上	45																																																																																																																																																																	
6	45以上	45以上	45以上	45	45以上	45																																																																																																																																																																				
閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。																																																																																																																																																																									
温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。																																																																																																																																																																									
ストップ力	ストップ入力	60 N・m以下 但しコンシールド型は200 N・m以下		100 N・m以下		100 N・m以下																																																																																																																																																																				
		ストップ解除力		8 N・m以上		3 N・m以上 10 N・m以上																																																																																																																																																																				

バックチェック性能(秒) (バックチェック機能を有する機種のみ適用)	ドア開扉方向に荷重60 N/m ² を開扉50°から負荷する。 バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。	-	-
---------------------------------------	---	---	---

ディレードアクション性能(秒) ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保(ディレードアクション機能を有する機種のみ適用)	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	-	-
--	---	---	---

戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)	-	-	±3mm以内
------------------------	---	---	--------

繰返し開閉後の閉じモーメント(N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
---------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

繰返し開閉後の効率(%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
--------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		
----------------	-----------------------	--	--

繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-
---------------------	-----------------------	---	---

繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-
------------------------	-----------------------	---	---

繰返し開閉後の戸開鎖位置(mm)	-	-	耐久試験後±6mm以内
------------------	---	---	-------------

耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	20万回	10万回	30万回
-------------------	------	------	------

注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。
注1. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。

(試験方法)
1) 性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。
2) 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

マスターキー ○製作する ・製作しない
鍵の製作本数 ・ ※確執3本1組(室名札付き)
鍵箱 ※有り ・無し

・自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)
・引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書16.9.1
・種類・開閉方式 ()
・耐電圧 ()
・温度上昇 ()
・耐久性(サイクル) ()
・防錆 ()
・電源 ()

・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書16.9.2
・耐電圧 ()
・温度上昇 ()
・耐久性(サイクル) ()
・防錆 ()
・防滴 ()
・電源 ()

・引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書16.9.4
・耐電圧 ()
・防錆 ()
・防滴 ()
・電源 ()

戸の開閉方式
・建具表による
引き戸用検出装置の種類 標準仕様書16.9.4
・建具表による
凍結装置
・適用する ・適用しない

・自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)
性能値等 ※(表16.10.1)
・手動開き力 ()
・手動閉じ力 ()
・閉じ速度の調整 ()
・制動区間 ()
・開閉繰返し ()
・耐衝撃性 ()

(試験方法)
(1) 耐久性(開閉繰返し)試験
閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のうちより戸を開端位置から閉端位置までの制動を確認できる試験を行う。
同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。
適用戶総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。
(2) 耐衝撃性試験
下高さドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戶総質量の区分毎に試験を行う。
(3) 気密性試験
JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

・重量シャッター (16.11.2、3)

シャッターの種類
・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m²
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m²
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける(設置箇所・図示)
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合する基準に適合するもの
※障害物感知装置(自動閉鎖型)
・設けない

・軽量シャッター (16.12.2~4)
開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用)
耐風圧強度() N/m²
スラットの材質の種類
・JIS G 3312(塗装溶融垂鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量(※Z06又はF06)
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量(※AZ90)

スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

・オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ	・125(1250)	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード式 ・ローヘッド式 ・ハイリフト式 ・バーチャル式	※溶融垂鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
・アルミニウムタイプ	・100(1000)			
・ファイバーグラスタイプ	・75(750) ・50(500)			

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所
・図示

○ガラス (9.7)(16.14.2~4)(表16.14.1)

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
○建具表による
型板ガラスの厚さによる種類
○建具表による

網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による

形状による種類
・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ類

熱線吸収ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・Ⅰ種 ・Ⅱ種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
○建具表による
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ○S
乾燥気体の種類
○空気 ・アルゴン

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種

耐久性による区分(日射)遮蔽性による区分が2種の場合)
・A種 ・B種

映像調整 ・行わない ・行う
倍強度ガラス
材料板ガラスの種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジング ・チャンネル形	・図示 ・建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジング ・チャンネル形	・図示 ・建具の製造所の仕様による

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による (16.14.5)

・ガラスブロック

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 ク 乳 白	目地幅(mm)		伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
				平積み	曲面積み		
正方形	・125×125	80	・	※8~15 ・15~25	外側 ・ ※15以下 内側 ・ ※6以上	・図示 ※6m以下 ご下 に幅10 ~25	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・				
	・200×200	・95 ・125	・				
	・320×320	95	・				
長方形	・250×125	80	・				
	・320×160	95	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属枠及び補強材
※図示
力骨 材質 ・ ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ・ ※径5.5mm
形状 ・ ※はしご形状筋筋及び単筋
化粧目地モルタルの色()

q*:金属製化粧カバー
材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ※図示
形状 ※図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
・ 図示
※ガラスブロック製造所の仕様による

704

AK-005

令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事)
仮設管理待合棟 本造建築工事特記仕様書-5

検 査 担 当	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエタク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓	検 査 担 当	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(351)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
------------------	--	------------------	---

18 章 塗 装 工 事	<p>○材料 (18.1.3)</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)</p>	<p>○ビニル床シート G (19.2.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※FS</td> <td>○無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法</p>	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考	※FS	○無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0		<p>○素地ごしらえ (18.2.2~7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鉄鋼面</td> <td>※C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">モルタル面及びプaster面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">押出成形セメント板</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地：縦目処理工法</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>目地：縦目処理工法以外</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・錆止め塗料塗り (18.3.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>工程の種別</th> <th>塗料の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>見え掛り部</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種 EP-G(屋内)の場合 ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>見え隠れ部分</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具等</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 (EP-Gの場合C種)</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具等以外</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○塗装 (18.4.1~18.14.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・合成樹脂調合ベイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>上塗り塗料の等級 () 級</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>上塗り塗料の等級 () 級</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面その他ボード面等</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td>塗料：・水性 ・油性</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※B種 ○A種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等		種別	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種	透明塗料塗りの場合	※B種 ・ A種	鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	モルタル面及びプaster面		※B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種 ・ A種	押出成形セメント板		・ A種 ・ B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地：縦目処理工法	※A種 ・ B種	目地：縦目処理工法以外	※B種 ・ A種	下地面等		工程の種別	塗料の種別	鉄鋼面	見え掛り部	※A種 ・ B種	・ A種 ・ B種 EP-G(屋内)の場合 ※B種 ・ A種	見え隠れ部分	※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種 ・ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種 (EP-Gの場合C種)	鋼製建具等以外	※B種 ・ A種		塗装		種別	塗料の種類	・合成樹脂調合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種	・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	—	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	—	・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種		・つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面その他ボード面等	※B種 ・ A種	—	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種	—	・合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)		※B種 ・ A種	—	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ A種	—	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	—	・ステイン塗り	塗料：・水性 ・油性		—	○木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ○A種	—	<p>○ビニル床シート G (19.2.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ TT ・ FT</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 300×300</td> <td>・ 2.0</td> </tr> <tr> <td>※KT</td> <td>・ FOA</td> <td>・ 450×450</td> <td>・ 2.5</td> </tr> <tr> <td>・ FOB</td> <td>・ 柄物</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ビニル床タイル G (19.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ TT ・ FT</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 300×300</td> <td>・ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※KT</td> <td>・ FOA</td> <td>・ 450×450</td> <td>・ 2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOB</td> <td>・ 柄物</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 3.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・特殊機能床 (19.2.2)</p> <p>・帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm)</p> <p>・帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 厚さ (× mm)</p> <p>・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 92511による</p> <p>・耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm)</p> <p>・防滑性床シート 種類 () 厚さ (mm)</p> <p>・防滑性床シート 種類 () 厚さ (mm)</p> <p>・防滑性床タイル 種類 () 寸法 厚さ (× mm)</p> <p>○ビニル幅木 (19.2.2)</p> <p>材質の種類 ○軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) ・ ※1.5以上</p> <p>・ゴム床タイル (19.2.2)</p> <p>種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 () 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) ()</p> <p>・カーベット敷き G (19.3.3、4) (表19.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">織り方</th> <th colspan="3">パイル形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ウィルトンカーベット</td> <td>・ダブルフェースカーベット</td> <td>・カットパイル</td> <td>・ループパイル</td> <td>・カット/ループパイル</td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 () ※模様のない無地 パイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない 織りじゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8m</p> <p>・タフテッドカーベット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・5~7</td> <td>・前面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グリッパ工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 (グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8m</p> <p>・ニードルパンチカーベット 厚さ (mm) () 帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない 備考 ()</p>	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考	・ TT ・ FT	・ 無地	・ 300×300	・ 2.0	※KT	・ FOA	・ 450×450	・ 2.5	・ FOB	・ 柄物	・ 500×500	・ 3.0	種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・ TT ・ FT	・ 無地	・ 300×300	・ 2.0		※KT	・ FOA	・ 450×450	・ 2.5		・ FOB	・ 柄物	・ 500×500	・ 3.0		織り方		パイル形状			・ウィルトンカーベット	・ダブルフェースカーベット	・カットパイル	・ループパイル	・カット/ループパイル	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	・5~7	・前面接着工法	・適用する		・ループパイル	・4~6	・グリッパ工法	・適用しない		<p>・タイルカーベット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループパイル</td> <td>※第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※図示</p> <p>・合成樹脂塗床 (19.4.3) (表19.4.4、5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つゆ消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・フローリング張り G (19.5.2~6) (表19.5.1~5)</p> <p>・単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹種 ・ ※ なら 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 ・ 厚さ ・ 大きさ ・ 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・複合フローリング 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹種 ・ ※ なら 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の表面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り</p> <p>・畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床：・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン G) ・ 図示</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>○せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2、3) (表19.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木毛セメント板 G</td> <td>HW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板 G</td> <td>MW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板 G</td> <td>NW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 G</td> <td>HF</td> <td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21</td> </tr> </tbody> </table>	パイル形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考	※ループパイル	※第一種 ・ 第二種		※500×500	※6.5		・カットパイル	・第一種 ・ 第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・ 第二種		※500×500	※6.5		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つゆ消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等	・硬質木毛セメント板 G	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・中質木毛セメント板 G	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・普通木毛セメント板 G	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・硬質木片セメント板 G	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>・普通木片セメント板 G</td> <td>NF</td> <td>・ 30</td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板 G</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・フラットタイプ (・ 9(不燃)・ 12(不燃)) ・凹凸タイプ (・ 9(不燃)・ 12(不燃))</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード 32K</td> <td>GW-B</td> <td>・ 25(ガラスクロス包)</td> </tr> <tr> <td>○せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>・ 9.5(準不燃) ○12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・シージングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>9.5(・ 不燃 ・ 準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材共</td> </tr> <tr> <td>○化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・普通合板 G</td> <td></td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (・ ※ラワン程度) 不透明塗料塗り (・ ※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) (図示) 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 防虫処理 (※K1)</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 G</td> <td></td> <td>化粧板の樹種 () 接着の程度 (1種 ・ 2種) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 G</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 防虫処理</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>JIS K 6903による 厚さ (・ ※1.2)</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード G</td> <td>MDF</td> <td>・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12</td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード G</td> <td></td> <td>・無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード G</td> <td></td> <td>・単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード(素地) G</td> <td>HB</td> <td>・無研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード)</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード(化粧) G</td> <td></td> <td>・内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード G</td> <td>IB</td> <td>・ A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td> </tr> </tbody> </table> <p>せっこうボード等の下地 ※図示</p> <p>遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ○適用しない 合板類の張り付け ※B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ○縦目処理工法</p>	・普通木片セメント板 G	NF	・ 30	・けい酸カルシウム板 G	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8	・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・ 9(不燃)・ 12(不燃)) ・凹凸タイプ (・ 9(不燃)・ 12(不燃))	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25	・ロックウール吸音ボード 32K	GW-B	・ 25(ガラスクロス包)	○せっこうボード	GB-R	・ 9.5(準不燃) ○12.5(不燃)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)	・シージングせっこうボード	GB-S	9.5(・ 不燃 ・ 準不燃)	・強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	・せっこうラスボード	GB-L	9.5	・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材共	○化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5(準不燃)	・普通合板 G		表面の樹種 生地、透明塗料塗り (・ ※ラワン程度) 不透明塗料塗り (・ ※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) (図示) 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 防虫処理 (※K1)	・天然木化粧合板 G		化粧板の樹種 () 接着の程度 (1種 ・ 2種) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理	・特殊加工化粧合板 G		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 防虫処理	・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ (・ ※1.2)	・ポリエステル樹脂化粧板			・ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12	・単板張りパーティクルボード G		・無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18	・化粧パーティクルボード G		・単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)	・ハードボード(素地) G	HB	・無研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード)	・ハードボード(化粧) G		・内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	・インシュレーションボード G	IB	・ A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※FS	○無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
下地面等		種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	透明塗料塗りの場合	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
モルタル面及びプaster面		※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
押出成形セメント板		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：縦目処理工法	※A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	目地：縦目処理工法以外	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
下地面等		工程の種別	塗料の種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄鋼面	見え掛り部	※A種 ・ B種	・ A種 ・ B種 EP-G(屋内)の場合 ※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	見え隠れ部分	※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種 ・ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種 (EP-Gの場合C種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	鋼製建具等以外	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
塗装		種別	塗料の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・合成樹脂調合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面その他ボード面等	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)		※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ステイン塗り	塗料：・水性 ・油性		—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ○A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ TT ・ FT	・ 無地	・ 300×300	・ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※KT	・ FOA	・ 450×450	・ 2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ FOB	・ 柄物	・ 500×500	・ 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ TT ・ FT	・ 無地	・ 300×300	・ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※KT	・ FOA	・ 450×450	・ 2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ FOB	・ 柄物	・ 500×500	・ 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
織り方		パイル形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ウィルトンカーベット	・ダブルフェースカーベット	・カットパイル	・ループパイル	・カット/ループパイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・カットパイル	・5~7	・前面接着工法	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ループパイル	・4~6	・グリッパ工法	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
パイル形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
※ループパイル	※第一種 ・ 第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・カットパイル	・第一種 ・ 第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・カット、ループ併用	・第一種 ・ 第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つゆ消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・硬質木毛セメント板 G	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・中質木毛セメント板 G	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通木毛セメント板 G	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・硬質木片セメント板 G	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通木片セメント板 G	NF	・ 30																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・けい酸カルシウム板 G	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・ 9(不燃)・ 12(不燃)) ・凹凸タイプ (・ 9(不燃)・ 12(不燃))																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ロックウール吸音ボード 32K	GW-B	・ 25(ガラスクロス包)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○せっこうボード	GB-R	・ 9.5(準不燃) ○12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・シージングせっこうボード	GB-S	9.5(・ 不燃 ・ 準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材共																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通合板 G		表面の樹種 生地、透明塗料塗り (・ ※ラワン程度) 不透明塗料塗り (・ ※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) (図示) 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 防虫処理 (※K1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・天然木化粧合板 G		化粧板の樹種 () 接着の程度 (1種 ・ 2種) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・特殊加工化粧合板 G		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) ・ 防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ (・ ※1.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・単板張りパーティクルボード G		・無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・化粧パーティクルボード G		・単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10(難燃) ・ 12(難燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ハードボード(素地) G	HB	・無研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ハードボード(化粧) G		・内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・インシュレーションボード G	IB	・ A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
19 章 内 装 工 事	<p>○接着剤 (19.2.2)</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ○F☆☆☆☆ 接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 ・ 図示</p>	<p>○せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2、3) (表19.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木毛セメント板 G</td> <td>HW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板 G</td> <td>MW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板 G</td> <td>NW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 G</td> <td>HF</td> <td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21</td> </tr> </tbody> </table>	種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等	・硬質木毛セメント板 G	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・中質木毛セメント板 G	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・普通木毛セメント板 G	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25	・硬質木片セメント板 G	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21	<p>令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事 (建築工事) 仮設管理待合棟 本達建築工事特記仕様書-6</p> <p>704</p> <p>AK-006</p>	<p>検 図 担 当</p> <p>一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓</p> <p>検 図 担 当</p> <p>一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(351)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・硬質木毛セメント板 G	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・中質木毛セメント板 G	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通木毛セメント板 G	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・硬質木片セメント板 G	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

○壁紙張り (19.8.2、3)

ホルムアルデヒド放散量 **規制対象外** ○F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考(参考価格)
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
図示	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種
 コンクリート面の素地ごしらえ ※B種 ・A種
 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種

(19.9.2、3)

フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量 **規制対象外** ○F☆☆☆☆

○断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	100	床
・硬質ウレタンフォーム断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		

・断熱材現場発泡工法
 断熱材の種類 ・ ・ A種1またはA種1H
 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
 施工箇所 ・ 図示 ・

・現場発泡断熱材(品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカローリ試験)に適合していること
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。

(試験方法)
 (1) 原液試験(原液粘度試験)
 JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.1による。
 (2) 発泡品試験
 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
 4) 圧縮強さ試験 JIS A 9526の6.2.5による。
 5) 熱伝導率試験 JIS A 9526の6.2.6による。
 6) 接着強さ試験 JIS A 9526の6.2.7による。
 7) 透湿率試験 JIS A 9526の6.2.8による。
 (3) 難燃性試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

20章 断熱・防露

○断熱材等材料

<20.1.2～4>

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

○F☆☆☆☆ **規制対象外**

・断熱材G

施工箇所 ※図示

断熱材の種類		規格番号	厚さ又は使用量
分類	材料名		
○フェルト状断熱材	○グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504 ・JIS A 9521	
・ボード状断熱材	・グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504 ・JIS A 9521	
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム		
	・押出法ポリスチレンフォーム		
	・硬質ウレタンフォーム	・JIS A 9521	
	・ポリエチレンフォーム		
	・フェノールフォーム		
	・インシュレーションファイバー		
	・グラスウール		
	・ロックウール	・JIS A 9523	
・セルローズファイバー			

・断熱材現場発泡工法
 断熱材の種類 ・ ・ A種1またはA種1H
 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
 施工箇所 ・ 図示 ・

・現場発泡断熱材(品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカローリ試験)に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)から(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。

(試験方法)
 (1) 原液試験(原液粘度試験)
 JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.1による。
 (2) 発泡品試験
 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
 4) 圧縮強さ試験 JIS A 9526の6.2.5による。
 5) 熱伝導率試験 JIS A 9526の6.2.6による。
 6) 接着強さ試験 JIS A 9526の6.2.7による。

<20.1.2～4>

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

○F☆☆☆☆ **規制対象外**

・断熱材G

施工箇所 ※図示

断熱材の種類		規格番号	厚さ又は使用量
分類	材料名		
○フェルト状断熱材	○グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504 ・JIS A 9521	
・ボード状断熱材	・グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504 ・JIS A 9521	
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム		
	・押出法ポリスチレンフォーム		
	・硬質ウレタンフォーム	・JIS A 9521	
	・ポリエチレンフォーム		
	・フェノールフォーム		
	・インシュレーションファイバー		
	・グラスウール		
	・ロックウール	・JIS A 9523	
・セルローズファイバー			

・断熱材現場発泡工法
 断熱材の種類 ・ ・ A種1またはA種1H
 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
 施工箇所 ・ 図示 ・

・現場発泡断熱材(品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカローリ試験)に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)から(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。

(試験方法)
 (1) 原液試験(原液粘度試験)
 JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.1による。
 (2) 発泡品試験
 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
 4) 圧縮強さ試験 JIS A 9526の6.2.5による。
 5) 熱伝導率試験 JIS A 9526の6.2.6による。
 6) 接着強さ試験 JIS A 9526の6.2.7による。

○窯業系サイディング工事

○複合金属サイディング工事

○ALC/パネル(薄形パネル)工事

7) 透湿率試験
 JIS A 9526の6.2.8による。
 (3) 難燃性試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

・防湿材
 種類 ・ 木造標準仕様書20.1.2(2) ・ (a) ・ (b) ・ (c)
 厚さ ・ 図示
 施工箇所 ・ 図示

・気密材
 種類 ・ 木造標準仕様書20.1.2(3)(a)から(f)まで
 厚さ ・ 図示
 施工箇所 ・ 図示

・防風材
 種類 ※JIS A 6111に基づく透湿防水シートB
 厚さ ・ 図示
 施工箇所 ・ 図示

断熱材の施工
 ・ 充填断熱工法
 ・ 外張断熱工法 防蟻処理 ・ 行う
 ・ 図示

防湿層の施工 ・ 省略する

各部位の工法 ・
 ※木造標準仕様書20.1.5(7)から(2)までによる。

<20.3.2>

サイディング材

種類	形状	働き長さ き幅	厚さ(mm)	表面仕 上げ	耐凍害 性能	防火・ 耐火 性能
○F☆☆☆☆ ○F☆☆☆☆ ○F☆☆☆☆	・	○455(働き幅)	○14	・	・	・

張り方 ・ 縦張り ・ 横張り
 換気口部の防水処置 ・ 図示
 ※木造標準仕様書20.3.2(3)(g)①から④までによる

現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
 通気胴縁 樹種 ・ 米松 ※杉
 通気胴縁の防蟻処理方法(薬剤の塗布)

<20.3.3>

サイディング材

種類	形状	有効幅 (mm)	長さ(m)	厚さ(m)	表面材・ しん材の 種別	防火・ 耐火性能
・	・	・	・	・	・	・

張り方 ・ 縦張り ・ 横張り
 換気口部の防水処置 ・ 図示
 ※木造標準仕様書20.3.2(3)(g)①から④までによる

通気胴縁 樹種 ・ ※杉
 通気胴縁の防蟻処理方法()

<20.4.2.3>

薄形パネル

パネルの区分	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)
・一般パネル	・	・	・	・
・コーナーパネル				

張り方 ・ 縦張り ・ 横張り
 工法 ・ 通気構法 ・ 横張り工法
 通気胴縁 樹種 ・ ※杉
 通気胴縁の防蟻処理方法()

・フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500 ×500 ・		・1.0 G ・0.6 G	・3,000 ・5,000	・帯電 防止床 タイル ・タイ ルカー ペット ・	

寸法精度
 ・
 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)①(a)～(c)による。
 パネルの長さ
 ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内
 500mm以下の場合 ±0.5mm以内

・
 パネルの平面形状(角度)
 ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内
 500mm以下の場合 ±0.5mm以内

・
 フリーアクセスフロアの高さ
 ※±0.5mm以内

(性能)
 (1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下
 (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと
 (3) ローリングロード性能
 所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下
 (4) 耐震性能
 イ) 固定台試験による耐震性能

項目	性能
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上
③適用地震時水平力を加した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下

<適用地震時水平力>
 ・3,000N 0.6Gタイプ
 支柱一本が負担する床加重{(m²当り自重+3,000N)/m²当りの支柱本数}×0.6
 ・3,000N 1.0Gタイプ
 支柱一本が負担する床加重{(m²当り自重+3,000N)/m²当りの支柱本数}×1.0
 ・5,000N 0.6Gタイプ
 支柱一本が負担する床加重{(m²当り自重+5,000N)/m²当りの支柱本数}×0.6
 ・5,000N 1.0Gタイプ
 支柱一本が負担する床加重{(m²当り自重+5,000N)/m²当りの支柱本数}×1.0
 ロ) 振動台試験による耐震性能
 (設計床高さ≦300mmの場合のみ)
 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。

(5) 耐燃焼性能
 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒

(6) 帯電防止性能評価値(U)
 0.6以上

(7) 感電防止性能
 漏えい抵抗(R)≧1×10⁶Ω

(8) 歩行感
 通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない

(9) メンテナンス性
 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。

704

令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事)
 仮設管理待合棟 木造建築工事特記仕様書-7

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエタック 一級建築士事務所	検図	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所
担当	青森県弘前市北園2-11-11 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓	担当	東京都新宿区四谷本町4-5 03(351)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功

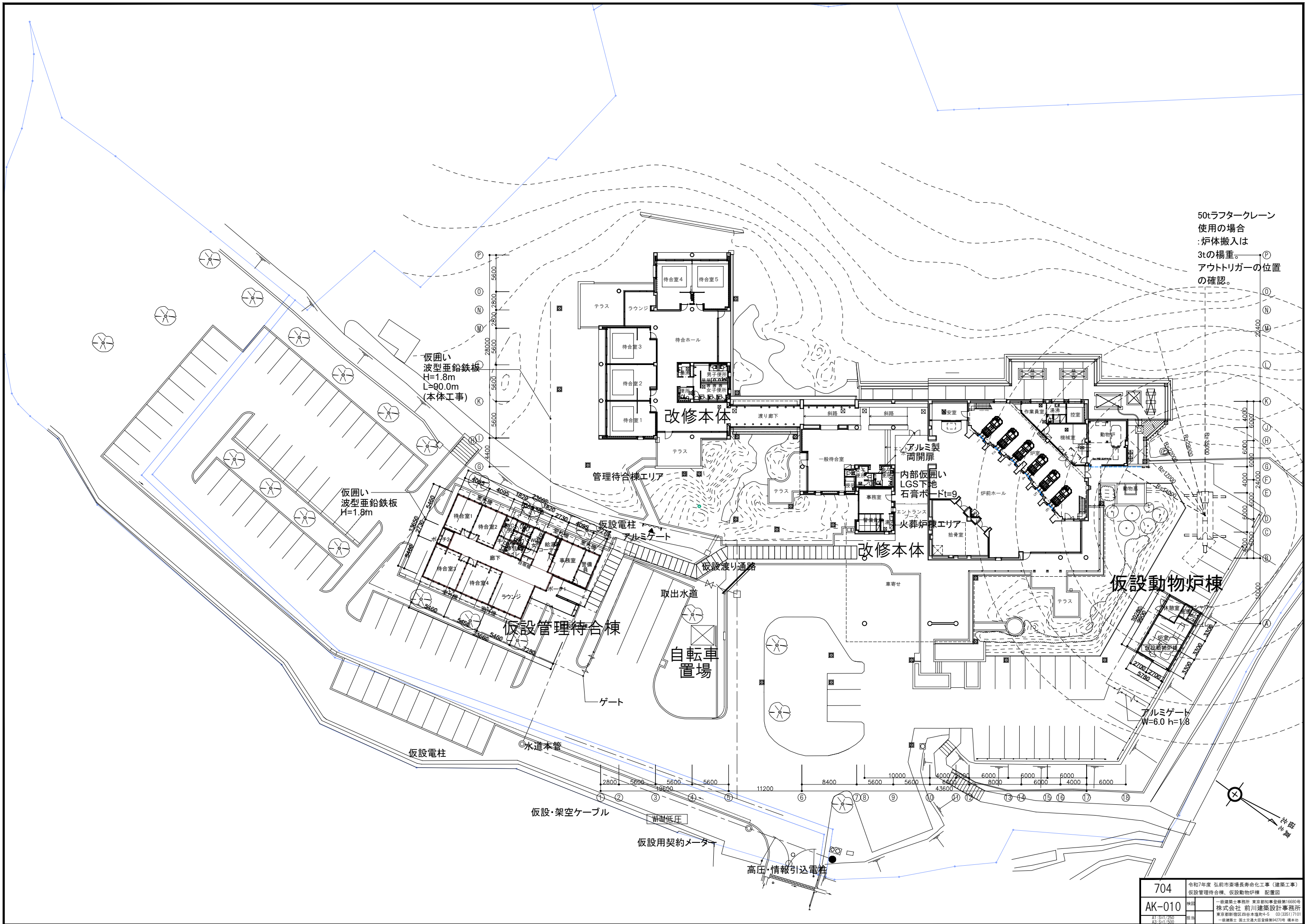
AK-007

○ブラインド	(20.2.12)						
	形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	幅・高さ・取付箇所
○横型	○手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製G	※25	※鋼製	○図示	
	・電動	—					
	・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示
	・電動	—					
<p>スラットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。</p> <p>品質等</p>							
・ロールスクリーンG	(20.2.13)						
	操作方式	・スプリング式	・コード式	・電動式	幅・高さ	・図示	
	材質	・ガラス繊維製	・合成	・天然繊維製	・木製	その他の材料	
	※ロールスクリーンの製造所の仕様による						
・カーテン	(20.2.14)						
	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ	・図示		
							(暗幕)
<p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。</p> <p>暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>							
・カーテンレール	(20.2.14)						
	<p>材料による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材 ・ステンレス製 <p>強さによる区分 ※10-90</p> <p>仕上げ ※アルマイト</p> <p>形状 ※角形</p>						
・ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20.2.14)						
	溝幅×深さ(mm)	・90×150 ・150×80	・120×80 ・図示	・120×150			
	材質	・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押し成型材(市販品)					
	種別	(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1 ・BC-2					
	色合い	・標準色() ・特注色()					
		・鋼製(仕上げ:)					
○天井点検口	(20.2.12)						
	材種	寸法	形式	外枠	内枠		
	○アルミニウム製	○450×450 ・600×600	○一般用	・屋内外用 ○屋内用	○額縁タイプ ・目地タイプ	○額縁タイプ ・目地タイプ	
<p>(品質・性能)</p> <p>内外枠の材質 アルミニウム製</p> <p>JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの</p> <p>表面処理 陽極酸化皮膜 JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの</p> <p>(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)</p>							

<p>内枠及び外枠のコーナース</p> <p>鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>外枠の取付け金物</p> <p>鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>内枠の仕上材留付金物</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金押し成型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの</p> <p>耐久性能(繰り返し開閉試験)</p> <p>(1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。</p> <p>(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。</p> <p>枠の寸法許容差 ±0.5mm</p> <p>外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内</p> <p>(試験方法)</p> <p>内蓋(内枠)の繰り返し開閉試験</p> <p>(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。</p> <p>吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。</p> <p>(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。</p> <p>(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。</p>			
(品質・性能)			
部材名	材質	屋内外用	屋内用
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押し成型材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度
	鋼製	—	公共建築工事標準仕様書 表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
二重蓋 の中蓋	铸铁	JIS G 5501のFC150、FC200	
	その他	塩化ビニル樹脂製等	
目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604	
	ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304	
底板材 コーナース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305 の SU S430
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H 24) 表面処理: 陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—

底板材 コーナース 底板補強材	鋼材	—	鋼板又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、公共建築工事標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロブレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの			
アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの			
取手	黄銅鑄鉄製、黄銅製、アルミニウム押し成型材・合金鑄鉄製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押し成型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする			
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること			
<p>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm</p> <p>蓋付寸法の許容差 ±0.5mm</p> <p>受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内</p> <p>(試験方法)</p> <p>耐荷重試験</p> <p>試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。</p> <p>試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。</p> <p>本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。</p> <p>本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。</p> <p>測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</p>				
(品質・性能)				
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	
・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
目地				
目地	内壁	外壁		
目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外とも)		
目地寸法(mm)	・幅20×深さ10	・幅20×深さ10		
目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による				
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による				
材種		受け枠	備考	
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製		・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金		
材種		寸法(mm)	図示	
・流し台ユニット	W	D	H	
		備考		
・流し台	・1200 ・1500 ・600	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製

・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式
(品質・性能)				
(1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。				
(2) 構成材は、JIS A 4420の8Iにより試験を行ったとき、表1の規定による。				
・小物棚	ステンレス製折りたたみパイプ棚、w300×d200程度			
・ベビーシート	折りたたみ収納式、床・壁固定型、固定ベルト付き			
・ベビーチェア	折りたたみ式コンパクト型、コーナー部設置用			
・ビクチャーレール	アルミニウム製 既製品			



50tラフタークレーン
使用の場合
: 炉体搬入は
3tの揚重。
アウトリガーの位置
の確認。

仮囲い
波型亜鉛鉄板
H=1.8m
L≧90.0m
(本体工事)

仮囲い
波型亜鉛鉄板
H=1.8m

仮設管理待合棟

改修本体

仮設動物炉棟

自転車置場

アルミゲート
W=6.0 h=1.8

仮設・架空ケーブル

仮設用契約メーター

高圧・情報引込電柱

704	令和7年度 弘前市長寿会化工事 (建築工事)
AK-010	仮設管理待合棟、仮設動物炉棟 配置図
AT 3/17/250 AS 3/17/500	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区西谷本町4-5 03(355)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第4270号 橋本 功

■内部仕上表

室名	部位	床				巾木			壁・腰壁						天井				廻縁等		内装制限等	摘要	
		F-1		F-2		B-1	—	—	W-1		W-2		—		C-1		—	—	M-1	—			
	仕上	PVCシート張				ソフト巾木			クロス張り		化粧い酸カルシウム板張り				化粧石膏ボード直張				塩ビ製廻縁				
	仕上厚	2.0				—	—		—		6.0		—		9.5		—	—	—	—			
	下地符号	a	b	c	d	a	b	c	d	a	b	c	a	b	a	b							
	捨張・厚	普合 4.0				—	—			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	下張・厚	構合 24.0				GB-R 12.	—		GB-R 12.	—	GB-R 12.	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	下地	W	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	塗装・防水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	天井高 (Zn?)																						
	床仕上高 (Zn?)																						
	床下張高Zn?																						
待合室1	Z1+2400	○																					
	Z1±0																						
	Z1-30																						
待合室2	Z1+2400	○																					
	Z1±0																						
	Z1-30																						
待合室3	Z1+2400	○																					
	Z1±0																						
	Z1-30																						
待合室4	Z1+2400	○																					
	Z1±0																						
	Z1-30																						
ラウンジ	Z1+2400	○																					
	Z1±0																						
	Z1-30																						
給湯コーナー	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
手洗	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
WC(男) 便房1(男) 掃除用具置場	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
WC(女) 便房1(女) 便房2(女)	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
多目的トイレ	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
自販機コーナー	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
廊下	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
事務室	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						
警備員室	Z1+2400	○										○											
	Z1±0																						
	Z1-30																						

内装制限等

令129条第7項適用内装制限免
告示第1436適用排煙免除
火気使用箇所該当
探光無関係箇所該当
不燃材料等

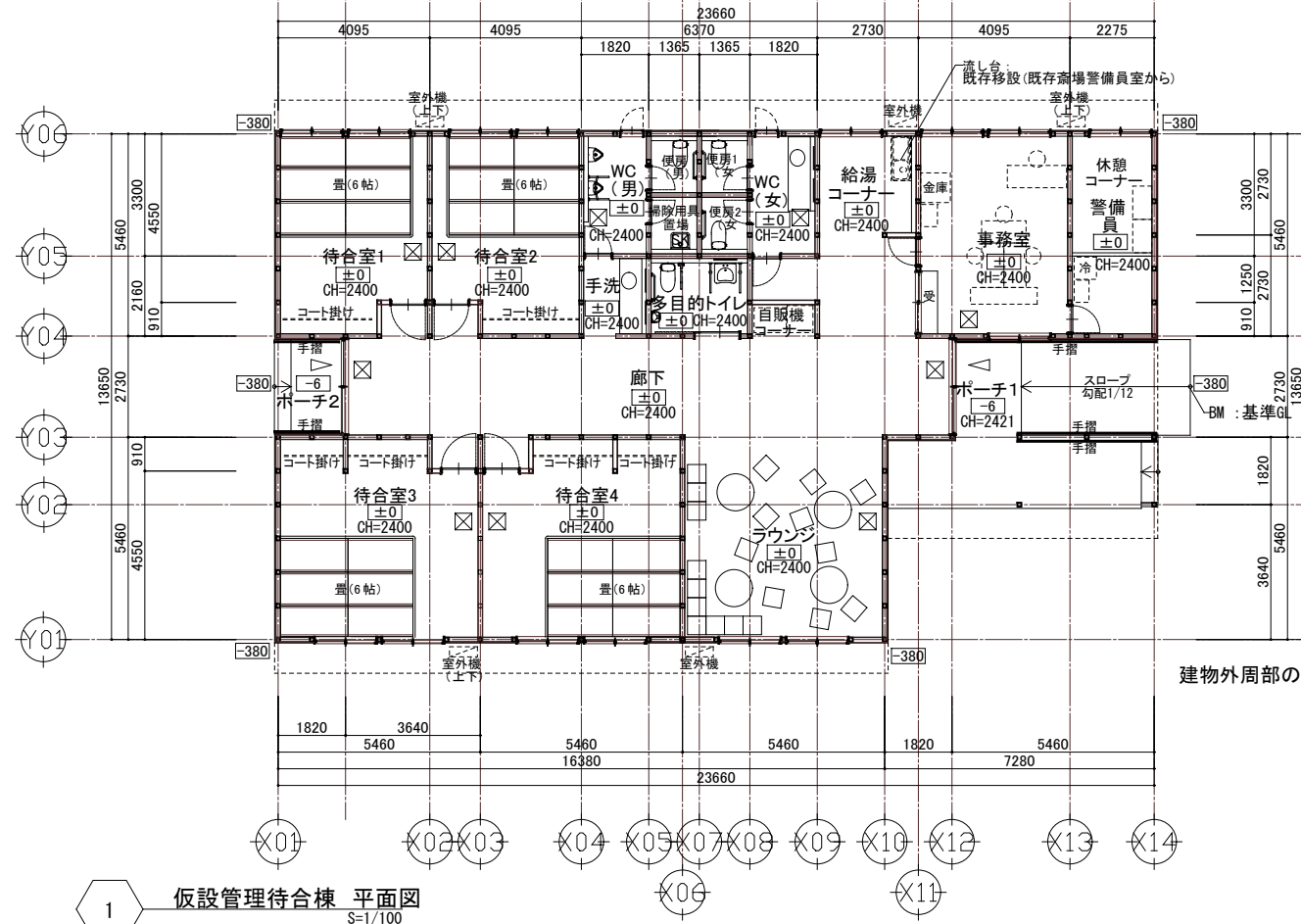
【凡例】
C コンクリート
M モルタル
W 木
S 鉄
C増 コンクリート増打
C嵩 コンクリート嵩上
普合 普通合板2類
構合 構造用合板
GB-R 石膏ボード
GB-S 耐水石膏ボード
WP 木材保護塗料塗
ラ 配管用ライニング
気密 ポリエチレンシートt=0.2
天裏天井裏部分
h60 巾木高さ

※WP 塗装の仕様(共通)
外部:A種(素地こしらえ共)
内部:B種(素地こしらえ共)
枠、額縁、内部建具、建具枠、木部

※造作集成材の仕様
タモ:ライニング天板
杉:枠、棚板

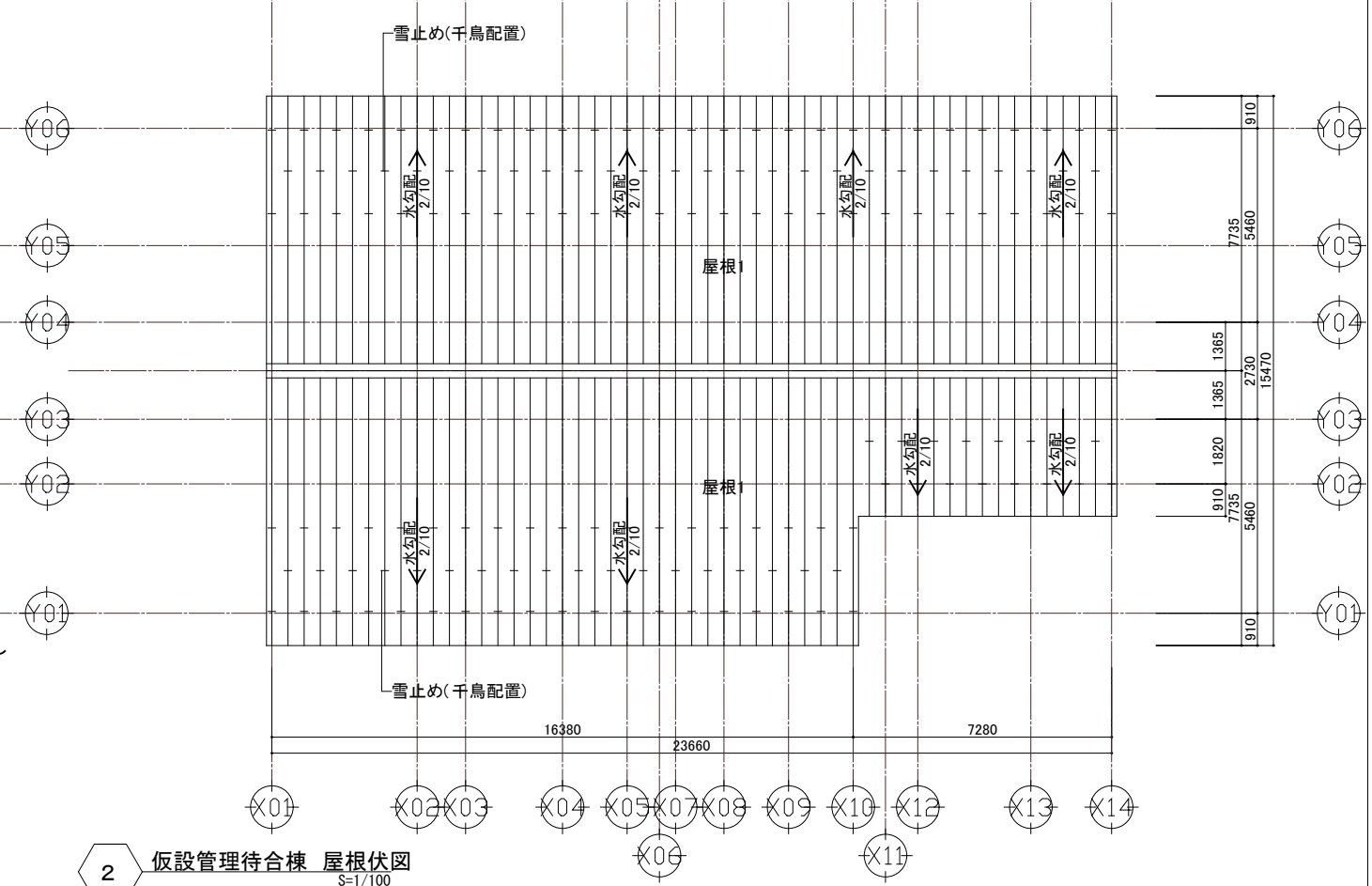
【使用建築材料】
内装仕上の部分については全てシックハウス規制対象外の建築材料を使用する。クロルピリホス添加材料の使用はしない。

【天井裏等への措置】
天井裏等の部分についても上記同様。



1 仮設管理待合棟 平面図
S=1/100

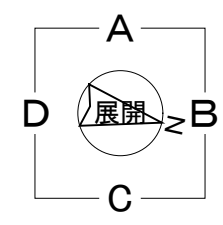
※ 既存の畳・家具・備品等の移動・保管・配置については、市担当者の指示にて対応のこと



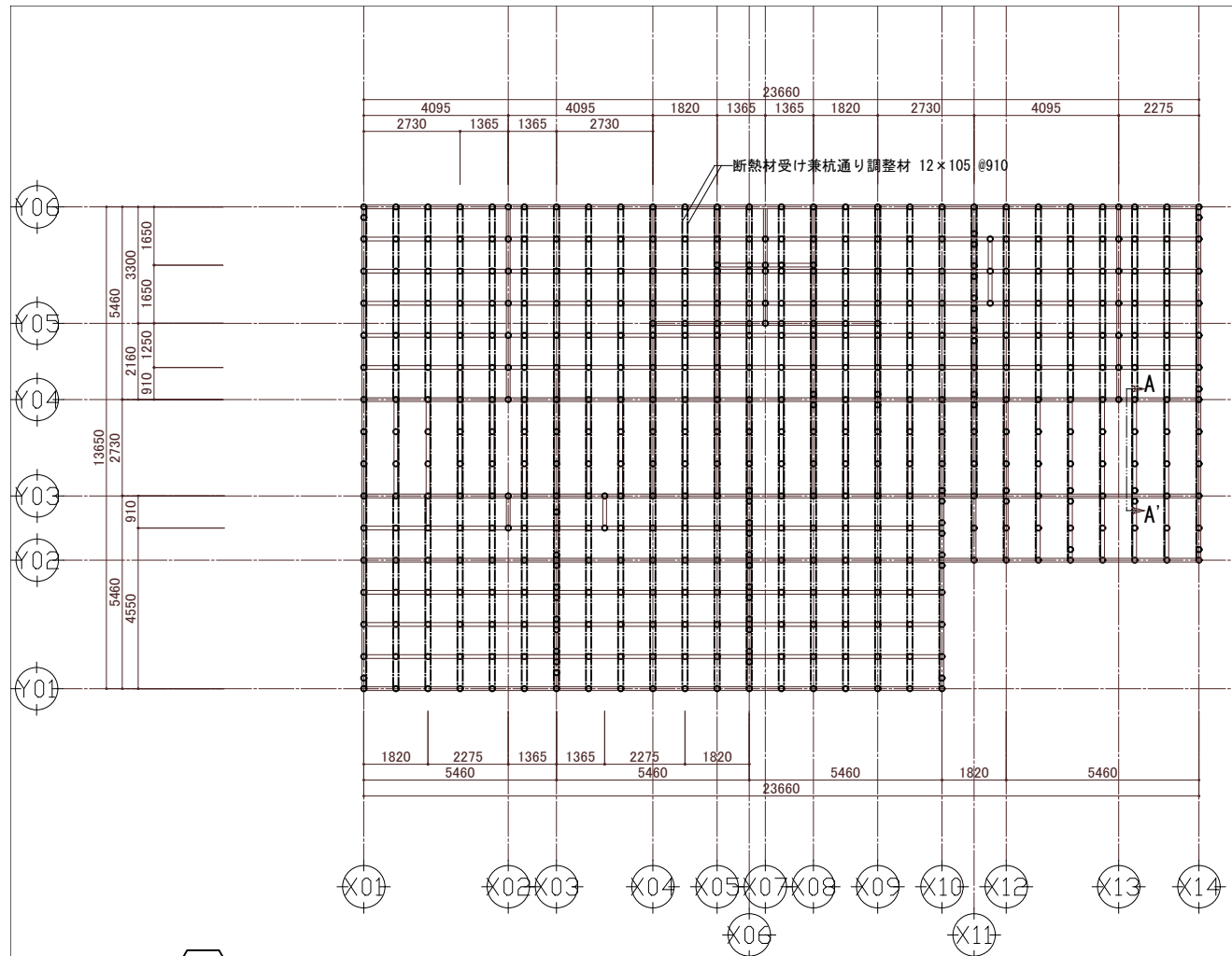
2 仮設管理待合棟 屋根伏図
S=1/100

■ 凡例

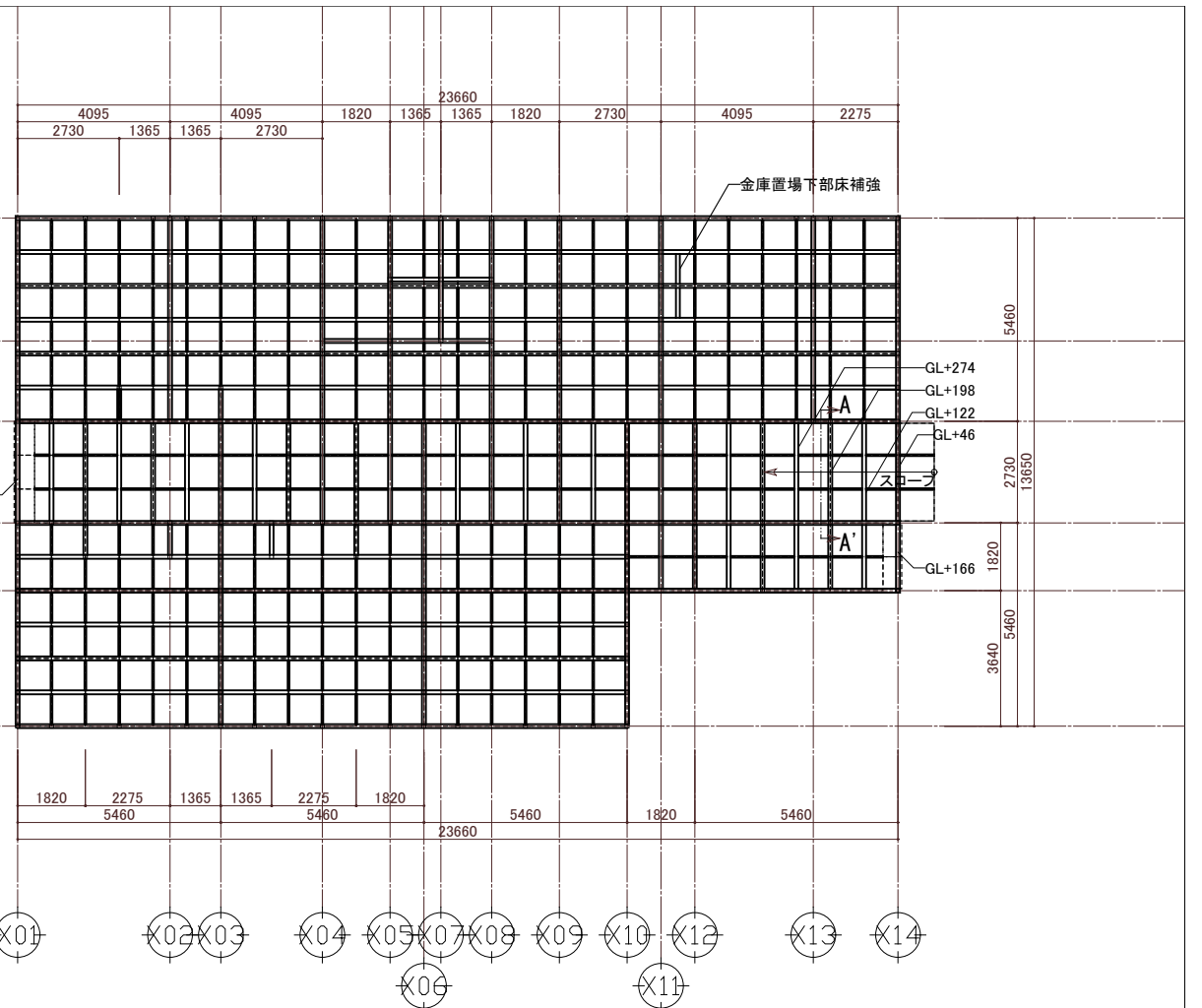
±0	FL (Z01)からの床高さを表す
—	間仕切内吸音材(グラスウール10K t=100)位置を表す
☒	天井点検口(450 × 450)の位置を表す



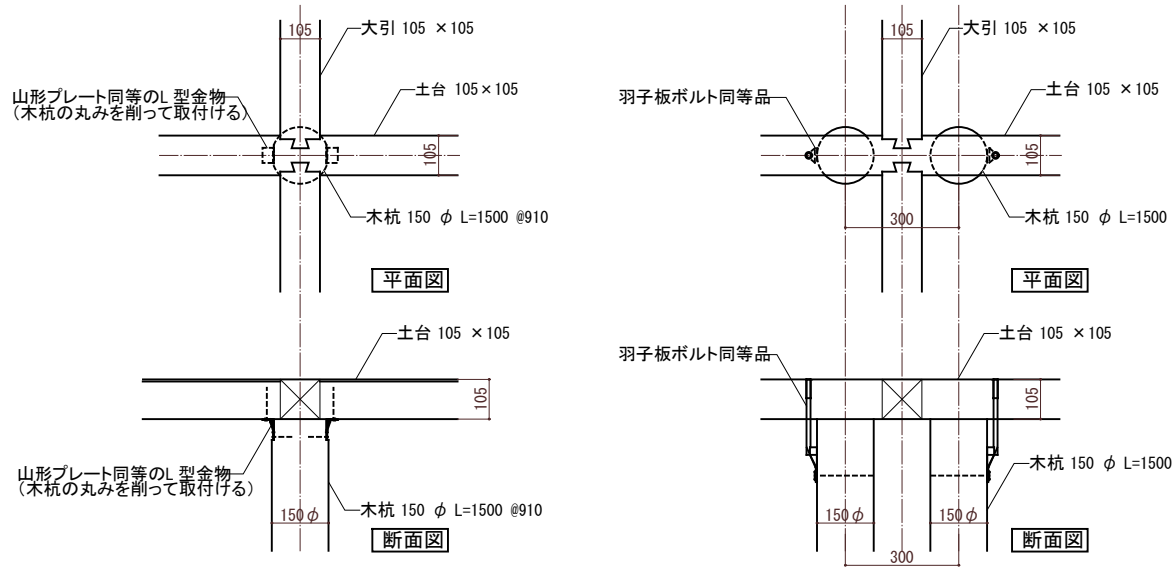
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 平面図・屋根伏図
AK-013	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(3351)7101
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担当 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功



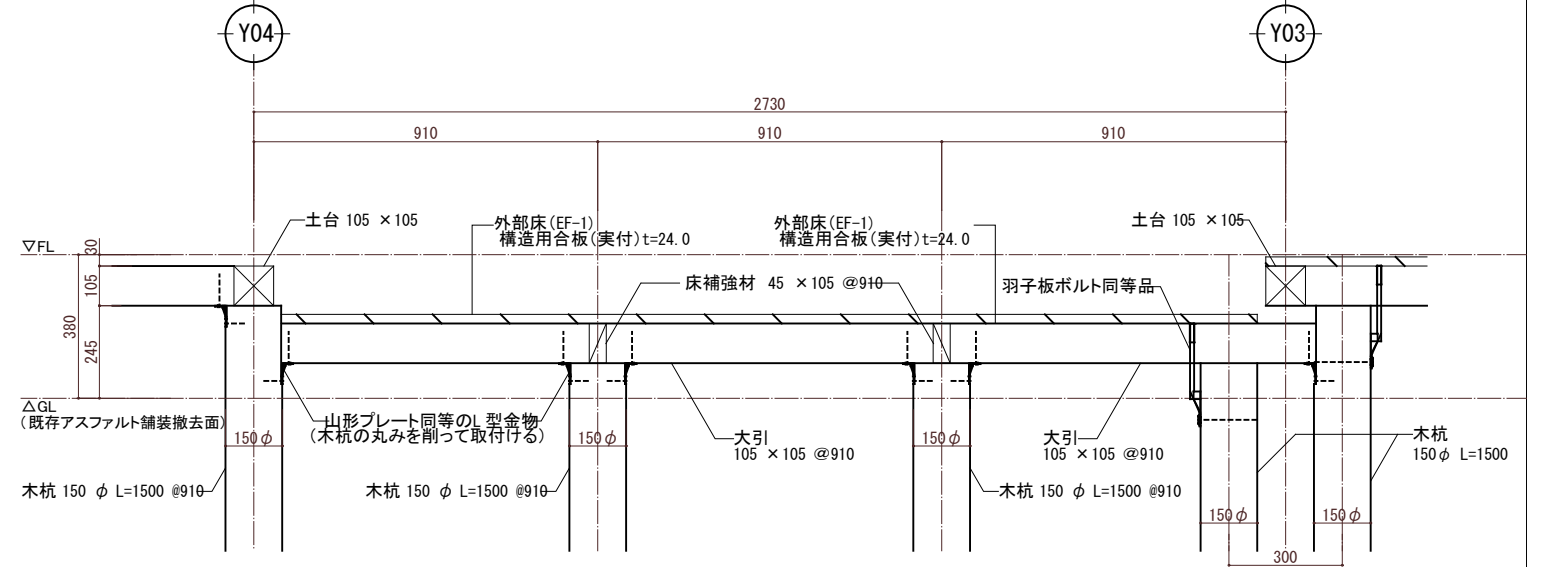
1 仮設管理待合棟 木杭伏図
S=1/100



2 仮設管理待合棟 土台・大引伏図 ※特記以外の土台・大引上端は、GL(Z00)から+350とする
S=1/100



3 木杭と土台等との接合部詳細図
S=1/10

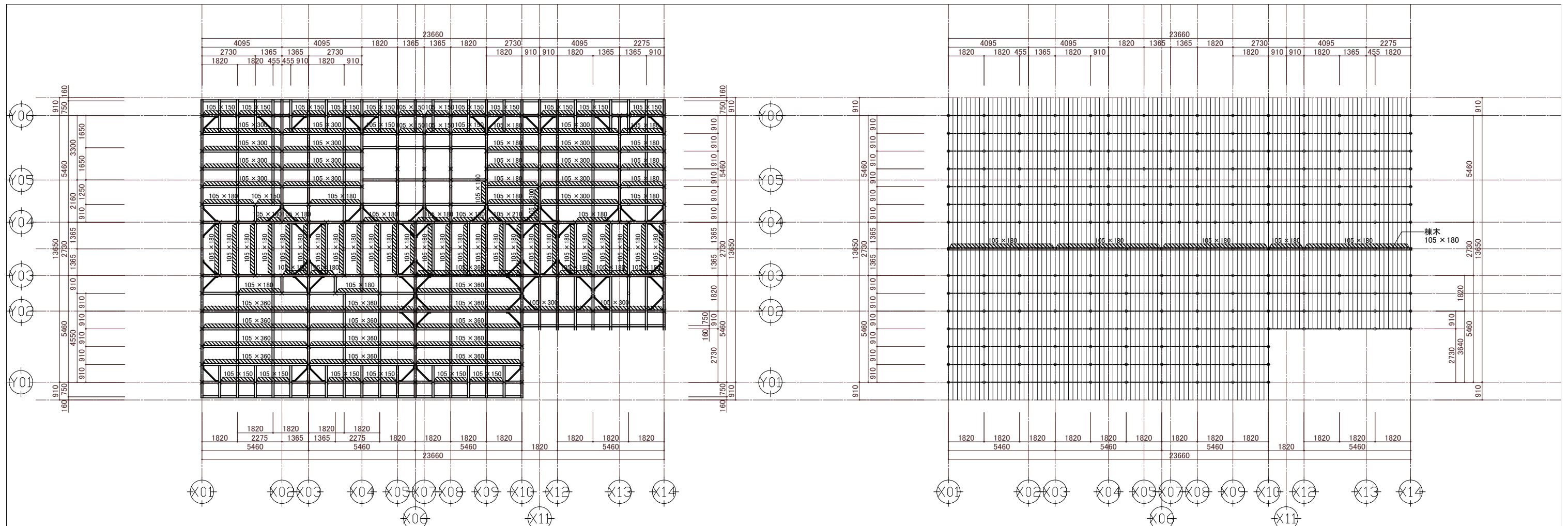


4 A-A' 断面詳細図(スロープ部分)
S=1/10

部位	符号	仕様・接合金物	部位	符号	仕様
木杭	○	150φ L=1500 @910x910 カラマツ 無等級 山形プレート同等のL型金物	断熱材受け兼杭通り調整	———	12X105 @910
木杭	○	150φ L=1500 @300 カラマツ 無等級 羽子板ボルト同等品			
土台	====	105x105 構造用集成材(正角材) 防腐・防蟻注入処理品 JAS 保存処理性能区分K3 相当品			
大引	====	105x105@910 構造用集成材(正角材) 大入れあり掛け N75 釘2本斜め打ち			
床補強材	====	45x105@910 米松			
床下地板	----	構造用合板t=24 釘打ち(CN75 またはN75) 四周(外周)@150 中通り@200			
柱	○	105X105 構造用集成材(正角材)E95-F315 仕口・接合金物は耐力壁算定図1(AK-029)による			

特記事項
 1) GL+1000 まで防腐・防蟻処理 保存協会認定品(現場塗布)
 ・外周部の杭・柱・間柱・耐力面材等(防腐・防蟻注入処理品以外)
 ・土台継手は腰掛けあり継ぎとする。
 2) 土台の仕口
 隅部取合は大入れ小根ほど差割りくさび締め又はあり掛けとする。
 T字取合及び十字取合は、大入れあり掛けとする。
 3) 木杭は1800の長さのものを1500に加工して使用する。

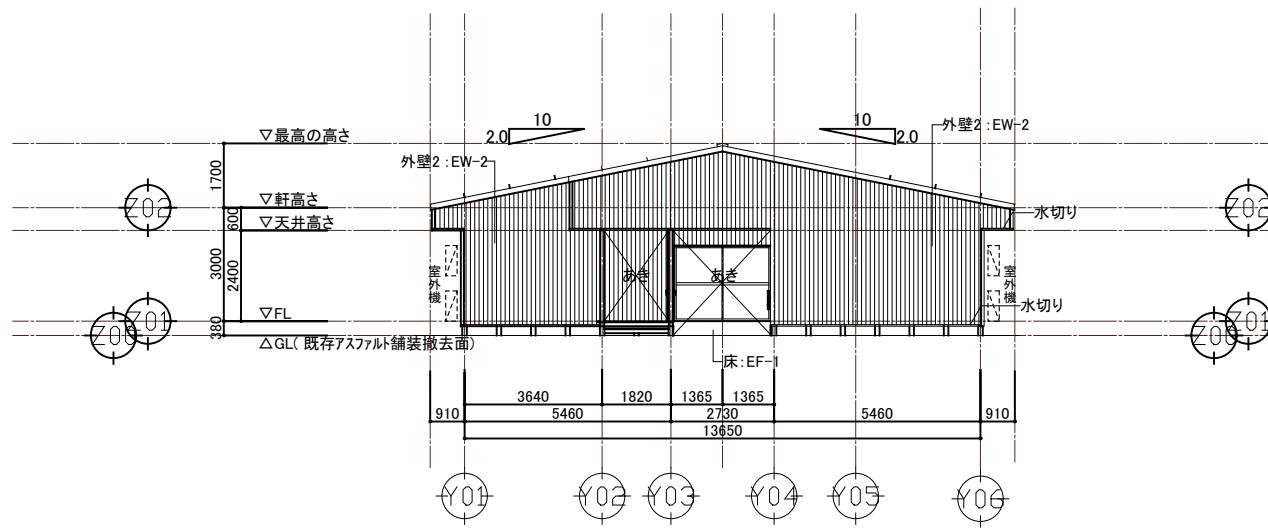
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
担当	704 仮設管理待合棟 基礎伏図・土台大引伏図
検図	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所
担当	東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功
AT: S=1/100, 1/10 A3: S=1/200, 1/100	



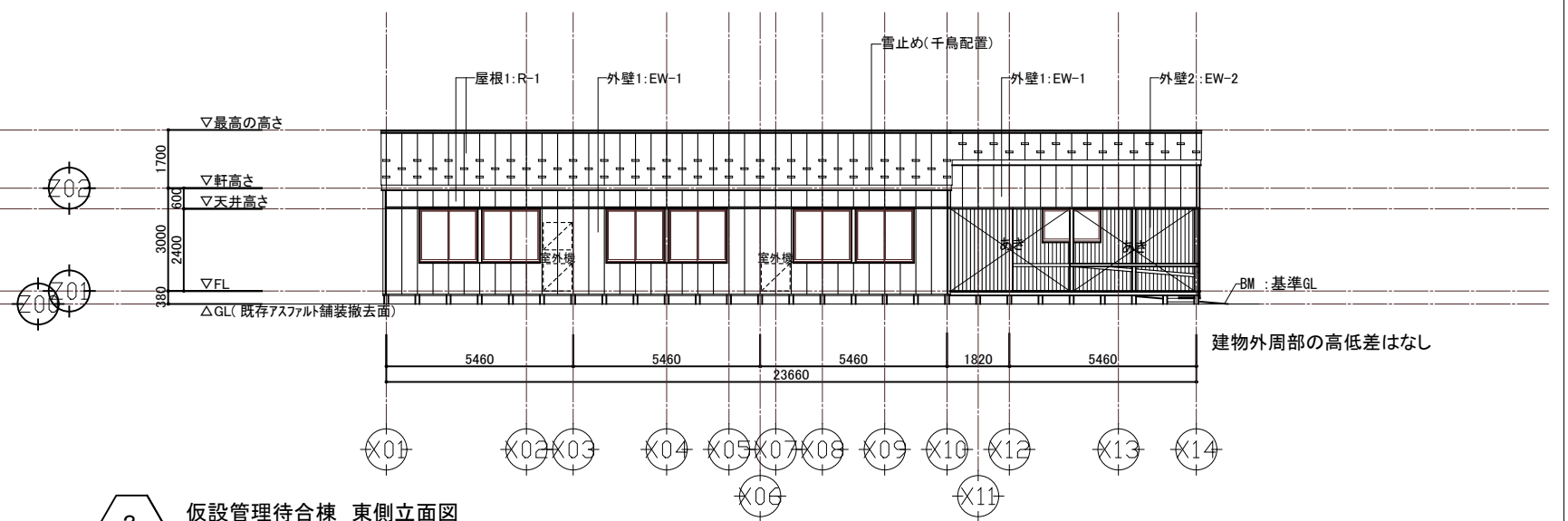
1 仮設管理待合棟 小屋伏図

部位	符号	仕様	部位	符号	仕様
下層柱	×	105x105 構造用集成材(正角材)E95-F315 仕口・接合金物は耐力壁配置図による	火打金物	△	火打金物HB 六角ボルト(M12)締め 平くぎ(ZF55)打ち
小屋束	○	105x105@1820 米松 JAS 規格品 1級品 上下仕口短ほぞ差し、かすがい両面打ち	母屋	—	105x105@910 構造用集成材(正角材) E105-F300 腰掛けあり継ぎ
間柱		45x105 スプルス半割材 上下大入れとし、N75 釘斜め打ち	垂木(R-1)	—	45x90@455/2 松 JAS 規格品 1級品 N75 釘両面斜め打ち
軒桁	≡	105X105 構造用集成材(正角材)E105-F300	垂木掛け	-----	45x105 松 JAS 規格品 1級品 N75 釘両面斜め打ち
小屋梁	≡	105X105 構造用集成材(平角材)E105-F300	継手 腰掛けあり継ぎ+ 短冊金物Sx2 六角ボルト締め		
		105X150 構造用集成材(平角材)E105-F300			
		105X180 構造用集成材(平角材)E105-F300			
		105X210 構造用集成材(平角材)E105-F300			
		105X300 構造用集成材(平角材)E105-F300			
		105X330 構造用集成材(平角材)E105-F345			
		105X360 構造用集成材(平角材)E105-F345			
105X390 構造用集成材(平角材)E105-F345					
ツナギ材	≡	105X105 米松正角材	小屋筋かい		18x90 松
			天井下地		スプルス正割材
			胴縁等		スプルス板材
			柱の有効細長比(λ) = 90.26 (≦150)		

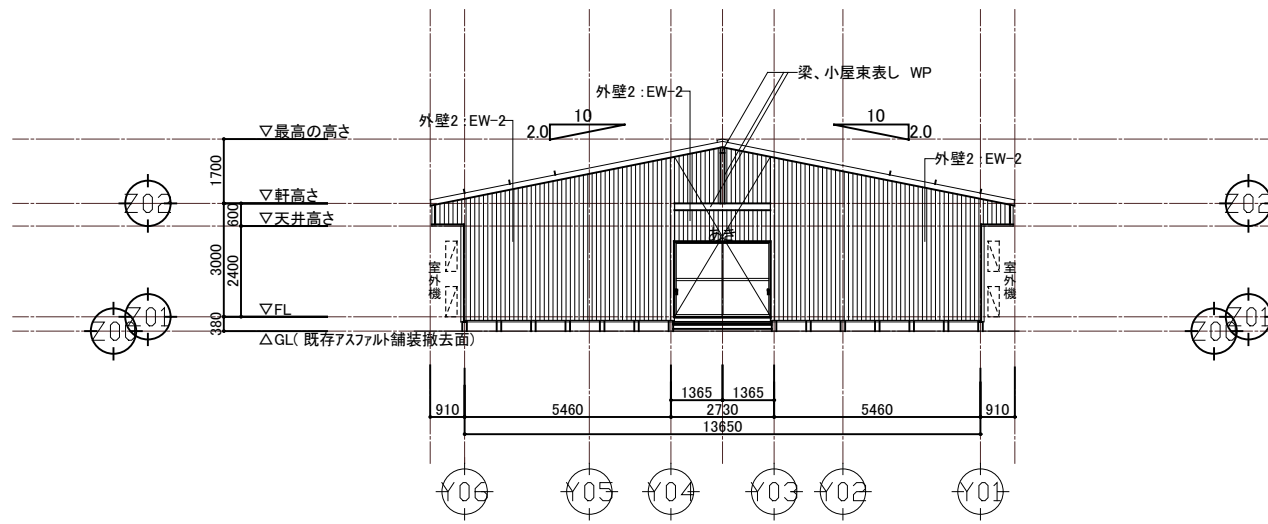
検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担 当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	
令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 小屋伏図・母屋垂木伏図	
AK-015	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101
A1: S=1/100 A3: S=1/200	一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功



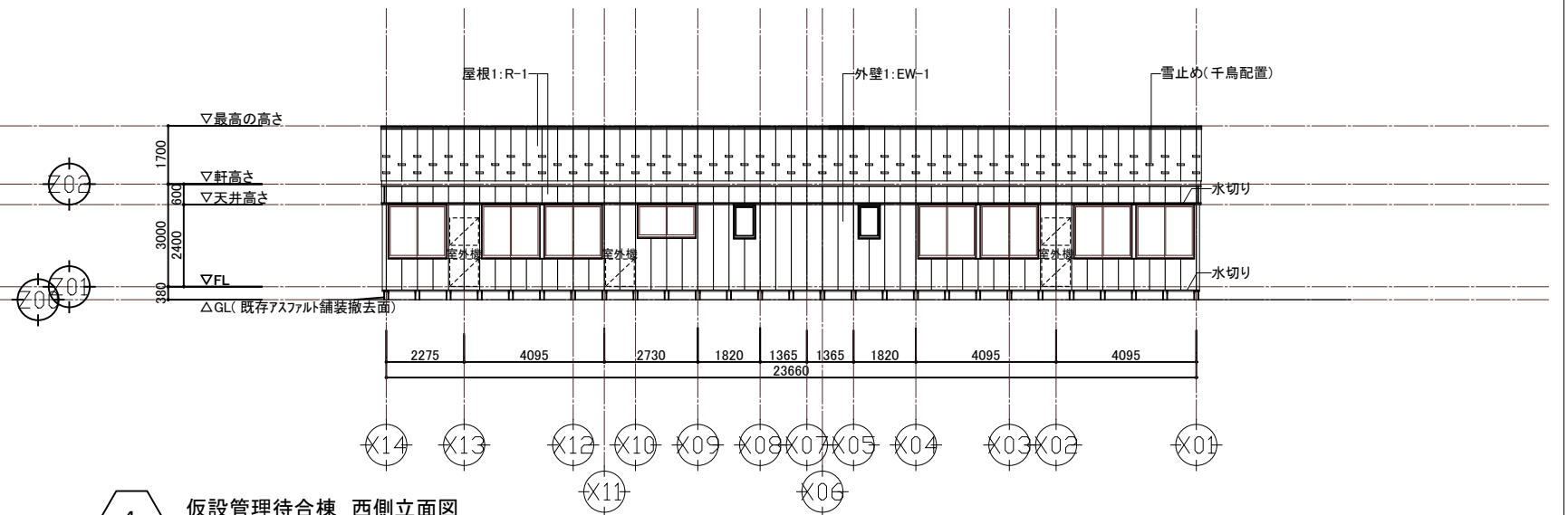
1 仮設管理待合棟 北側立面図
S=1/100



2 仮設管理待合棟 東側立面図
S=1/100



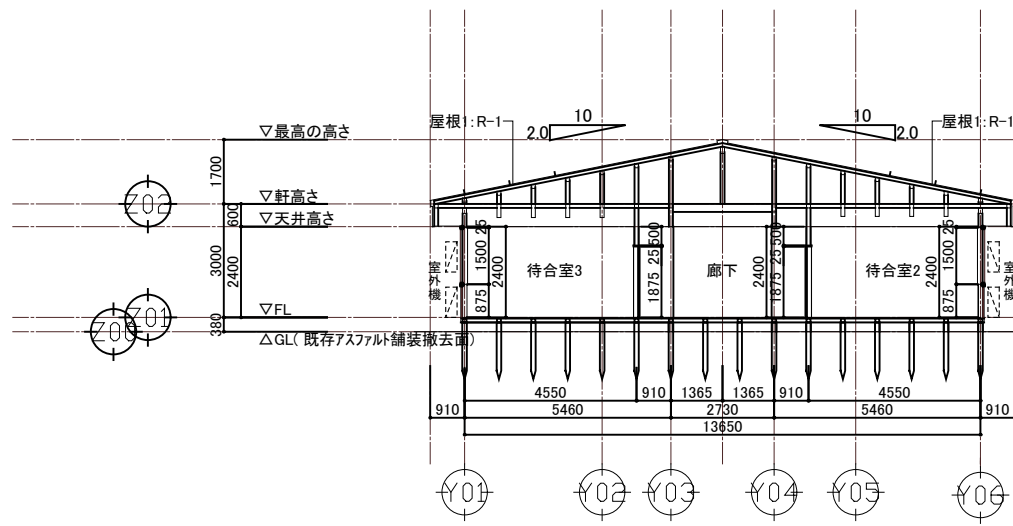
3 仮設管理待合棟 南側立面図
S=1/100



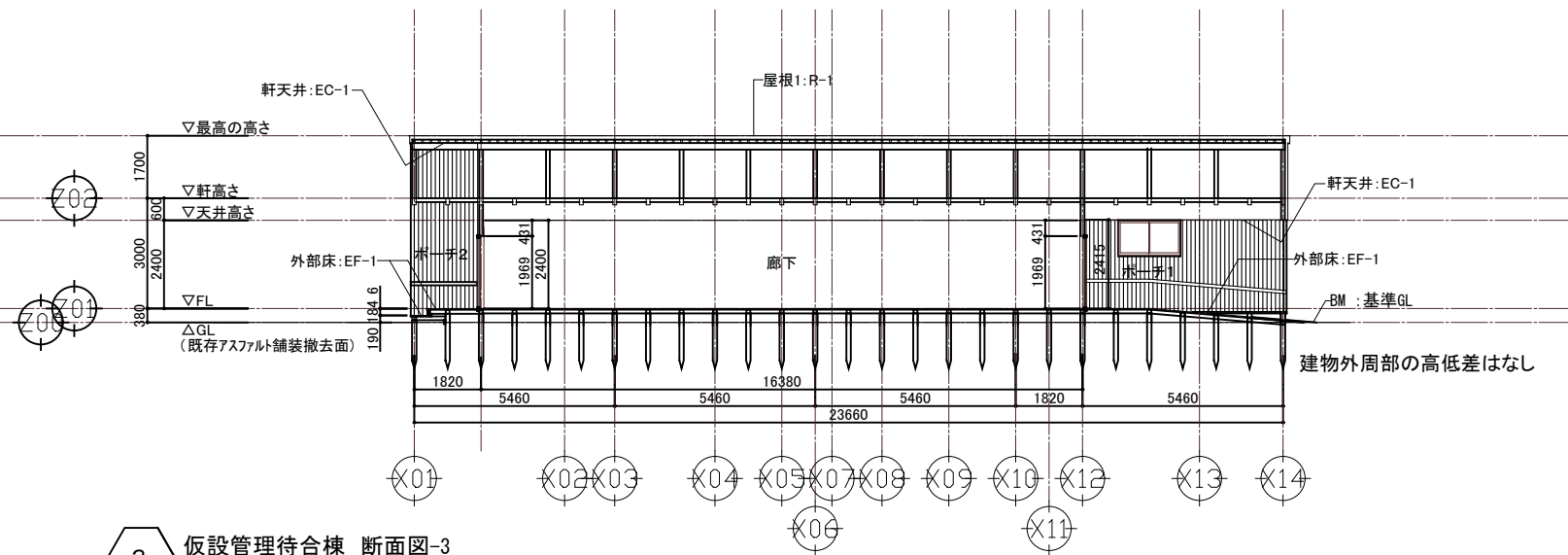
4 仮設管理待合棟 西側立面図
S=1/100

符号凡例		■屋根		■外部床	
R-1	普通合板2類t=12.0 + アスファルトフリング#940 + 塗装溶融55% アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 立平葺き	EF-1	構造用合板t=24.0		
■外壁		水切り	既製品(アルミ製)		
EW-1	構造用合板t=9.0 + 透湿防水シート + 通気胴縁18x45 + 耐水石膏ボード(GB-S)t=12.5 + アスファルトフェルト430 + 塗装溶融55% アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 立平葺き				
EW-2	構造用合板t=9.0 + 透湿防水シート + 通気胴縁18x45 + 木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板t=14.0				
■軒天井					
EC-1	パルプ繊維混入セメント板(塗装品)t=12.0				

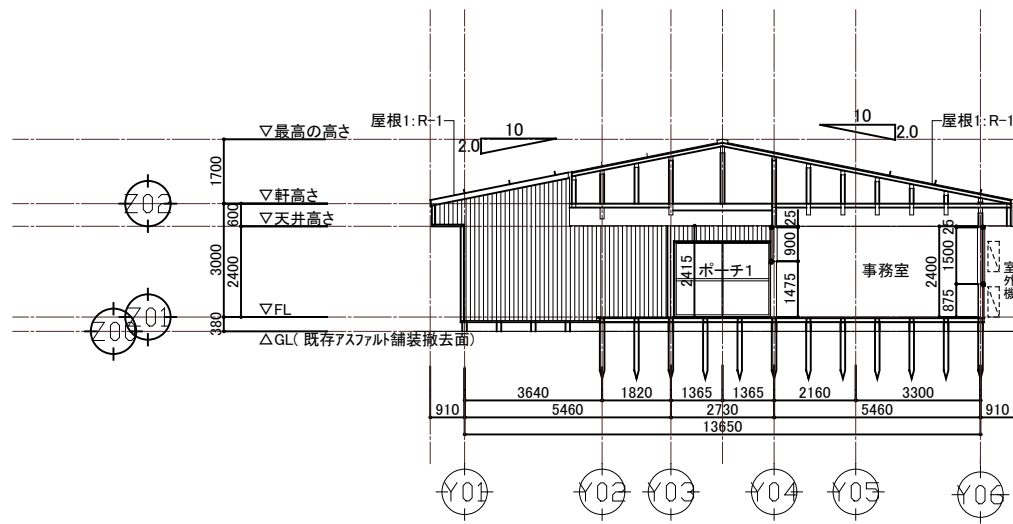
検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担 当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 立面図
AK-016	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担 当 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功



1 仮設管理待合棟 断面図-1
S=1/100



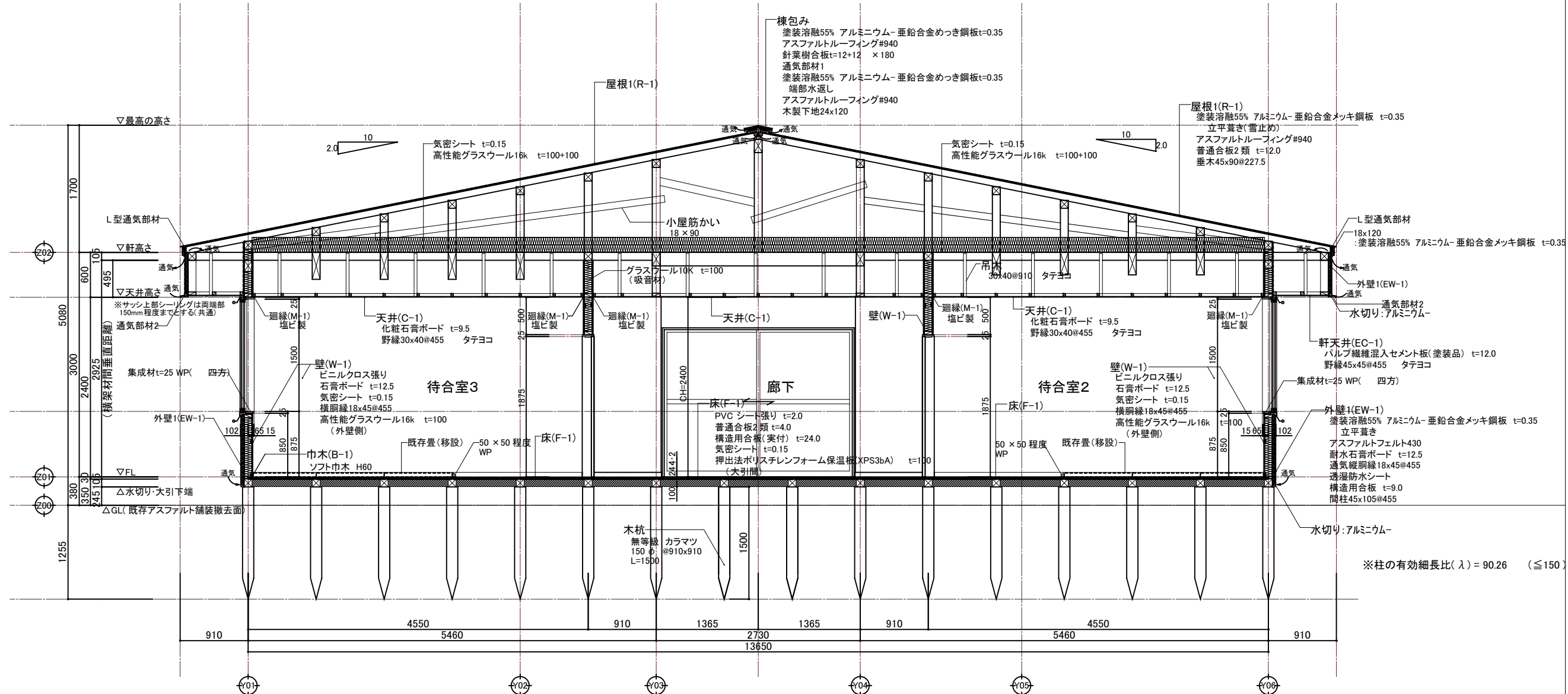
3 仮設管理待合棟 断面図-3
S=1/100



2 仮設管理待合棟 断面図-2
S=1/100

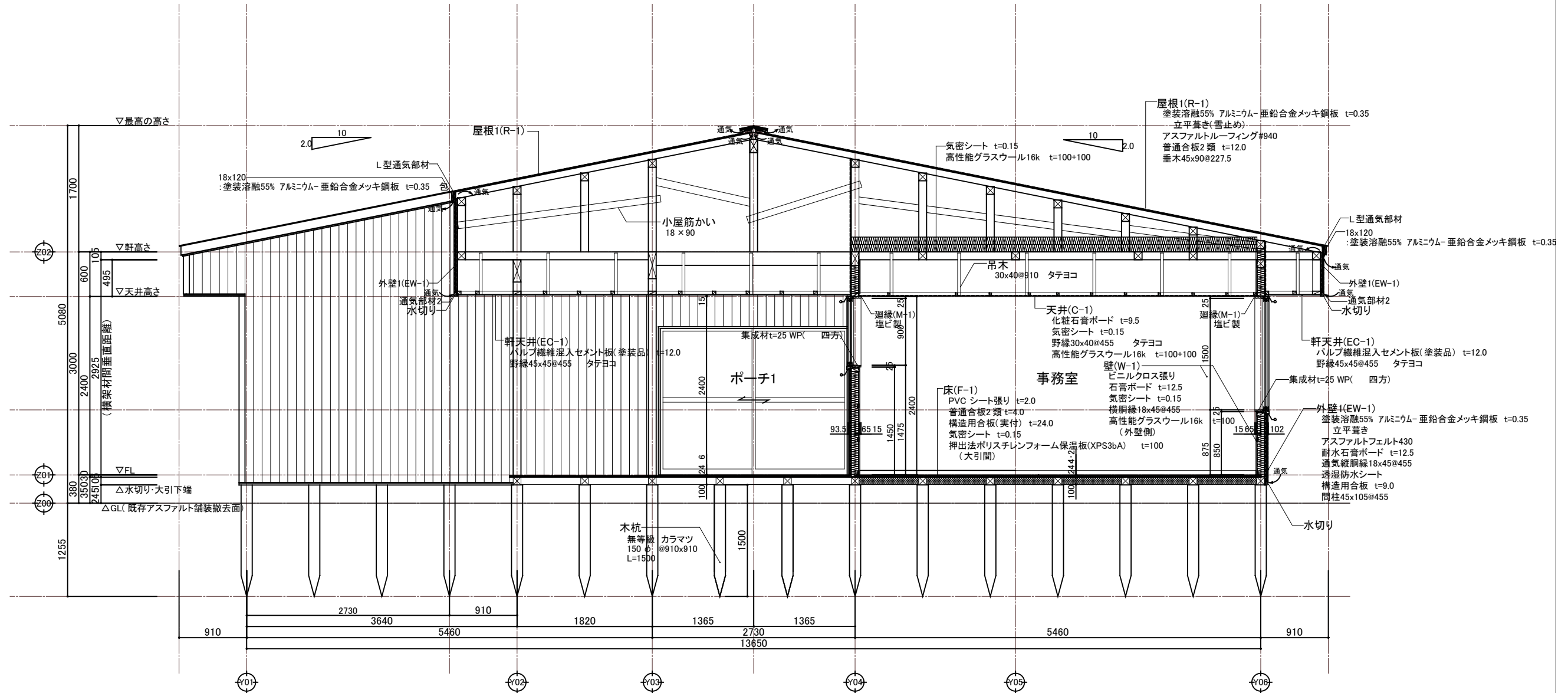
符号凡例			
■屋根		■外部床	
R-1	普通合板2類t=12.0 + アスファルトルーフィング#940 + 塗装溶融55% アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 立平葺き	EF-1	構造用合板t=24.0
■外壁		水切り	
EW-1	構造用合板t=9.0 + 透湿防水シート + 通気胴縁18x45 + 耐水石膏ボード(GB-S)t=12.5 + アスファルトフェルト430 + 塗装溶融55% アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 立平葺き	既製品(アルミ製)	
EW-2	構造用合板t=9.0 + 透湿防水シート + 通気胴縁18x45 + 木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板t=14.0		
■軒天井			
EC-1	パルプ繊維混入セメント板(塗装品)t=12.0		

検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担 当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	
令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 断面図	
検 図	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所
担 当	東京都新宿区四谷本町4-5 03(3351)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功
A1: S=1/100 A3: S=1/200	

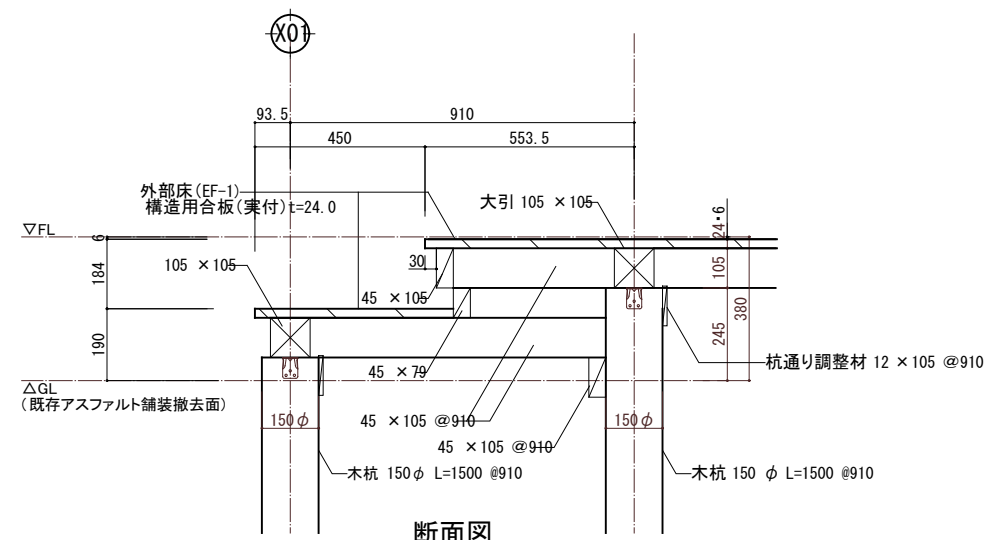
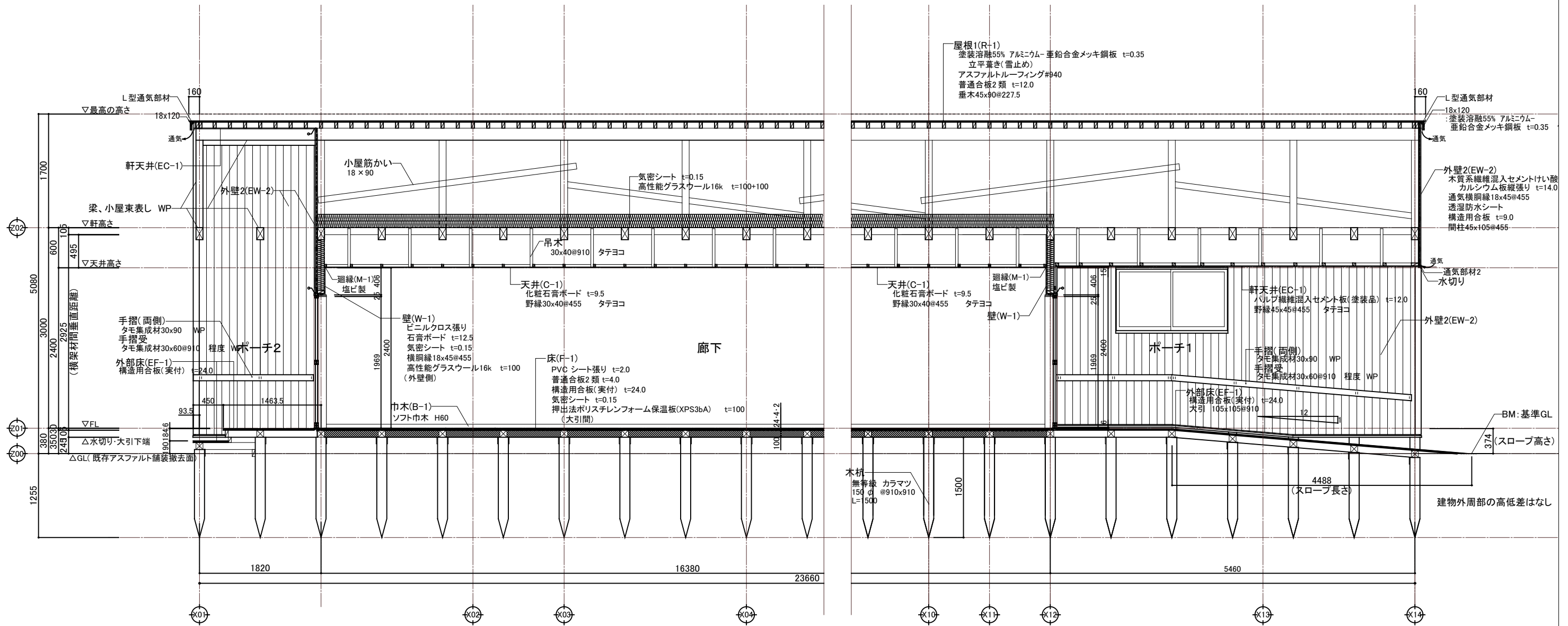


※柱の有効細長比(λ) = 90.26 (≦150)

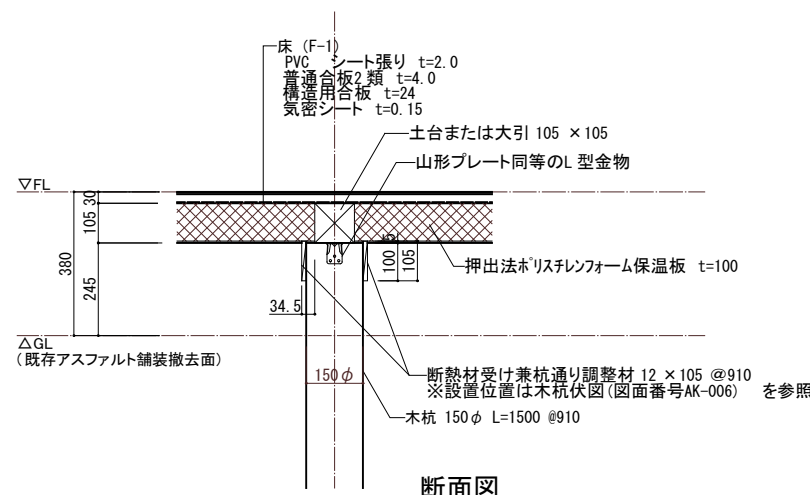
検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアタク 一級建築士事務所
担 当	青森県弘前市北園2-11-1 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 矩計図1
AK-018	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所
A1:S=1/30 A3:S=1/60	東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功



検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第164475号 前田卓
担 当	令和7年度 弘前市畜場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 矩計図2
704	
AK-019	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
A1: S=1/30 A3: S=1/60	

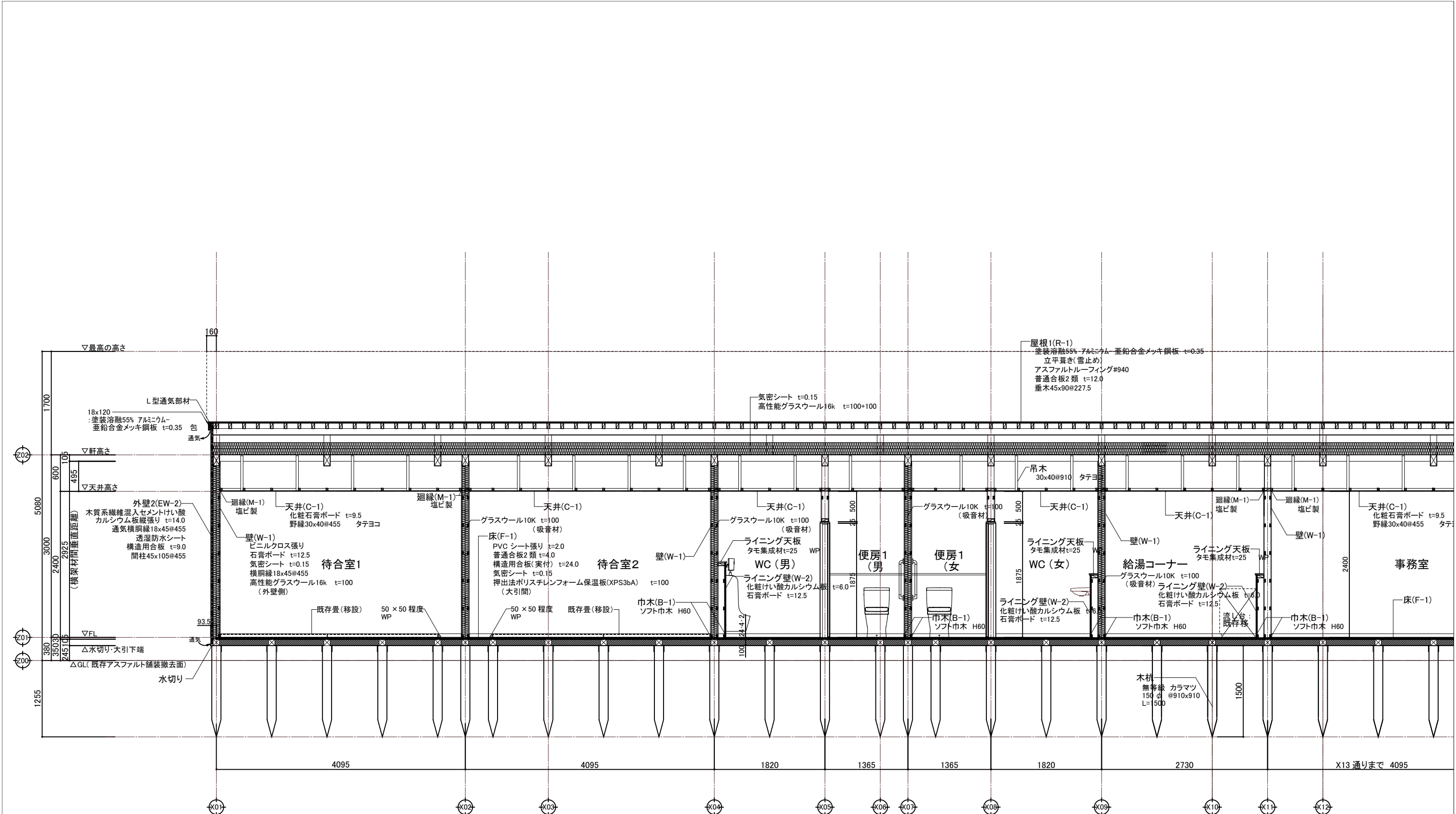


ポーチ2 床納まり詳細図 S=1/10

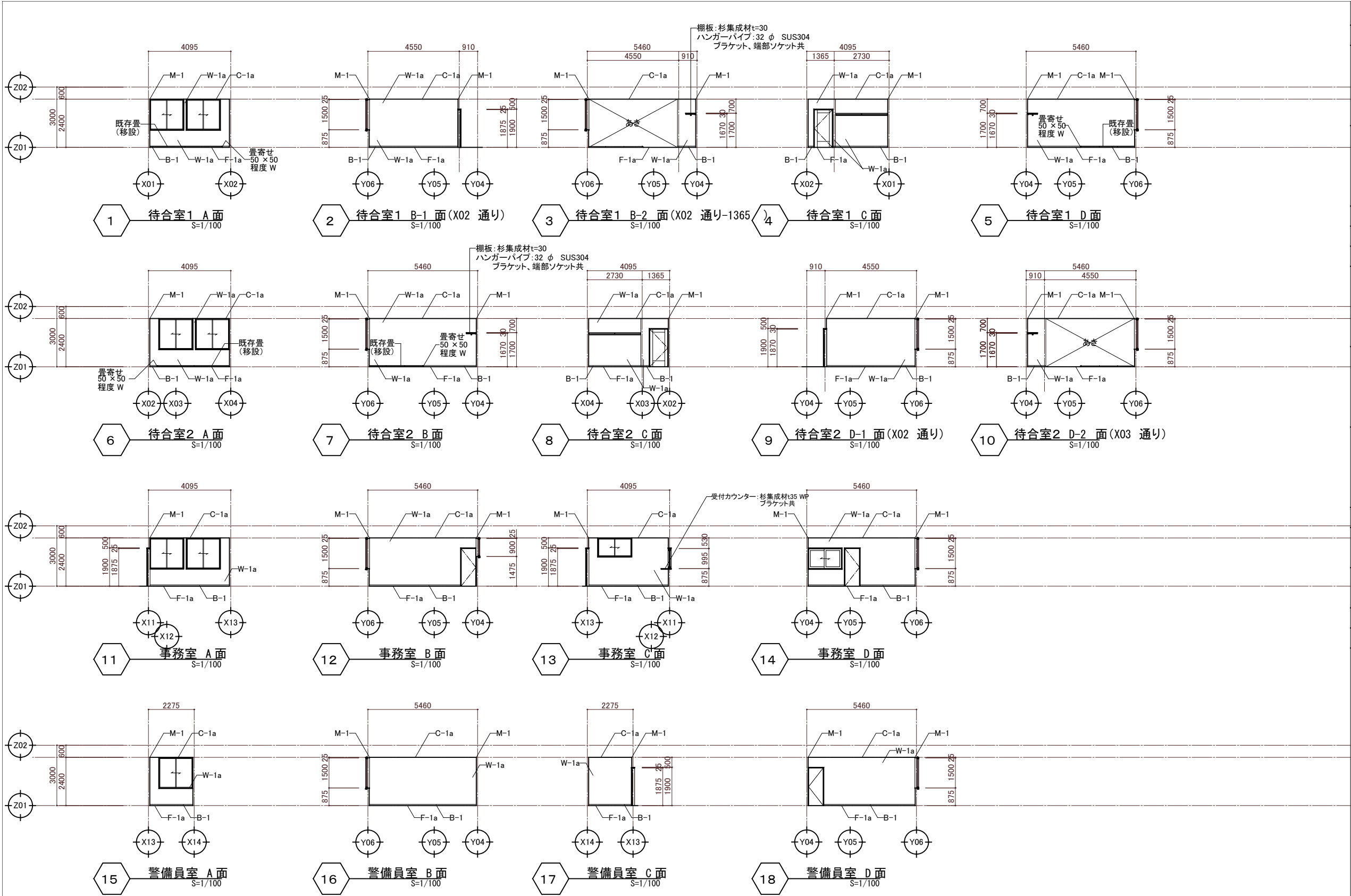


床断熱材の固定方法詳細図 S=1/10

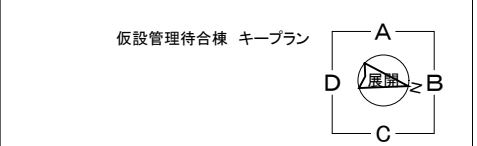
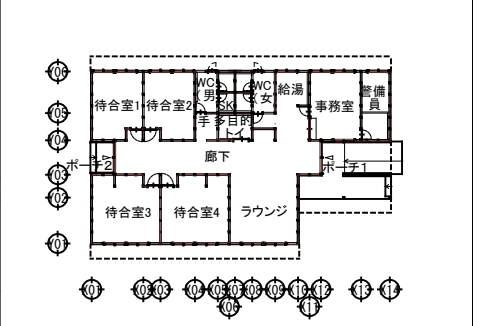
検図	704	AK-020	検図	704	AK-020
担当	担当	担当	担当	担当	担当
一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-1 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第164475号 前田卓		令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 矩計図3		一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功	



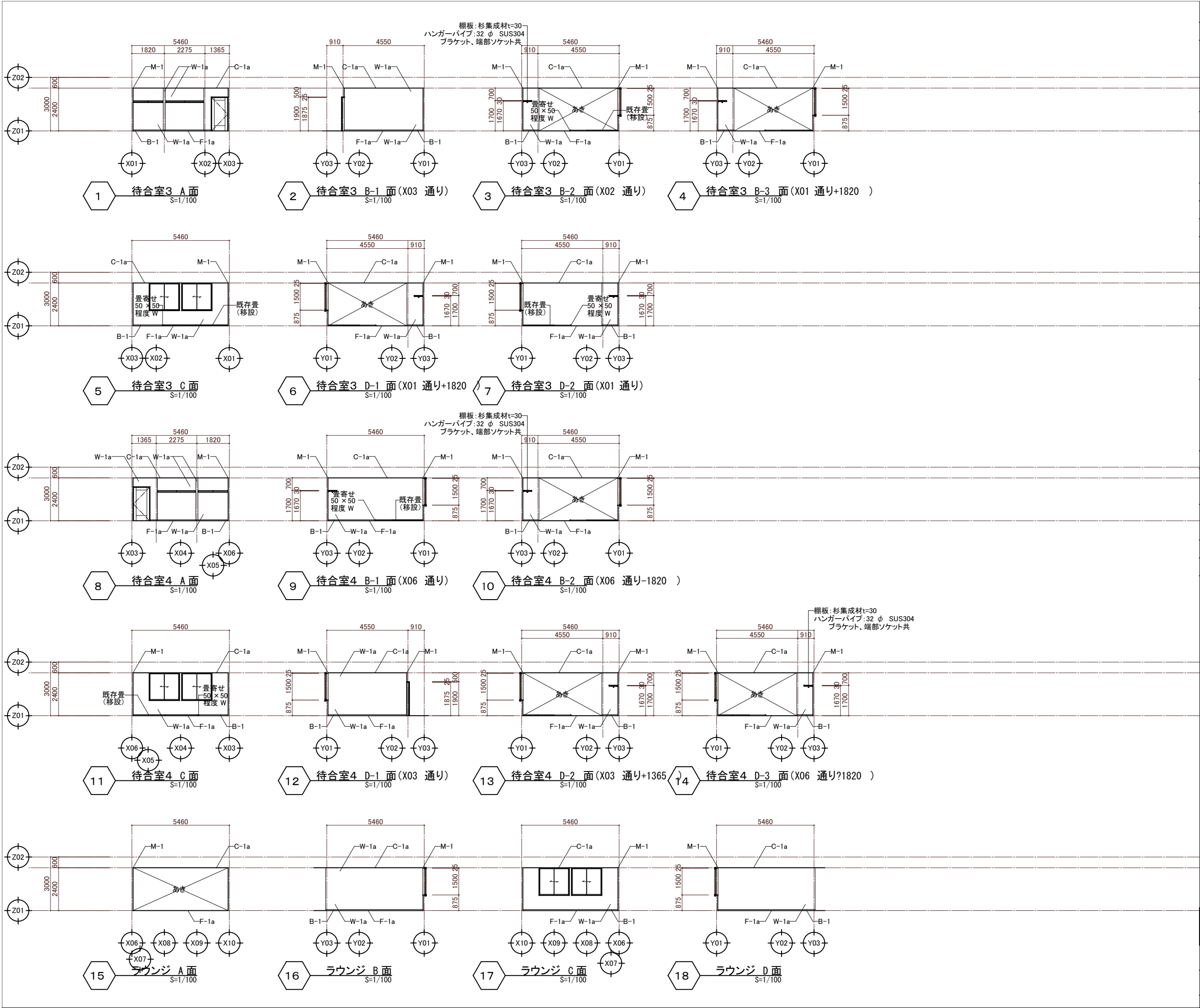
検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2丁目11番11号 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第164475号 前田卓
担 当	令和7年度 弘前市畜場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 矩計図4
704	
AK-021	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
A1: S=1/30 A3: S=1/60	検 図 担 当



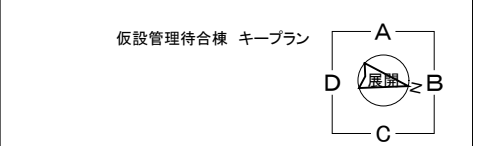
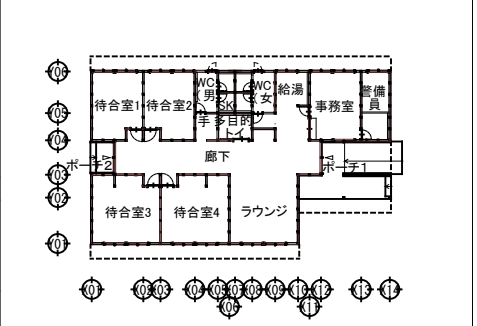
符号凡例			
符号	仕上	下張り	
F-1	a	PVC シート張り	普通合板t=4.0 + 構造用合板t=24.0
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
F-2	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
B-1	ソフト巾木	GB-R t=12.5	
B-2	—	—	
EW-2	木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板(塗装品) t=14.0	—	
W-1	a	クロス張り	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-2	a	化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-3	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
EC-1	パルプ繊維混入セメント板(塗装品) t=12	—	
C-1	a	化粧石膏ボード直張り	—
	b	—	—
C-2	a	—	—
	b	—	—
M-1	塩ビ製廻縁	—	
M-2	—	—	



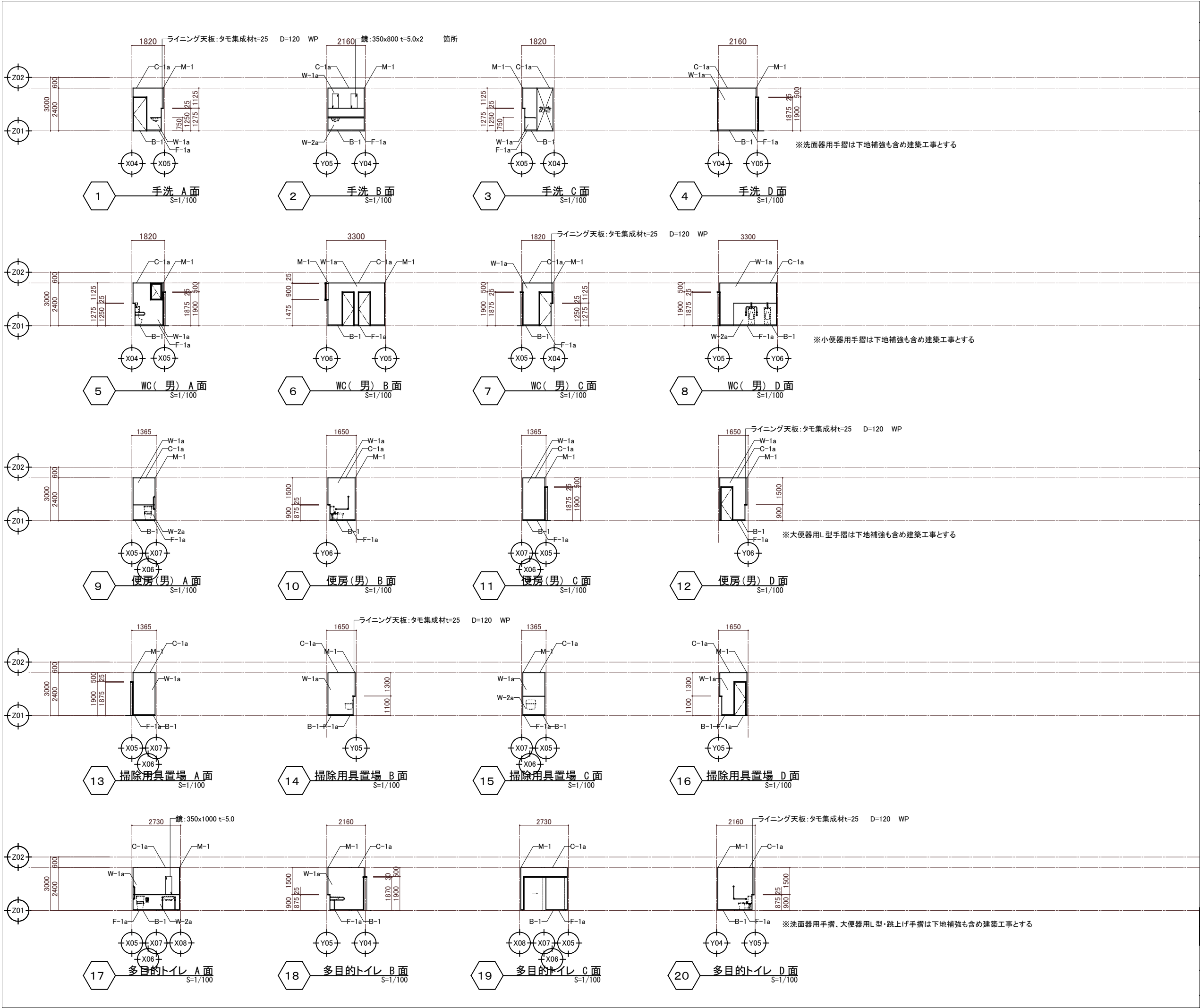
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 展開図1
AK-022	検図 一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担当 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功



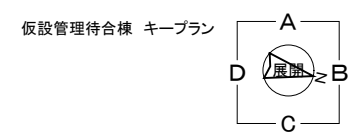
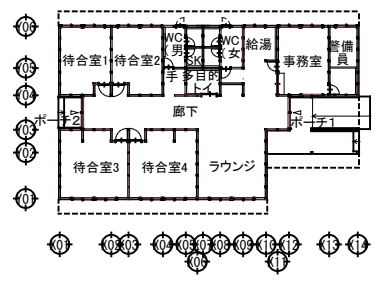
符号凡例			
符号	仕上	下張り	
F-1	a	PVC シート張り	普通合板t=4.0 +構造用合板t=24.0
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
F-2	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
B-1	ソフト巾木	GB-R t=12.5	
B-2	—	—	
EW-2	木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板(塗装品) t=14.0	—	
W-1	a	クロス張り	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-2	a	化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-3	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
EC-1	パルプ繊維混入セメント板(塗装品) t=12	—	
C-1	a	化粧石膏ボード直張り	—
	b	—	—
C-2	a	—	—
	b	—	—
M-1	塩ビ製廻縁	—	
M-2	—	—	



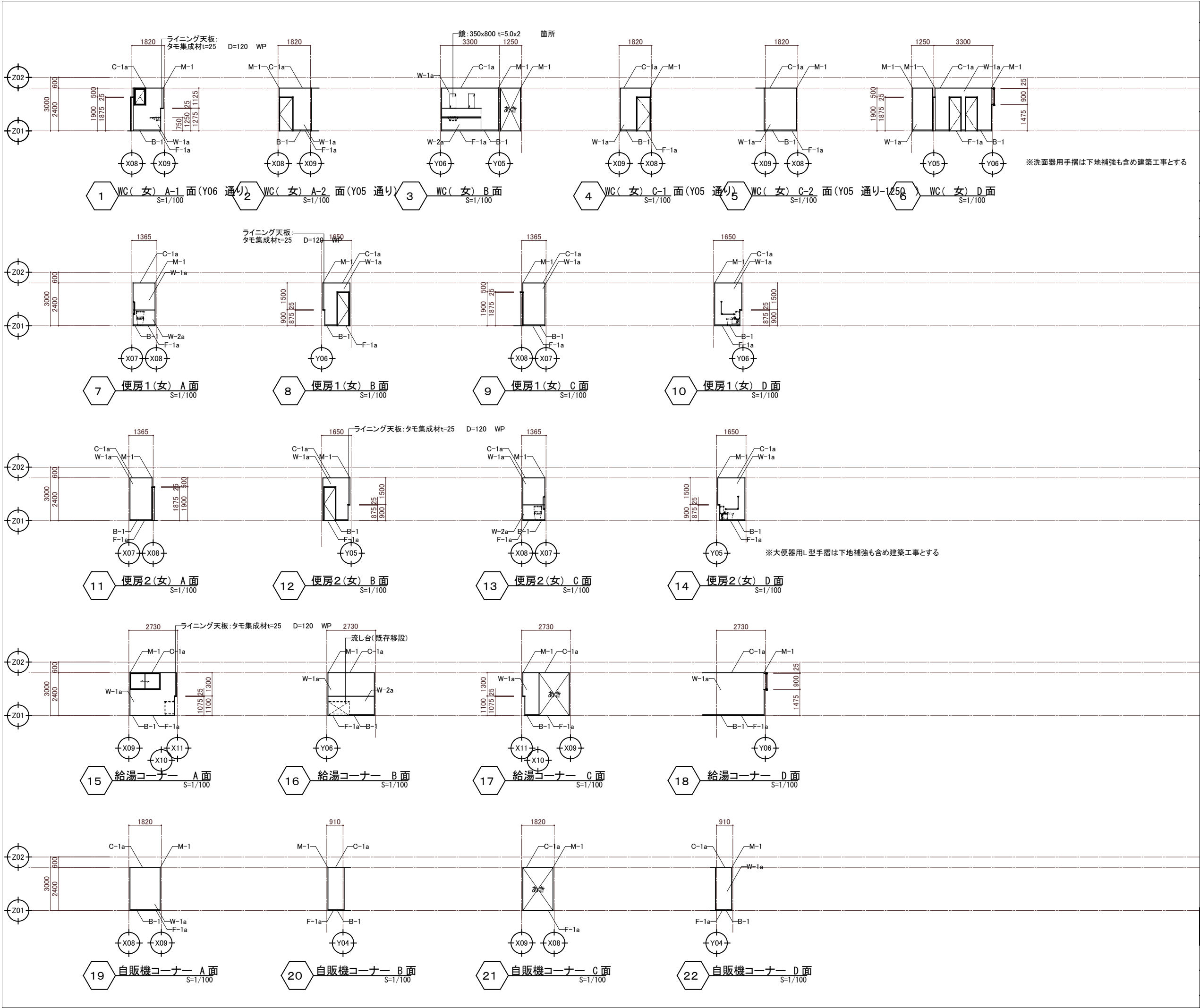
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 展開図2
AK-023	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)7101
A1:S=1/100 A3:S=1/200	一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功



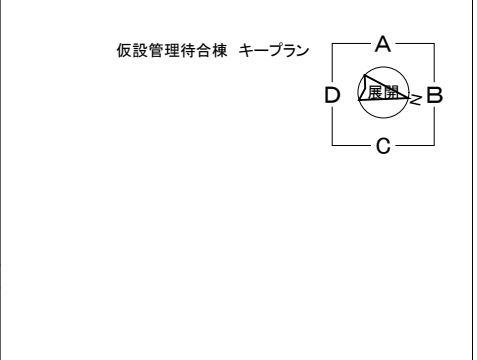
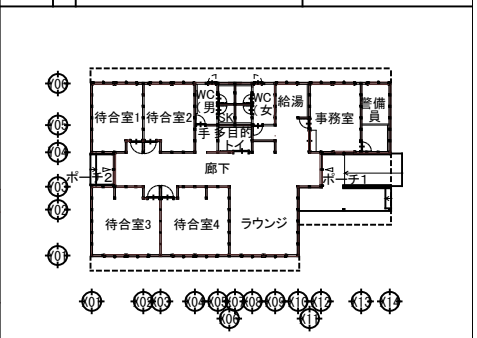
符号凡例			
符号	仕上	下張り	
F-1	a	PVC シート張り	普通合板t=4.0 + 構造用合板t=24.0
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
F-2	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
B-1	ソフト巾木	GB-R t=12.5	
B-2	—	—	
EW-2	a	木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板(塗装品) t=14.0	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-1	a	クロス張り	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-2	a	化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-3	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
EC-1	パルプ繊維混入セメント板(塗装品) t=12	—	
C-1	a	化粧石膏ボード直張り	—
	b	—	—
C-2	a	—	—
	b	—	—
M-1	塩ビ製廻縁	—	
M-2	—	—	



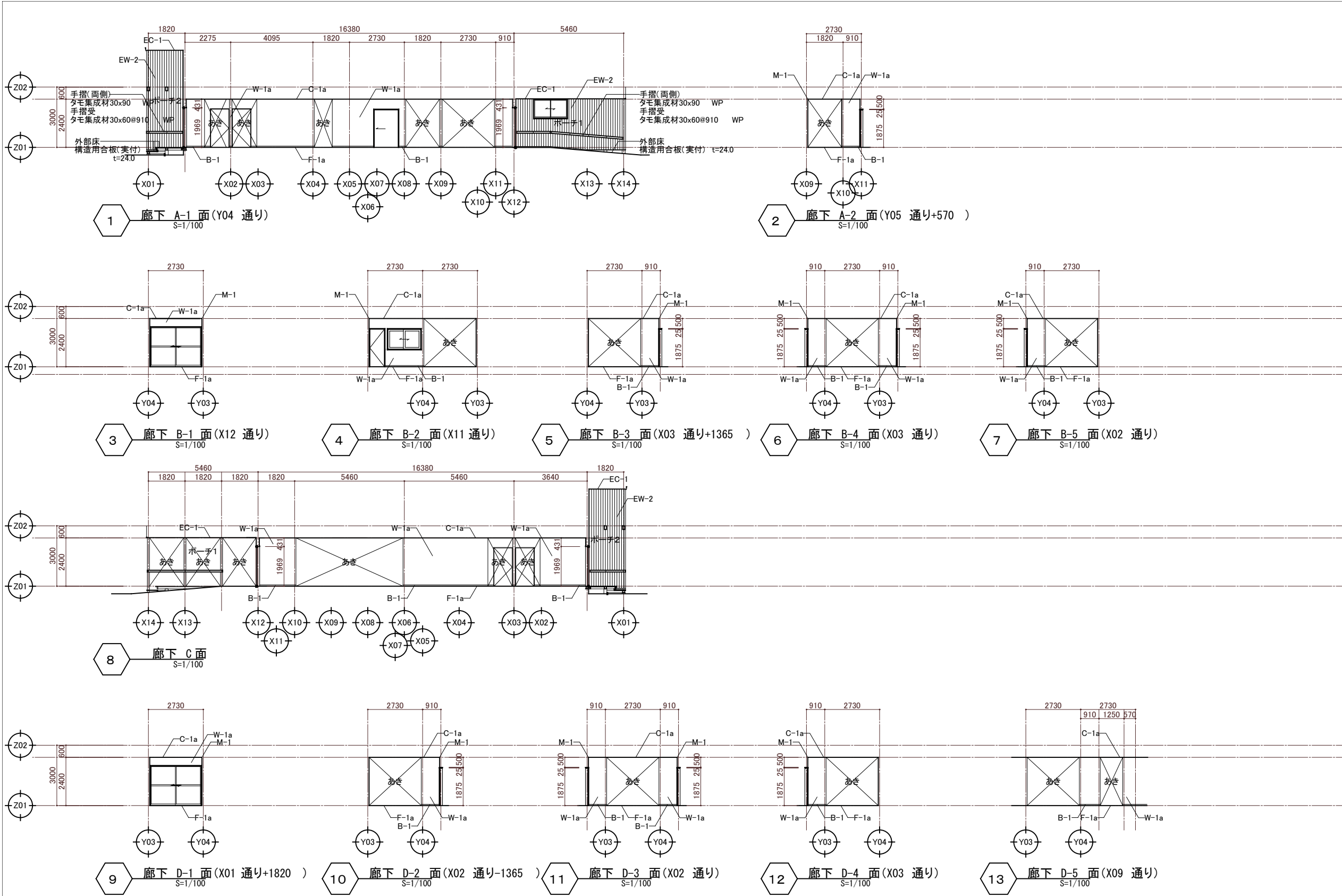
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアタケ 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	
仮設管理待合棟 展開図3	
検図	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所
担当	東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
AT: S=1/100 A3: S=1/200	



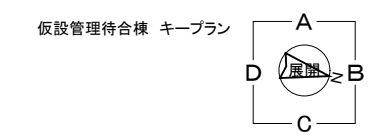
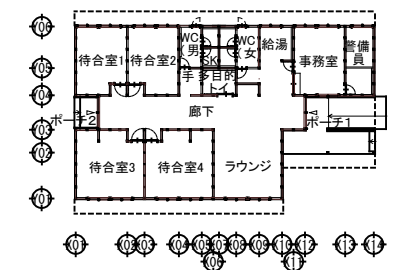
符号凡例			
符号	仕上	下張り	
F-1	a	PVC シート張り	普通合板t=4.0 + 構造用合板t=24.0
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
F-2	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
B-1	ソフト巾木	GB-R t=12.5	
B-2	—	—	
EW-2	a	木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板(塗装品) t=14.0	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-1	a	クロス張り	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-2	a	化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-3	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
EC-1	—	—	
C-1	a	パルプ繊維混入セメント板(塗装品) t=12	—
	b	—	—
C-2	a	—	—
	b	—	—
M-1	—	—	
M-2	—	—	



検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 展開図4
AK-025	検図 一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)7101
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担当 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋



符号凡例			
符号	仕上	下張り	
F-1	a	PVC シート張り	普通合板t=4.0 + 構造用合板t=24.0
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
F-2	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
B-1	ソフト巾木	GB-R t=12.5	
B-2	—	—	
EW-2	a	木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板(塗装品) t=14.0	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-1	a	クロス張り	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-2	a	化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	GB-R t=12.5
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
W-3	a	—	—
	b	—	—
	c	—	—
	d	—	—
EC-1	パルプ繊維混入セメント板(塗装品) t=12	—	
C-1	a	化粧石膏ボード直張り	—
	b	—	—
C-2	a	—	—
	b	—	—
M-1	塩ビ製廻縁	—	
M-2	—	—	



検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所
担当	青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 展開図5
AK-026	検図 一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担当 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功

【建具共通事項】 **【建具符号と図面表示】**

1. 一般共通事項
- 1) 建具共通事項は特に図示がない場合に適用する。設計図書の特記優先順位は、特記仕様書、建具表、建具共通事項、標準仕様書とする。
 - 2) 建具寸法は、特記なき限り枠内寸法とする。

2. アルミニウム製建具共通事項
- 1) 水切り板はアルミニウム既製品押出型材とし、防水性向上及び壁面汚れ防止のためアルミニウム材で両端を立ち上げる。
 - 2) 排煙窓の操作ワイヤー等は、枠内隠蔽式とする。
 - 3) 縦枠、下部小口にカバーをすること。

3. 鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具共通事項
- 1) 寒冷地の場合は、外部扉の沓摺に結露受けを設ける。
 - 2) 扉枠の形状は、特記による。
 - 3) 外部は、扉性能SAT 以上とする。
 - 4) T・AT・SAT 扉はフラッシュ扉とし、枠の四周には曲げ加工による溝を設け、クロロブレンゴム等の気密材は四辺をつなげる
 - 5) T 扉はドア厚≧45 mmとし、ロックウール(150kg/m3)を充填し、枠にはモルタルを隙間なく充填する。性能は特記仕様書16章建具工事による。
 - 6) T 扉は、特記なき限り廊下に面する場合は、遮音性能JIS 等級T-2 程度とし、居室に面する場合はT-4 程度とする。
 - 7) AT 扉は、特記なき限り気密性能JIS 等級A-4 程度・水密性能JIS 等級W-4 程度とする。
 - 8) SAT 扉は、特記なき限り標準仕様書の「簡易気密型ドアセット」とする。
 - 9) 鋼製扉は、ドア厚40mm ≧とし、鋼製軽量建具は、ドア厚≧35mm とする。
 - 10) 厨房、浴室、プール等の水がかり部のSD、LD 扉枠および三方枠は特記なき限りSUSHL とする。
 - 11) 外部鋼製建具の塗装仕様はAS とする。
 - 12) 鋼製建具の開き扉・引き戸の枠には戸当りゴムを取り付ける。
 - 13) 上部に庇の無い外部扉は、上枠に水切金物(SUS304, t=1.5、 枠からの出寸法30mm 程度)を取り付ける。
 - 14) 沓摺は、床が同レベルの場合B-1、B-2 又はC-1、同レベルで床にレベル差がある場合はB-3 とする。
 - 15) 鋼製軽量扉の小包みは表面材を曲げこむ。
 - 16) 引戸・開き戸には指詰め防止機構を装備する。
 - 17) 建具下部スチールプレートに糸面取りをする。

4. 各建具は以下のメーカー同等品とする
- 1) アルミニウム製窓 (AW101?103) :株式会社LIXIL セレクトサッシPG
 - 2) アルミニウム製戸 (AD101) :株式会社LIXIL(トステム) 非住宅用サッシ・ドア 店舗引戸
 - 3) 木製建具 :製作品

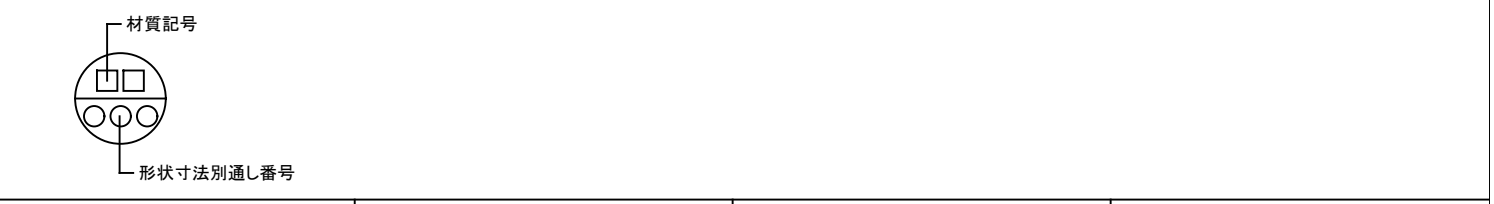
5. 建具用金物共通事項

1) 建具金物は下記を取り付ける。

基本性能 開閉方	支持金物	錠	付属金物
引違い窓	戸車およびレール	クレセント	引手,進入口は 進入口用クレセント
片引き窓	戸車およびレール	クレセント 引き寄せハンドル	ストッパー,引手,進入口 は進入口用クレセント
片開き窓	丁番	引き寄せハンドル	突出棒,アームストッパー, 開き位置調整器
すべり出し窓	縦すべり出しピボット 横すべり出しピボット	引き寄せハンドル	アームストッパー, 開き位置調整器
回転窓	横軸・縦軸	トップラッチ	フック棒,角度調整器, 進入口は内外ハンドル
片開き戸 (外部)	丁番(SUS)	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル,ドアローザ, 戸当り,あおり止め
両開き戸 (外部)	丁番(SUS)	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル,ドアローザ, フランス落し,戸当り, あおり止め
片開き戸 (内部)	丁番(SUS) 縦枠付ピボットヒンジ フロアヒンジ	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル,ドアローザ, 戸当り
両開き戸 (内部)	丁番(SUS) 縦枠付ピボットヒンジ フロアヒンジ	シリンダー箱錠 本締り錠	レバーハンドル,ドアローザ, フランス落し,戸当り
引戸	ハンガーレール ハンガーローラー	引戸用錠	引手,振れ止めローラー, 戸当り
気密・遮音扉	丁番(SUS)	シリンダー掘込箱錠 クレモン錠	ドアローザ,フランス落し, 戸当り
壁埋込型 防火戸	軸吊型オートヒンジ	?	ケースハンドル又は掘込 引手,戸袋保持金物
壁埋込型 防火折戸	軸吊型オートヒンジ フロアヒンジ	?	ケースハンドル又は掘込 引手,戸袋保持金物 フランス落し
トレブース扉	ラバトリーヒンジ グラビティヒンジ	リムホルト ストライクホルト	押板・引手
点検口	中心吊スプリングヒンジ	点検錠	ケースハンドル又は掘込 引手,戸袋保持金物, アームストッパー,鎖

- 2) レバーハンドルは、SUS HL とする。
- 3) バックセットは握り玉100mm 程度、レバーハンドル75mm 程度とする。引棒の長さは、特記による。特記なき場合はL=450 程度とする。
- 4) シリンダー箱錠は、室内側:サムターン、廊下側:シリンダー錠とする。
- 5) 電気錠の場合、1次側のカードリーダー及び配線工事は電気工事、2次側の電気錠及び通電丁番は建築工事とする。
- 6) 防火・防煙区画の両開き扉は、2 枚ともドアローザ一付とし、枠埋込型閉鎖順位調整器を設置する。
- 7) 防火扉以外のドアローザは、金具の調整により、ストッパー有無の切り替え可能とする。
- 8) 戸袋付防火扉は、壁又は枠への埋込型レリーズ付とする。
- 9) 戸当りは、すべての扉に対し、壁又は床に取り付ける。
- 10) マスターキーはGMK 付マルチマスターキーシステムとする。

6. ガラス・ガラリ関係共通事項
- 1) 外部用ガラリはガラリ形状1類および有効開口率30 %程度とする。内部用ガラリはガラリ形状2類および有効開口率50 %以内程度とする。
 - 2) ガラリは、扉と同材質・同仕上とする。
 - 3) 外部に面するガラリは室内側にSUS 防鳥網(1.5mm, φ15mm) 付、取外し可能とし、アルミニウム製水返しを取り付ける。
7. 木製建具関係共通事項
- 1) 木製枠及び木製建具の塗装はWP とする。(WP の仕様は内部仕上げ表(図面番号AK-004)を参照)

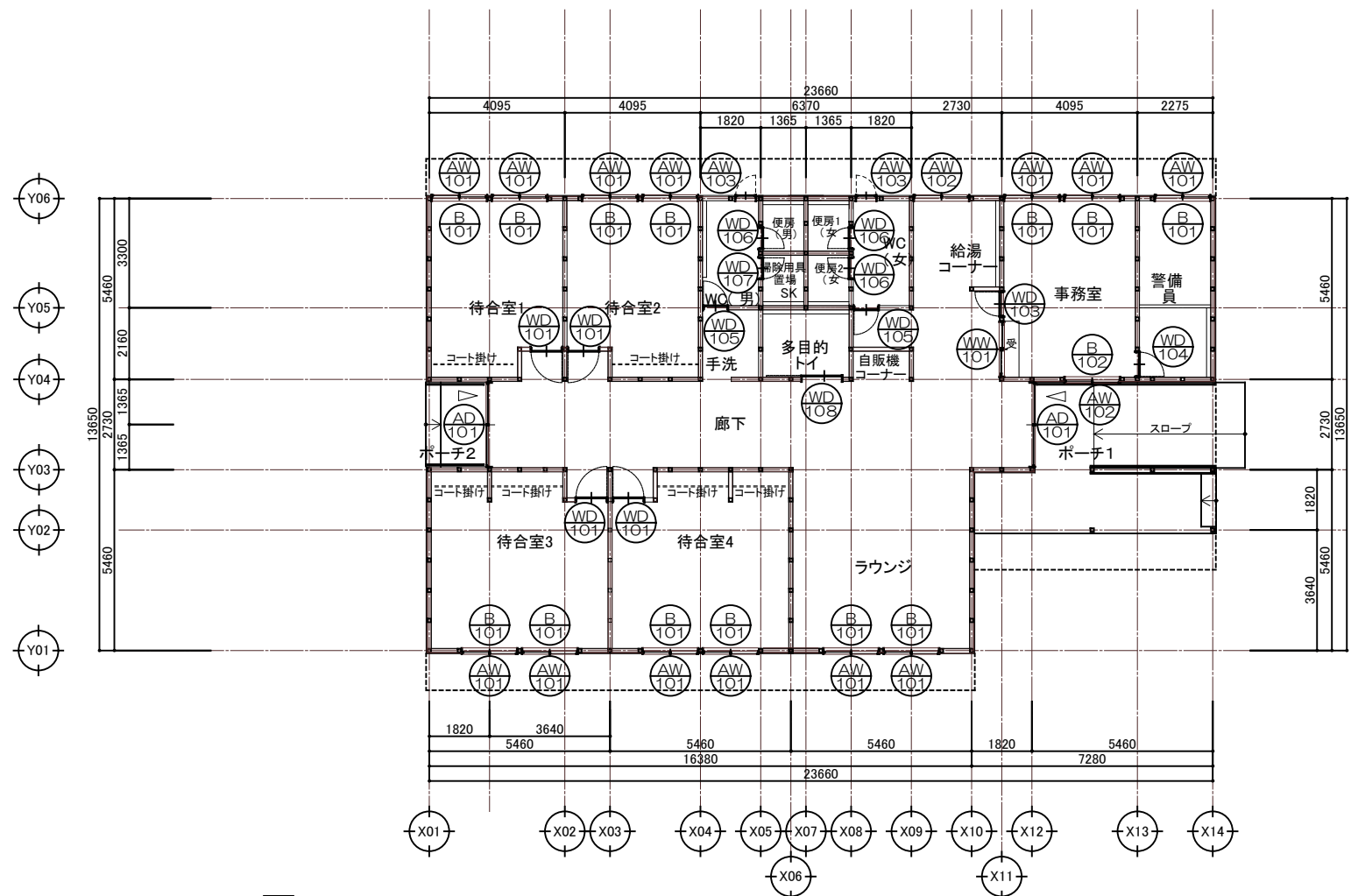


■扉・シャッターの性能記号		■建具の種類と符号		■ハンドル・押手類の形式		■ガラスの種類と符号	
符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類
F1	特定防火設備	SD	鋼製扉	h	レバーハンドル	FL	フロート板ガラス
F2	防火設備	SW	鋼製窓	h	回転把手(ケースハンドル)	FG	型板ガラス
SS	煙感連動	SG	鋼製ガラリ	h	掘込引手(両面)	SB	すり板ガラス
SMW	排煙オペレーター付	SF	鋼製三方枠・四方枠	h	握玉	PWG	網入板ガラス
MG	マグネットセンサー付	ST	鋼製点検口扉(片面フラッシュ)	h	押板 / 引手	FWG	網入型板ガラス
AUT	自動扉	LD	鋼製軽量扉	h	引棒	PLG	線入板ガラス
T	遮音	HD	鋼製軽量扉(ハンガードア)	h	クレモン	FLG	線入型板ガラス
AT	エアタイト	TD	強化ガラス扉	h	平面ロックハンドル	TG	強化ガラス
SAT	準エアタイト	GSF	ガラス製防煙垂壁	h	着脱式ハンドル	HS	倍強度ガラス
		MSF	可動式防煙垂壁			PG	複層ガラス
■シャッターの記号		SLW	移動間仕切(スライディングウォール)	■錠の形式		LG	合わせガラス
符号	種類	KW	可動間仕切	符号	種類	TLG	強化合せガラス
W	一般重量シャッター	SP	スチールパーティション	h	錠 / サムターン又は押ボタン	HG	熱線吸収板ガラス
F	防火シャッター	SSD	ステンレス製扉	h	錠 / 非常サムターン	MG	熱線反射ガラス
S	防火・防煙シャッター	SSW	ステンレス製窓	h	錠 / 錠	LE	遮熱・高断熱ガラス
G	グリルシャッター	SSG	ステンレス製ガラリ	h	錠	HTG	耐熱強化ガラス
L	軽量シャッター	SSF	ステンレス製三方枠・四方枠	h	マイナストライバー錠 / サムターン	PBG	鉛ガラス
O	オーバーヘッドドア	SST	ステンレス製点検口扉(片面フラッシュ)	h	空錠	GB	ガラスブロック
		RD	放射線防護扉	h	サムターン		
		RW	放射線防護窓	h	クレセント		■その他の略符号
符号	種類	SH	鋼製シャッター			符号	種類
S1	片面・正巻用	SSH	ステンレス製シャッター	■錠の種類と符号		ST	鋼
	インターロック型(キネマ式)	HSH	シートシャッター	符号	種類	AL	アルミニウム
S2	両面・逆巻用	AD	アルミニウム製扉	D	シリンダー彫込本締錠	SUS	ステンレス
	インターロック型(両面式)	AHD	アルミニウム製ハンガー扉	K	シリンダー彫込箱錠	BR	真鍮
S3	平面・正巻用	AW	アルミニウム製窓	M	円筒錠(モノロック)	着	着色焼付処理
	オーバーラッピング型	AG	アルミニウム製ガラリ	I	インテグラル錠	AMT	無着色陽極酸化皮膜
		AF	アルミニウム製三方枠・四方枠	P	空錠	発	着色陽極酸化皮膜
		APD	アルミニウム+樹脂製扉	S	鎌錠	AC	アルキャスト
		APW	アルミニウム+樹脂製窓	H	ホテルロック	HL	ヘアライン
		PW	樹脂製窓	E	本締非常錠	E	エッチング
		AWD	アルミニウム+木製扉	A	自動本締錠	MR	鏡面
		AWW	アルミニウム+木製窓	C	クレセント	VR	バイブレーション
		ACW	アルミニウム製カーテンウォール	EEL	非常錠付電気錠	SOP	合成樹脂調合ベイト塗り
		GCW	ガラスカーテンウォール	EL	電気錠	EP	合成樹脂エマルジョンベイト塗り
		TP	トップライト	T	点検錠	ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
		WD	木製扉			ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り
		WHD	木製ハンガー扉	■建具金物の種類と符号		FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り
		WW	木製窓	符号	種類	FUC	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り
		WG	木製ガラリ	T	丁番	B-FU	ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り
		WF	木製三方枠・四方枠	N	ヒンジローザ	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り
		WP	木製パーティション	P	ピボットヒンジ	FC	フタル酸樹脂ワニス塗り
		フ	ふすま	C	隠蔽型ドアローザ	B-ME	メラミン樹脂エナメル焼付
		シ	障子	D	露出型ドアローザ	MC	メラミン樹脂ワニス塗り
		MD	網戸	F	フロアヒンジ	OS	オイルステイン塗り
		MW	窓用網戸	H	ハンガーレール	CL	クリアラッカー塗り
		TB	トレブース	O	フランス落し	LE	ラッカーエナメル塗り
		B	ブラインド	Y	誘導灯開口	WP	木材保護塗料塗り

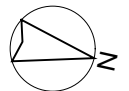
【飛散防止フィルム共通事項】

1. 一般共通事項
- 飛散防止フィルムはPET 製窓ガラス用フィルムのうち、多積層以外で、基材の厚さが100 μm 以下のものとする

704		令和7年度弘前市畜場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 建具仕様書	
AK-027	検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアタク 一級建築士事務所	検 当
—	担 当	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第164475号 前田卓	担 当



1 仮設管理待合棟 建具記号図
S=1/100

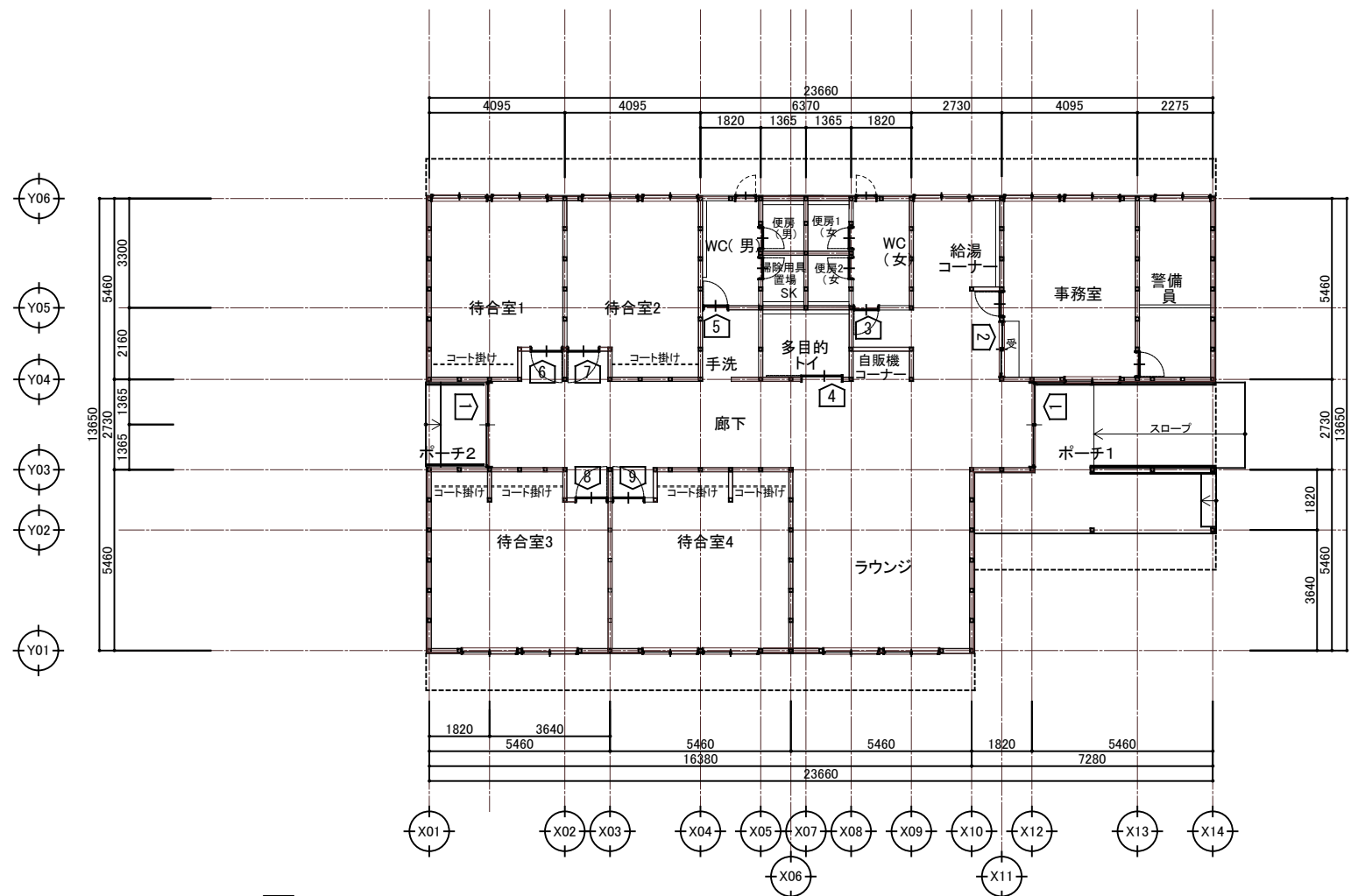


■ ブラインドリスト

[仕様]メーカー:立川ブラインド工業株式会社
品名 :タチカワシルキーRDS(羽根巾25mm) マットホワイト ポール操作 同等品

仕様	数量	室名	寸法(W×H)	備考
(B) (101)	2	待合室1	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (101)	2	待合室2	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (101)	2	待合室3	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (101)	2	待合室4	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (101)	2	ラウンジ	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (101)	2	事務室	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (101)	1	警備員室	1640 × 1490	窓枠内取付け
(B) (102)	1	事務室	1640 × 890	窓枠内取付け

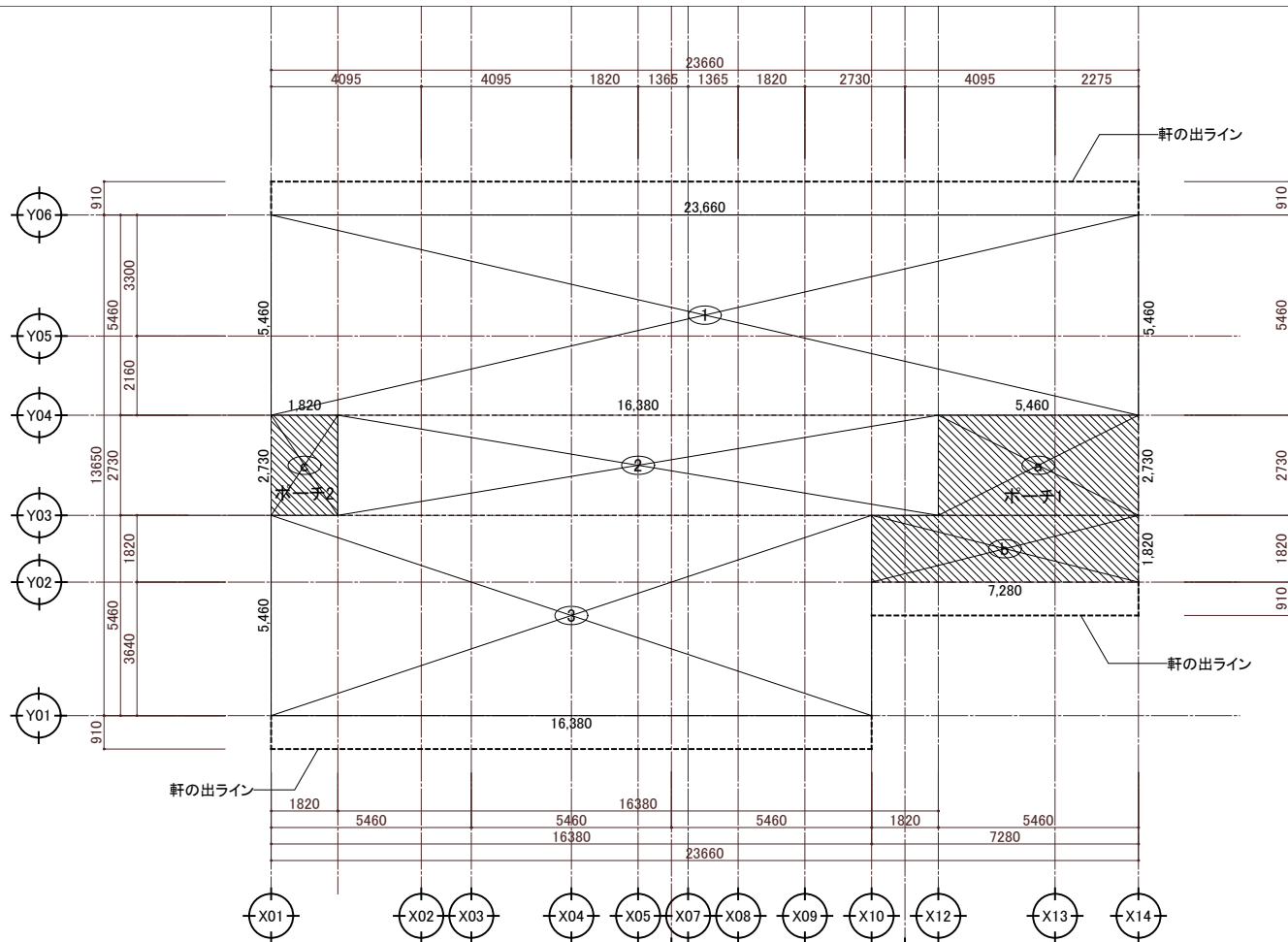
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 建具符号図
AK-028	検図 一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 担当 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
A1:S=1/100 A3:S=1/200	



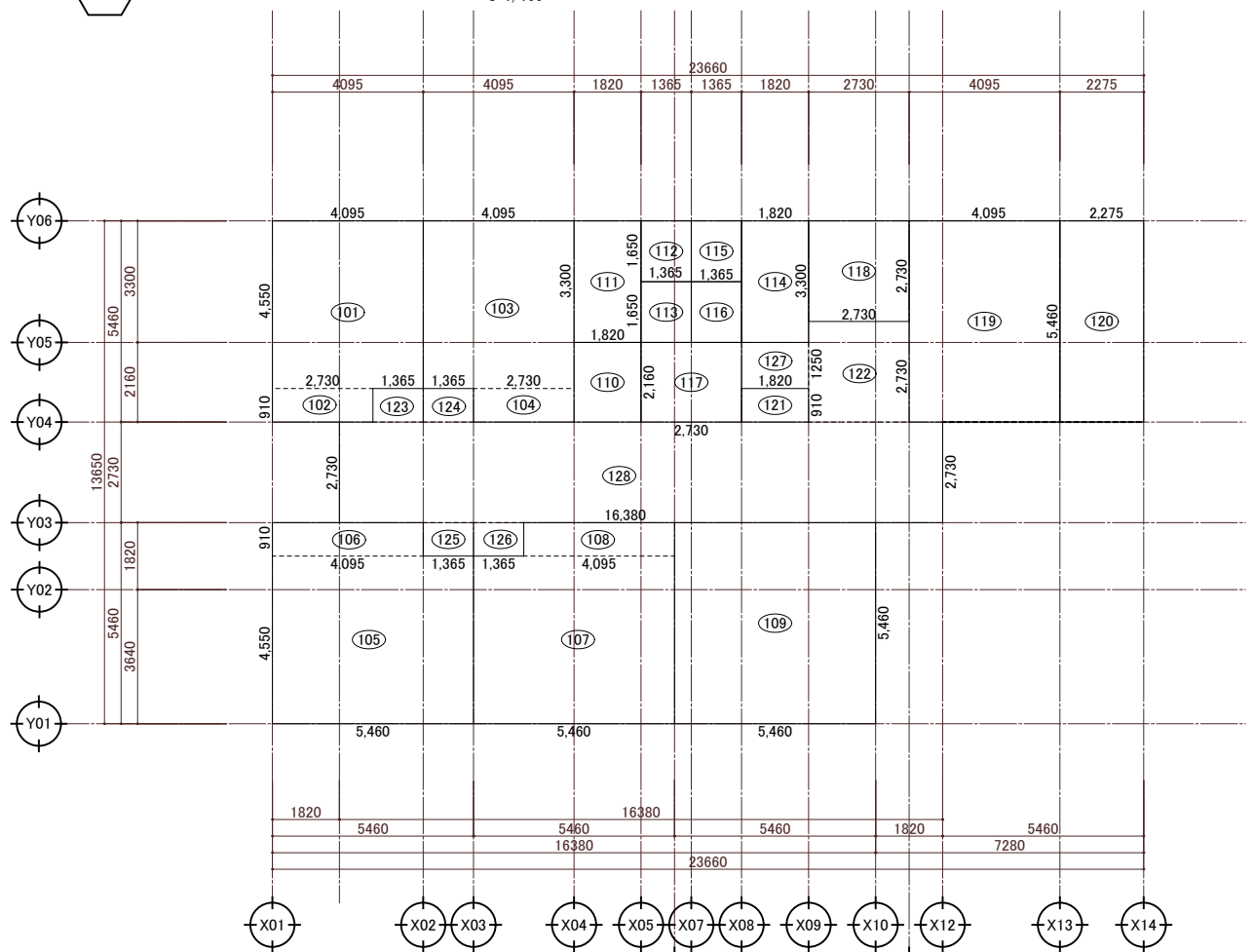
1 仮設管理待合棟 サイン配置図
S=1/100

■ サインリスト					
符号	数量	設置場所	姿図	仕様	
①	2	ポーチ1 ポーチ	建具ガラス面		カットニングシート
②	1	事務室	建具ガラス面		カットニングシート
③	1	WC(女子)	建具ガラス面		カットニングシート
④	1	多目的トイレ	建具表面		カットニングシート
⑤	1	WC(男子)	建具ガラス面		カットニングシート
⑥	1	待合室1	建具ガラス面		カットニングシート
⑦	1	待合室2	建具ガラス面		カットニングシート
⑧	1	待合室3	建具ガラス面		カットニングシート
⑨	1	待合室4	建具ガラス面		カットニングシート

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 サイン配置図
AK-030	検図 一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担当 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功



1 仮設管理待合棟 延べ床・建築面積求積図
S=1/100



2 仮設管理待合棟 室面積求積図
S=1/100

■凡例
 □ …建築面積と床面積に算入する部分
 ▨ …建築面積のみ算入する部分
 ポーチ1・2…屋内的用途は無し

符号	計算式	累計(m ²)	室名	室床面積(m ²)	符号
仮設管理待合棟 床面積算定表			仮設管理待合棟 室面積表		
①	23.66 x 5.46 =	129.1836	待合室1	21.11655	⑩1 ⑩2
②	16.38 x 2.73 =	44.7174	待合室2	21.11655	⑩3 ⑩4
③	16.38 x 5.46 =	89.4348	待合室3	28.56945	⑩5 ⑩6
			待合室4	28.56945	⑩7 ⑩8
			ラウンジ	29.81160	⑩9
	延べ床面積(m ²)	263.3358	手洗	3.93120	⑩10
	改め(m ²)	263.33	WC(男)	6.00600	⑩11
			便房男	2.25225	⑩12
			掃除用具置場	2.25225	⑩13
仮設管理待合棟 建築面積算定表			WC(女)	6.00600	⑩14
	延べ床面積 =	263.3358	便房1(女)	2.25225	⑩15
a	5.46 x 2.73 =	14.9058	便房2(女)	2.25225	⑩16
b	7.28 x 1.82 =	13.2496	多目的トイレ	5.89680	⑩17
c	1.82 x 2.73 =	4.9686	給湯コーナー	7.45290	⑩18
			事務室	22.35870	⑩19
			警備員室	12.42150	⑩20
			自販機コーナー	1.65620	⑩21
	建築面積(m ²)	296.4598	廊下	59.41390	⑩22 ? ⑩28
	改め(m ²)	296.45			
			仮設管理待合棟 室面積合計	263.33580	⑩1 ? ⑩28

仮設管理待合棟 消防用収容人員算定面積表				
室名	計算式	累計(m ²)	符号	備考
待合室1	4.095 x 4.55 =	18.63225	⑩1	
待合室2	4.095 x 4.55 =	18.63225	⑩3	
待合室3	5.46 x 4.55 =	24.84300	⑩5	
待合室4	5.46 x 4.55 =	24.84300	⑩7	
ラウンジ	5.46 x 5.46 =	29.81160	⑩9	
	116.76210 / 3 =	38.9207		
事務室	4人			

仮設管理待合棟 消防用収容人員算定面積合計
 38.9207 + 4 = 42.9207 人 改め 42 人

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度弘前市斎場長寿命改修化工事(建築工事) 仮設管理待合棟 建築面積求積図、室面積求積図
AK-031	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701
A1:S=1/100 A3:S=1/200	一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功

01	室名	待合室1	02	室名	待合室2	03	室名	待合室3									
床面積(A)			21.11655 m ²			床面積(A)			21.11655 m ²			床面積(A)			28.56945 m ²		
必要1/50 開口面積			0.422331 m ²			必要1/50 開口面積			0.422331 m ²			必要1/50 開口面積			0.571389 m ²		
有効1/50 開口面積			1.1625 m ²			有効排煙面積			1.1625 m ²			有効1/50 開口面積			1.1625 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
必要換気面積(A/20)			1.0558275 m ²			必要換気面積(A/20)			1.0558275 m ²			必要換気面積(A/20)			1.4284725 m ²		
有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			2.25 m ²		
必要採光面積(A/7)			3.01665 m ²			必要採光面積(A/7)			3.01665 m ²			必要採光面積(A/7)			4.08135 m ²		
有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			12.7665 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
引違い窓			水平距離(d ①): 97.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (97.00/1.455) × 10-1 ≒ 665.666 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ②): 99.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (99.00/1.455) × 10-1 ≒ 679.412 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ③): 25.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (25.00/1.455) × 10-1 ≒ 170.821 → 採光補正係数: 3.0		
2箇所						2箇所						2箇所					
0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625					
断面図						断面図						断面図					
平面図						平面図						平面図					
床面積(A)			28.56945 m ²			床面積(A)			22.3587 m ²			床面積(A)			12.4215 m ²		
必要1/50 開口面積			0.571389 m ²			必要1/50 開口面積			0.447174 m ²			必要1/50 開口面積			0.24843 m ²		
有効1/50 開口面積			1.1625 m ²			有効排煙面積			1.1625 m ²			有効1/50 開口面積			0.58125 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
必要換気面積(A/20)			1.4284725 m ²			必要換気面積(A/20)			1.117935 m ²			必要換気面積(A/20)			0.621075 m ²		
有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			1.125 m ²		
必要採光面積(A/7)			4.08135 m ²			必要採光面積(A/7)			3.1941 m ²			必要採光面積(A/7)			1.7745 m ²		
有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			6.38325 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
引違い窓			水平距離(d ④): 25.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (25.00/1.455) × 10-1 ≒ 170.821 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑤): 15.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (15.00/1.455) × 10-1 ≒ 102.092 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑥): 17.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (17.00/1.455) × 10-1 ≒ 115.838 → 採光補正係数: 3.0		
2箇所						2箇所						1箇所					
0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 1 = 0.58125					
断面図						断面図						断面図					
平面図						平面図						平面図					
床面積(A)			28.56945 m ²			床面積(A)			22.3587 m ²			床面積(A)			12.4215 m ²		
必要1/50 開口面積			0.571389 m ²			必要1/50 開口面積			0.447174 m ²			必要1/50 開口面積			0.24843 m ²		
有効1/50 開口面積			1.1625 m ²			有効排煙面積			1.1625 m ²			有効1/50 開口面積			0.58125 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
必要換気面積(A/20)			1.4284725 m ²			必要換気面積(A/20)			1.117935 m ²			必要換気面積(A/20)			0.621075 m ²		
有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			1.125 m ²		
必要採光面積(A/7)			4.08135 m ²			必要採光面積(A/7)			3.1941 m ²			必要採光面積(A/7)			1.7745 m ²		
有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			6.38325 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
引違い窓			水平距離(d ④): 25.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (25.00/1.455) × 10-1 ≒ 170.821 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑤): 15.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (15.00/1.455) × 10-1 ≒ 102.092 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑥): 17.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (17.00/1.455) × 10-1 ≒ 115.838 → 採光補正係数: 3.0		
2箇所						2箇所						1箇所					
0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 1 = 0.58125					
断面図						断面図						断面図					
平面図						平面図						平面図					
床面積(A)			28.56945 m ²			床面積(A)			22.3587 m ²			床面積(A)			12.4215 m ²		
必要1/50 開口面積			0.571389 m ²			必要1/50 開口面積			0.447174 m ²			必要1/50 開口面積			0.24843 m ²		
有効1/50 開口面積			1.1625 m ²			有効排煙面積			1.1625 m ²			有効1/50 開口面積			0.58125 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
必要換気面積(A/20)			1.4284725 m ²			必要換気面積(A/20)			1.117935 m ²			必要換気面積(A/20)			0.621075 m ²		
有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			1.125 m ²		
必要採光面積(A/7)			4.08135 m ²			必要採光面積(A/7)			3.1941 m ²			必要採光面積(A/7)			1.7745 m ²		
有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			6.38325 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
引違い窓			水平距離(d ④): 25.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (25.00/1.455) × 10-1 ≒ 170.821 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑤): 15.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (15.00/1.455) × 10-1 ≒ 102.092 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑥): 17.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (17.00/1.455) × 10-1 ≒ 115.838 → 採光補正係数: 3.0		
2箇所						2箇所						1箇所					
0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 1 = 0.58125					
断面図						断面図						断面図					
平面図						平面図						平面図					
床面積(A)			28.56945 m ²			床面積(A)			22.3587 m ²			床面積(A)			12.4215 m ²		
必要1/50 開口面積			0.571389 m ²			必要1/50 開口面積			0.447174 m ²			必要1/50 開口面積			0.24843 m ²		
有効1/50 開口面積			1.1625 m ²			有効排煙面積			1.1625 m ²			有効1/50 開口面積			0.58125 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
必要換気面積(A/20)			1.4284725 m ²			必要換気面積(A/20)			1.117935 m ²			必要換気面積(A/20)			0.621075 m ²		
有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			2.25 m ²			有効換気面積			1.125 m ²		
必要採光面積(A/7)			4.08135 m ²			必要採光面積(A/7)			3.1941 m ²			必要採光面積(A/7)			1.7745 m ²		
有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			12.7665 m ²			有効採光面積			6.38325 m ²		
判定			OK			判定			OK			判定			OK		
引違い窓			水平距離(d ④): 25.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (25.00/1.455) × 10-1 ≒ 170.821 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑤): 15.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (15.00/1.455) × 10-1 ≒ 102.092 → 採光補正係数: 3.0			引違い窓			水平距離(d ⑥): 17.00m 垂直距離(h): 1.455m (d/h) × 10-1 = (17.00/1.455) × 10-1 ≒ 115.838 → 採光補正係数: 3.0		
2箇所						2箇所						1箇所					
0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 2 = 1.1625						0.75 × 0.775 × 1 = 0.58125					
断面図						断面図						断面図					
平面図						平面図						平面図					

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000
担当	一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 開口部算定図-1(建築基準法)
AK-032	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101
A1:S=1/100 A3:S=1/200	一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功

04	室名	ラウンジ、手洗、給湯コーナー、自販機コーナー、廊下		
床面積(A)	102.2658	m ²	AW_{TOT} 2箇所 (ラウンジ)	引違い窓 水平距離(d ⑦):24.00m 垂直距離(h):1.455m (d/h) × 10-1=(24.00/1.455) × 10-1 ≒ 163.948 →採光補正係数:3.0
必要1/50 開口面積	2.045316	m ²	AW_{TOT} 1箇所 (給湯コーナー)	引違い窓 水平距離(d ⑧):17.00m 垂直距離(h):1.155m (d/h) × 10-1=(17.00/1.155) × 10-1 ≒ 146.186 →採光補正係数:3.0
有効排煙面積	2.17917	m ²	AD_{TOT} 1箇所 (ポーチ2)	引違い戸 水平距離(d ⑨):72.00m 垂直距離(h):3.7155m (d/h) × 10-1=(72.00/3.7155) × 10-1 ≒ 192.5782 →採光補正係数:3.0
AW_{TOT}	0.75 × 0.775 × 2 =	1.1625		
AW_{TOT}	0.75 × 0.775 × 1 =	0.58125		
AD_{TOT}	1.18 × 0.369 × 1 =	0.43542		
判定	OK			
必要換気面積(A/20)	5.11329	m ²		
有効換気面積	5.24842	m ²		
AW_{TOT}	0.75 × 1.50 × 2 =	2.25		
AW_{TOT}	0.75 × 0.90 × 1 =	0.675		
AD_{TOT}	1.18 × 1.969 × 1 =	2.32342		
判定	OK			
必要採光面積(A/7)	14.60940	m ²		
有効採光面積	29.15835	m ²		
AW_{TOT}	(0.75+0.75) × 1.4185 × 2 =	4.2555		
AW_{TOT}	採光補正係数 × 3.0=	12.7665		
AW_{TOT}	(0.75+0.75) × 0.8185 × 1 =	1.22775		
AD_{TOT}	採光補正係数 × 3.0=	3.68325		
AD_{TOT}	(1.18+1.18) × (0.8975+0.8975) × 1 =	4.2362		
AD_{TOT}	採光補正係数 × 3.0=	12.7086		
判定	OK			

※採光補正係数算定式の水平距離(d)は、
図面番号 AK-026 採光補正係数算定用水平距離図による

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエタク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
担当	令和7年度弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 開口部算定図-2(建築基準法)
704	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
AK-033	
A1:S=1/100 A3:S=1/200	



T3T3-F1133-02

T3T3-F1133-01

SB436

20-5

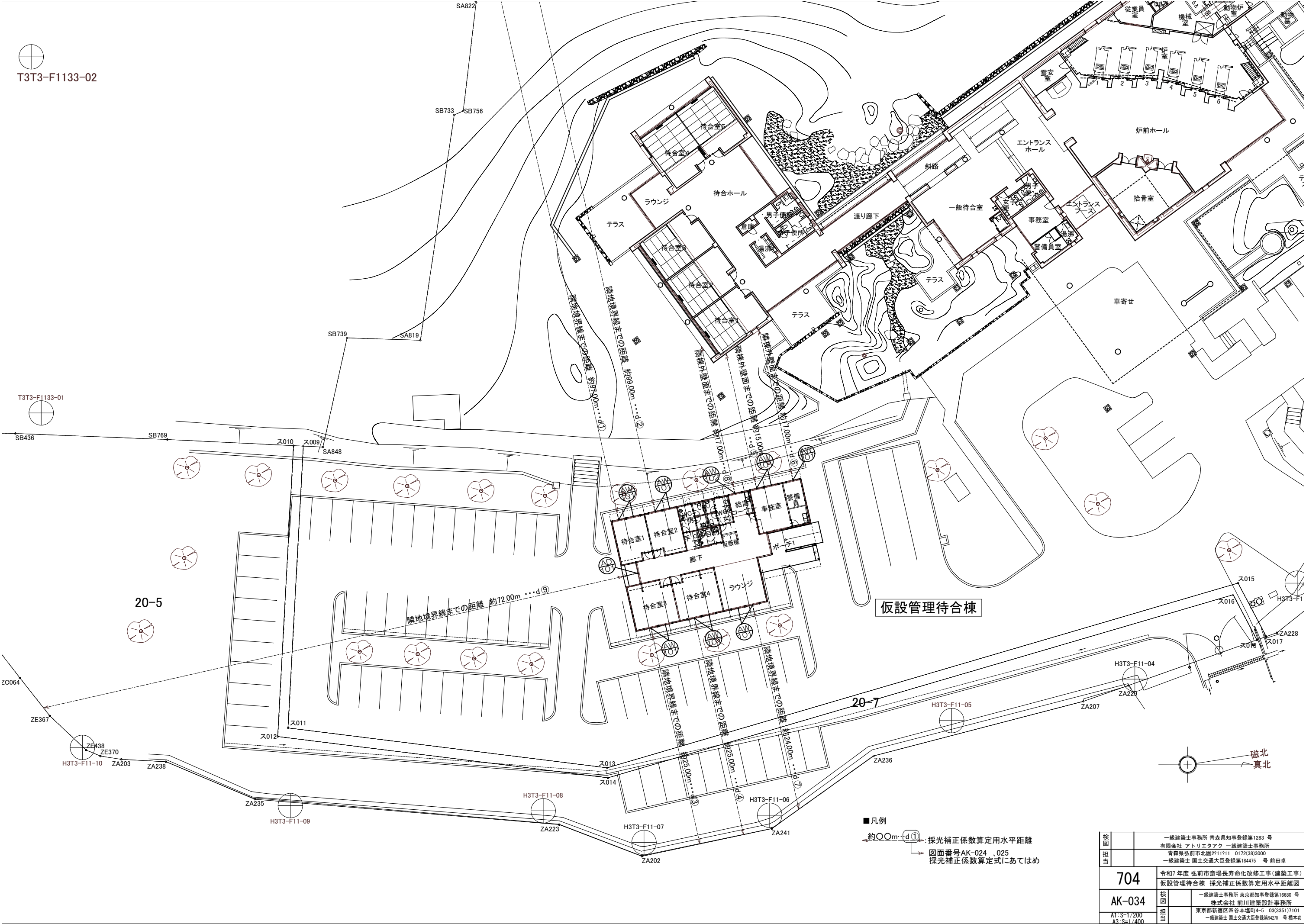
仮設管理待合棟

20-7

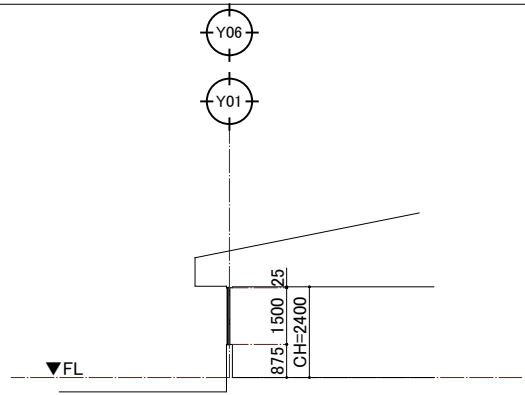


■凡例
 約〇〇m・d① 採光補正係数算定用水平距離
 図面番号AK-024 .025
 採光補正係数算定式にあてはめ

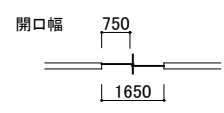
検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11711 0172(38)3000 一級建築士 国土交通大臣登録第164475号 前田卓
担当	令和7年度 弘前市斎場長寿化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 採光補正係数算定用水平距離図
704	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
AK-034	
AT: S=1/200 A3: S=1/400	



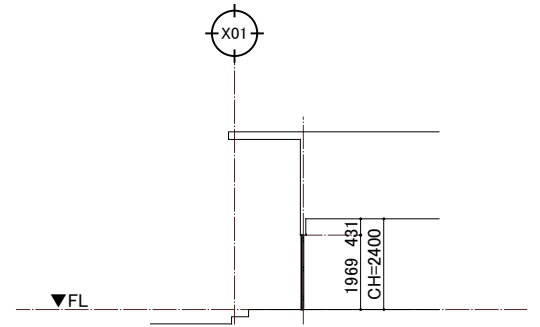
■仮設管理待合棟 普通階・無窓階算定							01	室名	待合室1・2・3・4、ラウンジ、事務室、警備員室	02	室名	ポーチ2						
延べ床面積(A)	必要開口部面積 (A/30)	8.78 m2	有効開口部面積合計	16.94 m2	算定結果 (普・無)													
建具符号	開口部位置	床からの高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在箇所	開口部面積小計 (m2)	開口種別	※備考												
AW TOT	待合室1	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 2	2.250	アルミ製引違い窓			アルミ製引違い窓	AW TOT	待合室1・2・3・4、ラウンジ、事務室、警備員室	AD TOT	ポーチ2						
AW TOT	待合室2	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 2	2.250	アルミ製引違い窓													
AW TOT	待合室3	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 2	2.250	アルミ製引違い窓													
AW TOT	待合室4	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 2	2.250	アルミ製引違い窓													
AW TOT	ラウンジ	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 2	2.250	アルミ製引違い窓													
AW TOT	事務室	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 2	2.250	アルミ製引違い窓													
AW TOT	警備員室	0.875	0.75 × 1.50 × 1 × 1	1.125	アルミ製引違い窓													
AD TOT	ポーチ2	0	1.18 × 1.969 × 1 × 1	2.32342	アルミ製引違い戸													
合計				16.94842														



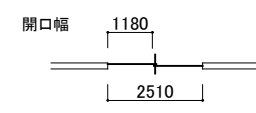
断面図



平面図

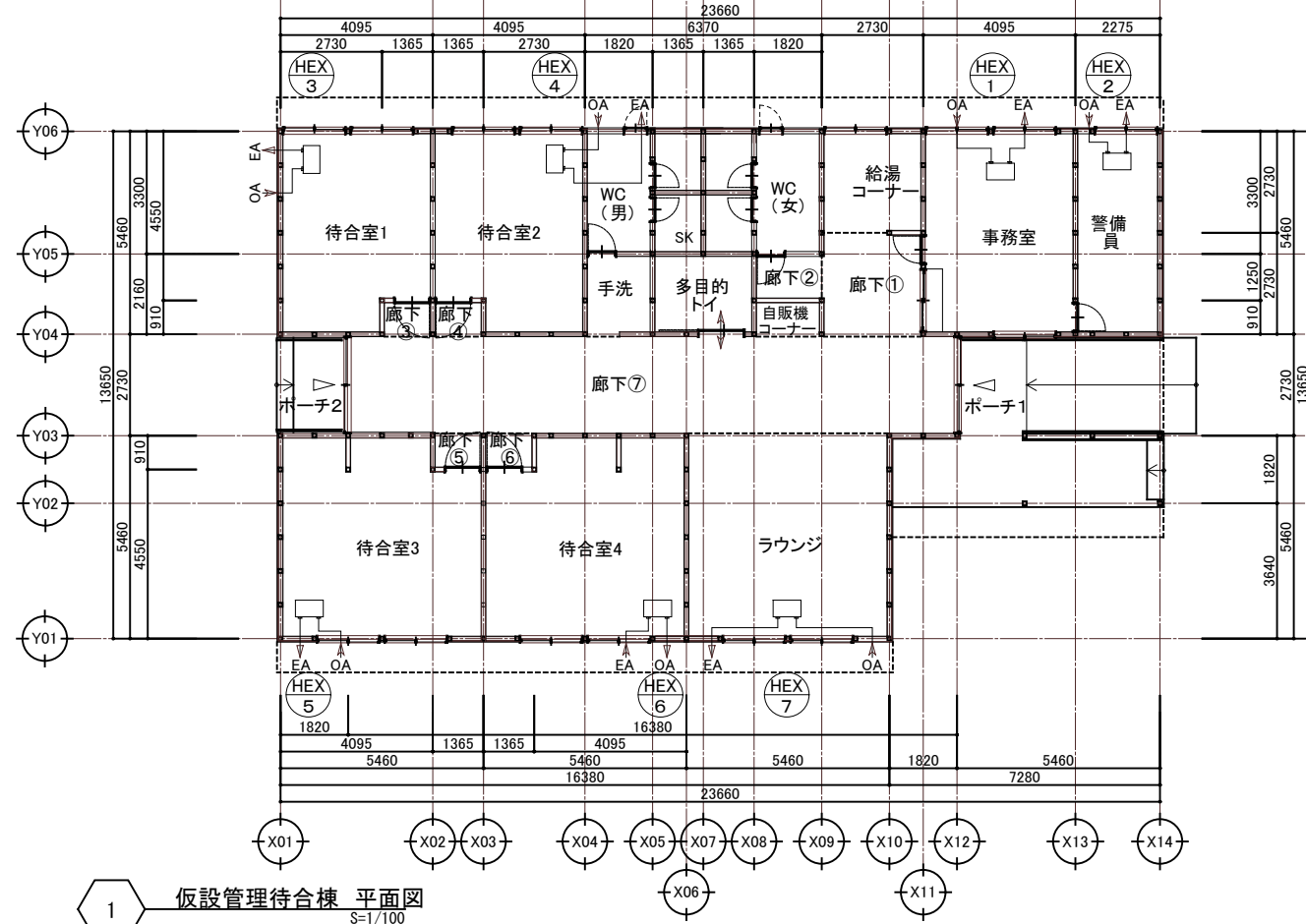


断面図



平面図

検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエタク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 017238/3000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
担 当	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 開口部算定図(消防法)
704	
AK-035	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)717101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
A1:S=1/100 A3:S=1/200	



■24 時間換気計算表

エリア	室名	床面積 (m ²)	天井高さ (m)	気積 (m ³)	気積累計 (m ³)	換気種別	給気機による給気量 (m ³ /h)	排気機による排気量 (m ³ /h)	換気回数
A	待合室1	21.11655	2.40	50.67972		第一種	160 (HEX-3)	160 (HEX-3)	3.15 ≥0.3
B	待合室2	21.11655	2.40	50.67972		第一種	160 (HEX-4)	160 (HEX-4)	3.15 ≥0.3
C	待合室3	28.56945	2.40	68.56668		第一種	210 (HEX-5)	210 (HEX-5)	3.06 ≥0.3
D	待合室4	28.56945	2.40	68.56668		第一種	210 (HEX-6)	210 (HEX-6)	3.06 ≥0.3
E	事務室	22.35870	2.40	53.66088		第一種	160 (HEX-1)	160 (HEX-1)	2.98 ≥0.3
F	警備員室	12.42150	2.40	29.81160		第一種	66 (HEX-2)	66 (HEX-2)	2.21 ≥0.3
G	ラウンジ	29.81160	2.40	71.54784		第一種	320 (HEX-7)	320 (HEX-7)	
G	給湯コーナー	7.45290	2.40	17.88696	89.43480				
G	自販機コーナー	1.65620	2.40	3.97488	93.40968				
G	手洗	3.93120	2.40	9.43488	102.84456				
G	廊下①	7.45290	2.40	17.88696	120.73152				
G	廊下②	2.27500	2.40	5.46000	126.19152				
G	廊下③	1.24215	2.40	2.98116	129.17268				
G	廊下④	1.24215	2.40	2.98116	132.15384				
G	廊下⑤	1.24215	2.40	2.98116	135.13500				
G	廊下⑥	1.24215	2.40	2.98116	138.11616				
G	廊下⑦	44.71740	2.40	107.32176	245.43792				
G	多目的トイレ	5.89680	2.40	14.15232	259.59024				
	合計	108.16260		259.59024			320	320	1.23 ≥0.3

■ 凡例

換気エリアAを示す 換気エリアBを示す 換気エリアCを示す 換気エリアDを示す
 換気エリアEを示す 換気エリアFを示す 換気エリアGを示す

天井高さ (CH) はFL (Z01) からの高さを示す

□ : HEX (天井カセット型空調機)を示す OA : 給気を示す EA : 排気を示す ↔ : 引き戸

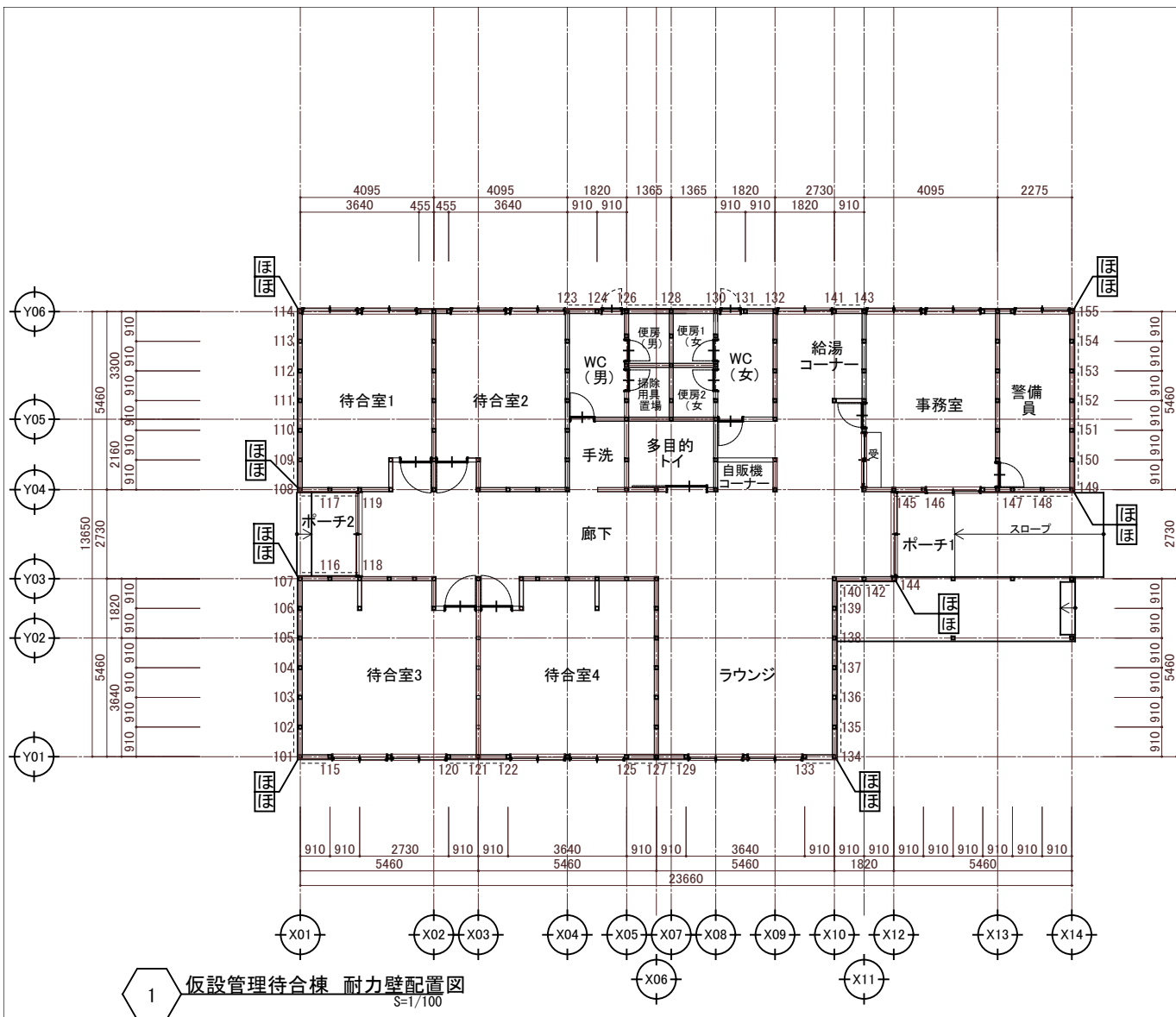
■ 特記事項

※各室床面積は室面積算定図(図番号 AK-023) を参照

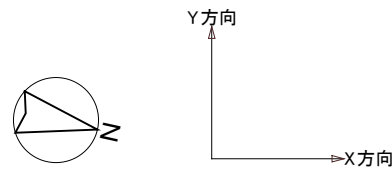
■換気機器表

機器番号	名称	数量	仕様			仕様			室名	備考	
			型式	サイズ φ(＃)	風量 m ³ /h	静圧 Pa	φ	V			W (KW)
HEX-1	全熱交換器	1	天井カセット型	150	210	30	1	100	83	事務室	24 時間 SKU-25AC
HEX-2	全熱交換器	1	天井埋込ダクト型	200	120	100	1	100	69	警備員室	24 時間 LGH-N15RXW2
HEX-3	全熱交換器	1	天井カセット型	150	210	30	1	100	83	待合室1	24 時間 SKU-25AC
HEX-4	全熱交換器	1	天井カセット型	150	210	30	1	100	83	待合室2	24 時間 SKU-25AC
HEX-5	全熱交換器	1	天井カセット型	150	300	30	1	100	110	待合室3	24 時間 SKU-35AC
HEX-6	全熱交換器	1	天井カセット型	150	300	30	1	100	110	待合室4	24 時間 SKU-35AC
HEX-7	全熱交換器	1	天井カセット型	200	420	30	1	100	163	ラウンジ	24 時間 SKU-50AC

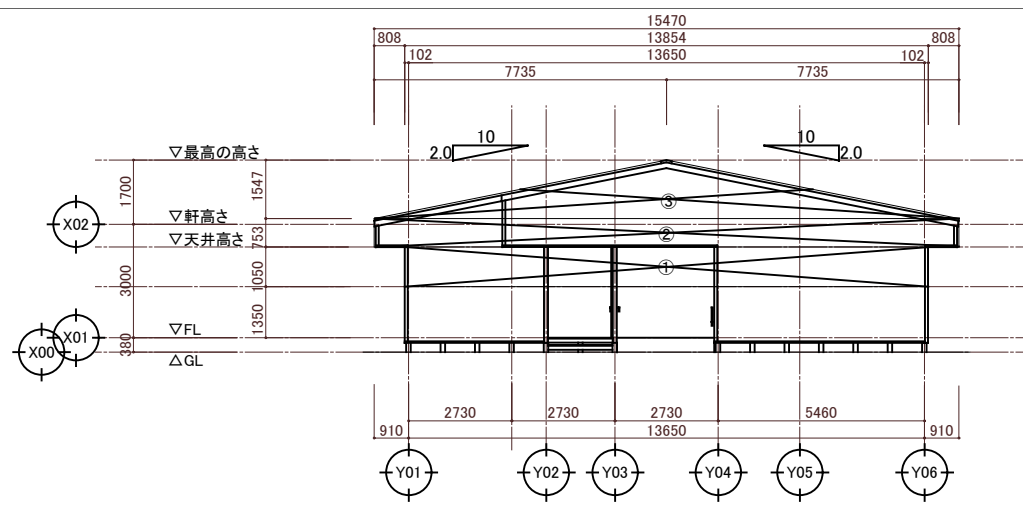
検 図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
担 当	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 24時間換気計算図
704	
AK-036	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
A1: S=1/100 A3: S=1/200	



1 仮設管理待合棟 耐力壁配置図
S=1/100



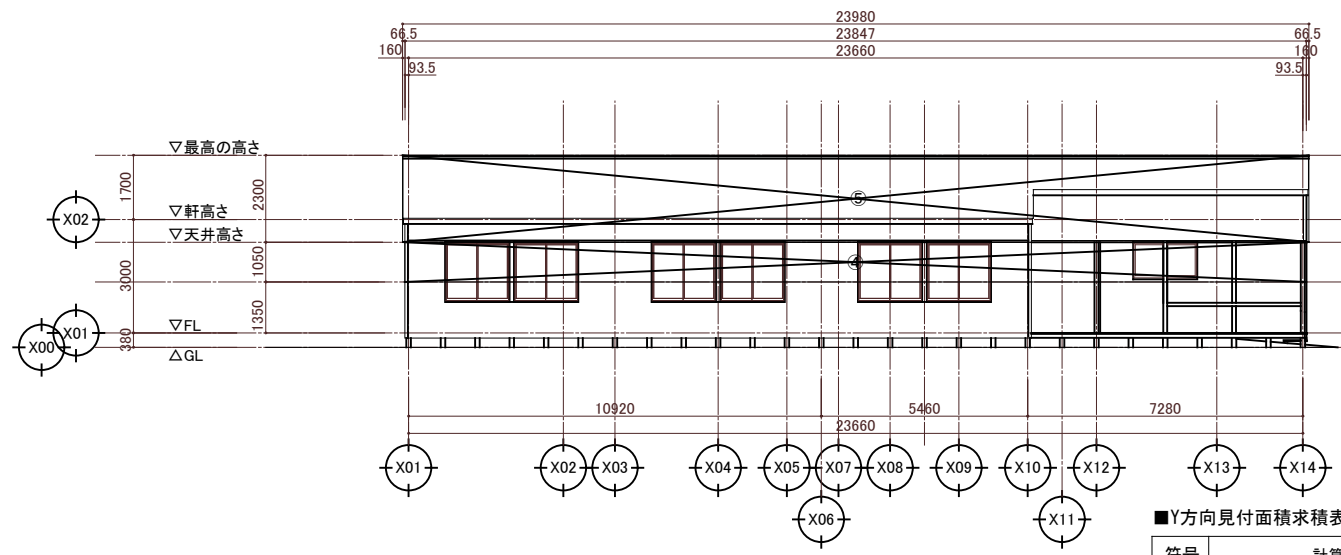
■耐力壁凡例		■接合部の仕様		
符号	仕様	告示表3	Nの値	継手・仕口の仕様
□	柱 105×105	は	1.0以下	かど金物 CP?T、山形プレート VP
-----	耐力壁 構造用合板 t=9.0 釘N50 @150 以下 <u>倍率 2.5</u>	ほ	1.6以下	羽子板ボルトM12(スクリュー釘)又は短冊金物(スクリュー釘)
101?155	接合金物算定N値柱番号を表す	※1 金物は表記のもの、又は同等認定金物以上を使用すること。		
ほ	接合金物の仕様 上段:柱頭 下段:柱脚	※2 特記無き耐力壁(面材、筋かい)の取り付け柱、及び外周部の柱はすべて(は)とする。		
ほ		※3 内部の耐力壁(面材、筋かい)が取り付けられない柱は、短ほど差し、かすがい打ち以上とする。		



2 仮設管理待合棟 X方向の軸組に対する見付面積求積図
S=1/100

■X方向見付面積求積表(風圧力)

符号	計算式(m)	計
①	13.854 × 1.050	14.546700
②	15.470 × 0.753	11.648910
③	15.470 × 1.547 × 1/2	11.966045
合計		38.161655
改め		38.17m2



3 仮設管理待合棟 Y方向の軸組に対する見付面積求積図
S=1/100

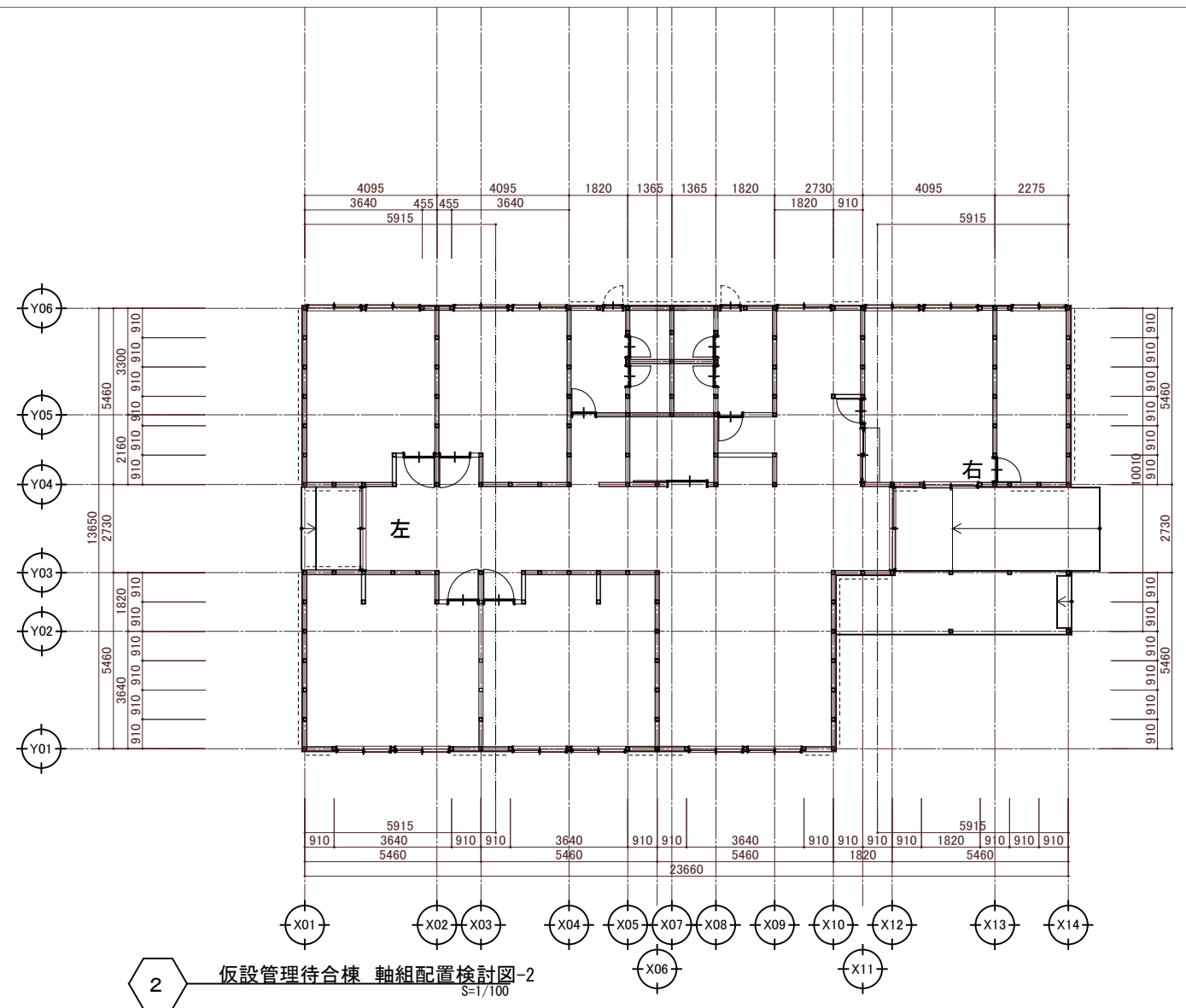
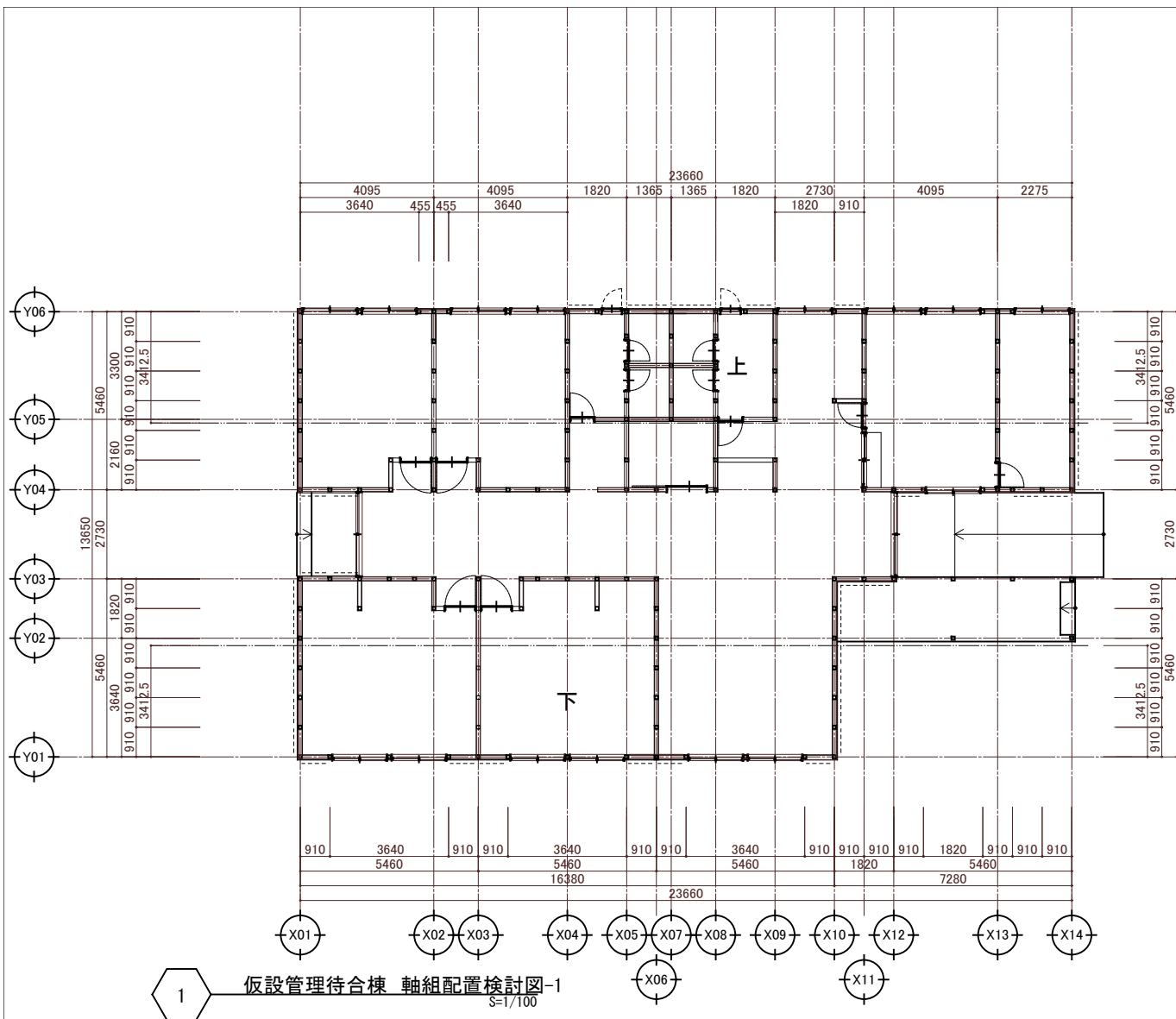
■Y方向見付面積求積表(風圧力)

符号	計算式(m)	計
④	23.847 × 1.050	25.039350
⑤	23.980 × 2.300	55.154000
合計		80.193350
改め		80.20m2

※注1:建築基準法施行令第43条第1項の表の(1)又は(3)にあげる建築物に該当するので同第46条第4項の表2の、床面積に乘ずる数値は15を採用する。

■仮設管理待合棟 壁量計算									
床面積(ポーチ1・2を含む)					地震力による壁量必要長さ				
296.4598m2					296.46 × 15=4446.9 (cm)				
X方向見付面積	Y方向見付面積	見付面積による壁量必要長さ(風圧力)							
		X方向			Y方向				
38.17m2	80.20m2	38.17 × 50=1908.5 (cm)			80.20 × 50=4010 (cm)				
X方向必要壁量	X方向設計壁量	判定	Y方向必要壁量	Y方向設計壁量	判定				
4446.9cm	< 4777.5cm	OK	4446.9cm	< 5460cm	OK				
■仮設管理待合棟 設計壁量算定									
耐力壁仕様・倍率	X方向設計壁量(cm)				Y方向設計壁量(cm)				
	長さ	壁倍	箇所	壁量	長さ	壁倍	箇所	壁量	
構造用合板 t=12 2.5	91	2.5	18	4095	91	2.5	24	5460	
	136.5	2.5	2	682.5					
合計				4777.5	合計				5460
※必要壁量の約107%					※必要壁量の約122%				

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
担当	704 令和7年度弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 耐力壁算定図1
AK-037	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功
A1:S=1/100 A3:S=1/200	担当



※注1: 建築基準法施行令第43条第1項の表の(1)又は(3)にあげる建築物に該当するので同第46条第4項の表2の、床面積に乘ずる数値は15を採用する。

■仮設管理待合棟 軸組配置算定											
部位	側端部の床面積			側端部の必要壁量		存在壁量	壁量充足率			判定	
上	23.660	× 3.4125=80.73975	80.74m ²	80.74	※注1 ×15=1211.1 (cm)	1365cm	1365/1211.1	≒1.127	>1.0	OK	
下	16.380	× 3.4125=55.89675	55.90m ²	55.90	×15= 838.5 (cm)	1365cm	1365/ 838.5	≒1.627	>1.0	OK	
左	5.915	× 13.650 =80.73975	80.74m ²	80.74	×15=1211.1 (cm)	2730cm	2730/1211.1	≒2.254	>1.0	OK	
右	5.915	× 10.010 =59.20915	59.21m ²	59.21	×15= 888.15 (cm)	1365cm	1365/ 888.15	≒1.536	>1.0	OK	
■仮設管理待合棟 存在壁量算定											
部位	長さ(cm)	壁倍	箇所数	壁量(cm)	計(cm)	部位	長さ(cm)	壁倍	箇所数	壁量(cm)	計(cm)
上	91	2.5	3	682.5	1365	左	91	2.5	12	2730	2730
	136.5	2.5	2	682.5							
下	91	2.5	6	1365	1365	右	91	2.5	6	1365	1365

検図	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所
担当	青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 耐力壁算定図2
AK-038	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建設設計事務所
A1:S=1/100 A3:S=1/200	東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)17101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功

■ 平屋または最上階の柱
 $N=A1 \times B1-L1$
 A1: 柱両側の左右壁倍率差+ 補正值
 B1: 出隅=0.8 その他=0.5
 L1: 押さえ効果係数(1層分) 出隅=0.4 その他=0.6

■ 凡例													
記号	使用金物等	寸法	数量等	使用箇所	Zマーク表示金物	N値	記号	使用金物等	寸法	数量等	使用箇所	Zマーク表示金物	N値
い	短ぼぞ差し、かすがい			柱及び横架材	かすがいC	0.00	ほ	ボルト溶接鋼板添え板	鋼板添え板厚さ3.2mm		柱及び横架材	羽子板ボルト	1.60
ろ	長ぼぞ差し込み栓打ち			柱及び横架材		0.65			ボルト径12mm			SB・E	
ろ	L字型の鋼板添え板	厚さ2.3mm		柱及び横架材	かど金物CP・L	0.65		角座金	厚さ4.5mm 40mm 角			SB・F	
	太め鉄丸くぎ	長さ6.5cm	5本平打ち	柱				ナット					
は	T字型の鋼板添え板	厚さ2.3mm		柱及び横架材	かど金物CP・T	1.00		ボルト	ボルト径12mm				
	太め鉄丸くぎ	長さ6.5cm	5本平打ち	柱				ボルト	長さ50mm 径4.5mm				
は	V字型の鋼板添え板	厚さ2.3mm		柱及び横架材	山形プレートVP	1.00	ほ	鋼板添え板	鋼板添え板厚さ3.2mm		上下階の連続する柱	短ざく金物S	1.60
	太め鉄丸くぎ	長さ9.0cm	4本平打ち	柱				ボルト	ボルト径12mm				
		長さ9.0cm	4本平打ち	横架材				スクリュー釘	長さ50mm 径4.5mm				

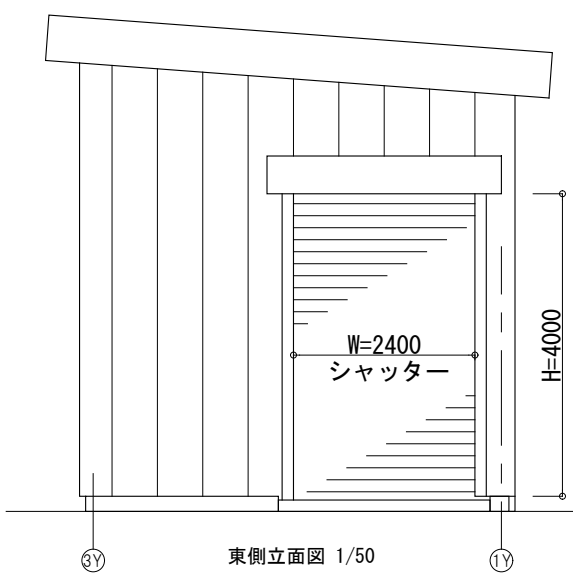
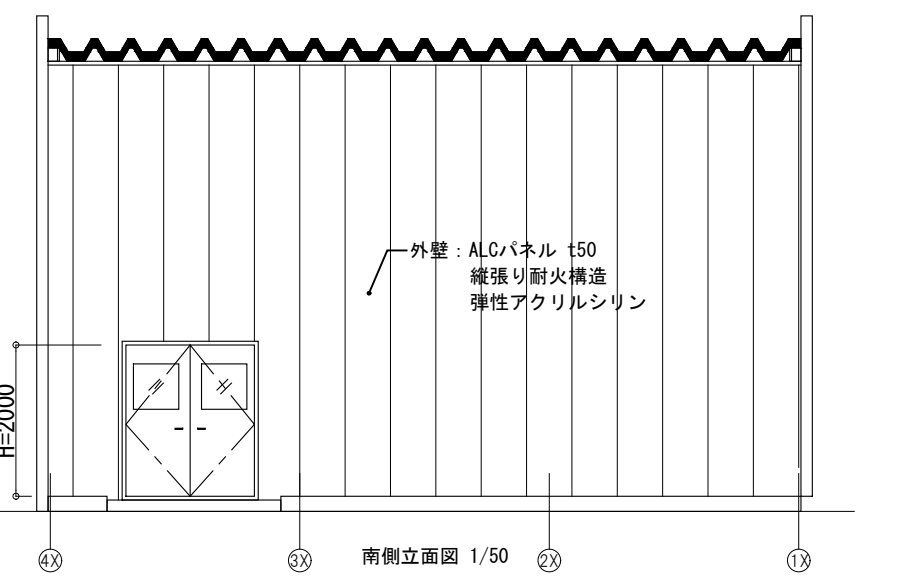
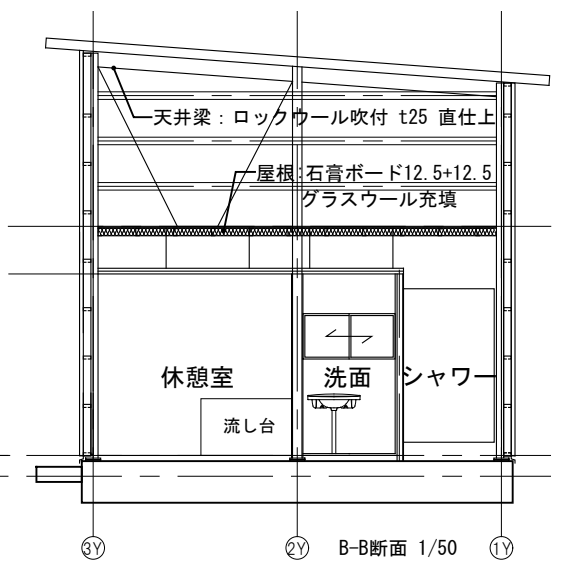
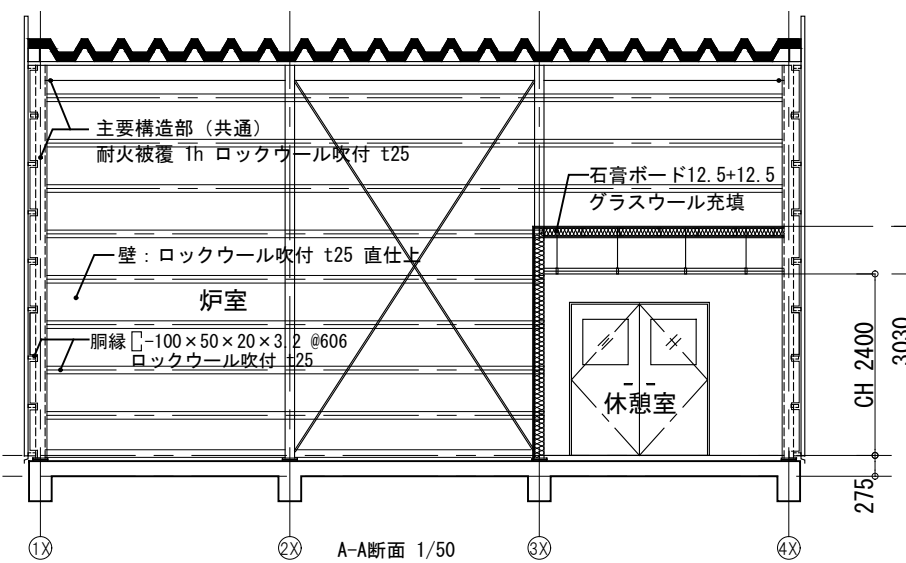
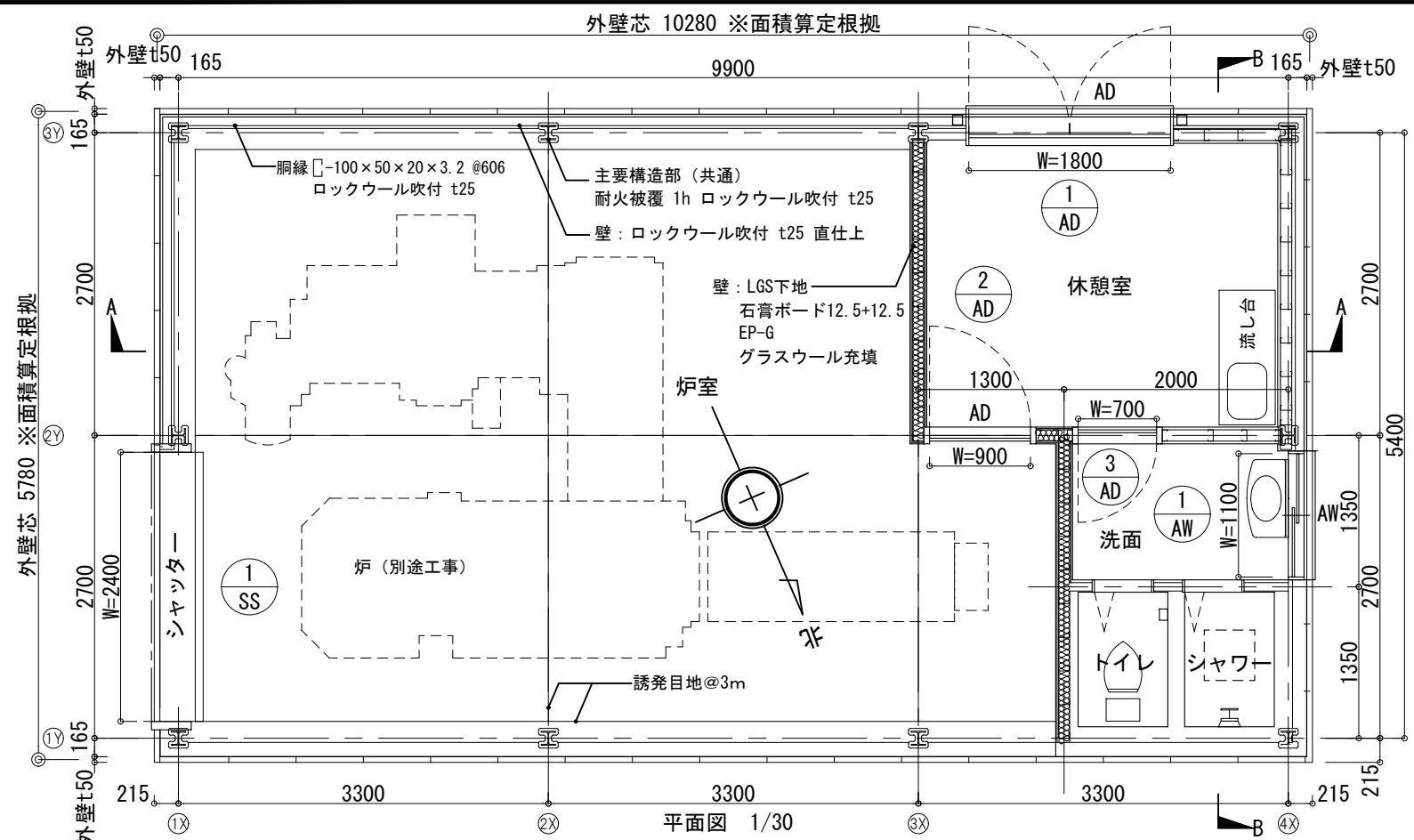
※ホールダウン金物は不要である

■ 仮設管理待合棟 接合金物算定表

柱番号	軸方向	A1		B1	L1	N値	採用N	使用金	柱番号	軸方向	A1		B1	L1	N値	採用N	使用金	柱番号	軸方向	A1		B1	L1	N値	採用N	使用金
		倍率の差	補正值								倍率の差	補正值								倍率の差	補正值					
101	X	2.5	0	0.8	0.4	1.60	1.60	ほ	126	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	151	X						-0.60	い
	Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60				Y		0	0	0.5	0.6				-0.60							
102	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	127	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	152	X						-0.60	い
	Y									Y		0	0	0.5	0.6				-0.60							
103	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	128	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	153	X						-0.60	い
	Y									Y		0	0	0.5	0.6				-0.60							
104	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	129	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	154	X						-0.60	い
	Y									Y		0	0	0.5	0.6				-0.60							
105	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	130	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	155	X						1.60	ほ
	Y									Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60											
106	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	131	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y																
107	X	2.5	0	0.8	0.4	1.60	1.60	ほ	132	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60				Y																
108	X	2.5	0	0.8	0.4	1.60	1.60	ほ	133	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60				Y																
109	X						-0.60	い	134	X	2.5	0	0.8	0.4	1.60	1.60	ほ									
	Y	0	0	0.5	0.6	-0.60				Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60											
110	X						-0.60	い	135	X						-0.60	い									
	Y	0	0	0.5	0.6	-0.60				Y	0	0	0.5	0.6	-0.60											
111	X						-0.60	い	136	X						-0.60	い									
	Y	0	0	0.5	0.6	-0.60				Y	0	0	0.5	0.6	-0.60											
112	X						-0.60	い	137	X						-0.60	い									
	Y	0	0	0.5	0.6	-0.60				Y	0	0	0.5	0.6	-0.60											
113	X						-0.60	い	138	X						-0.60	い									
	Y	0	0	0.5	0.6	-0.60				Y	0	0	0.5	0.6	-0.60											
114	X						1.60	ほ	139	X						-0.60	い									
	Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60				Y	0	0	0.5	0.6	-0.60											
115	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	140	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y	2.5	0	0.5	0.6	0.65											
116	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	141	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y																
117	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	142	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い									
	Y									Y																
118	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	143	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y																
119	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	144	X	2.5	0	0.8	0.4	1.60	1.60	ほ									
	Y									Y																
120	X	2.0	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	145	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y																
121	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い	146	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y																
122	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	147	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ									
	Y									Y																
123	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	148	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い									
	Y									Y																
124	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	149	X	2.5	0	0.8	0.4	1.60	1.60	ほ									
	Y									Y	2.5	0	0.8	0.4	1.60											
125	X	2.5	0	0.5	0.6	0.65	0.65	ろ	150	X	0	0	0.5	0.6	-0.60	-0.60	い									
	Y									Y																

※柱番号は、図面番号AK7029 耐力壁配置図を参照のこと
 ※使用金物は同等以上の耐力を有するものを使用すること

検 当	一級建築士事務所 青森県知事登録第1283号 有限会社 アトリエアーク 一級建築士事務所 青森県弘前市北園2-11-11 0172383000 一級建築士 国土交通大臣登録第184475号 前田卓
704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設管理待合棟 接合金物算定表
AK-039	一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(335)71701 一級建築士 国土交通大臣登録第9420号 橋本功



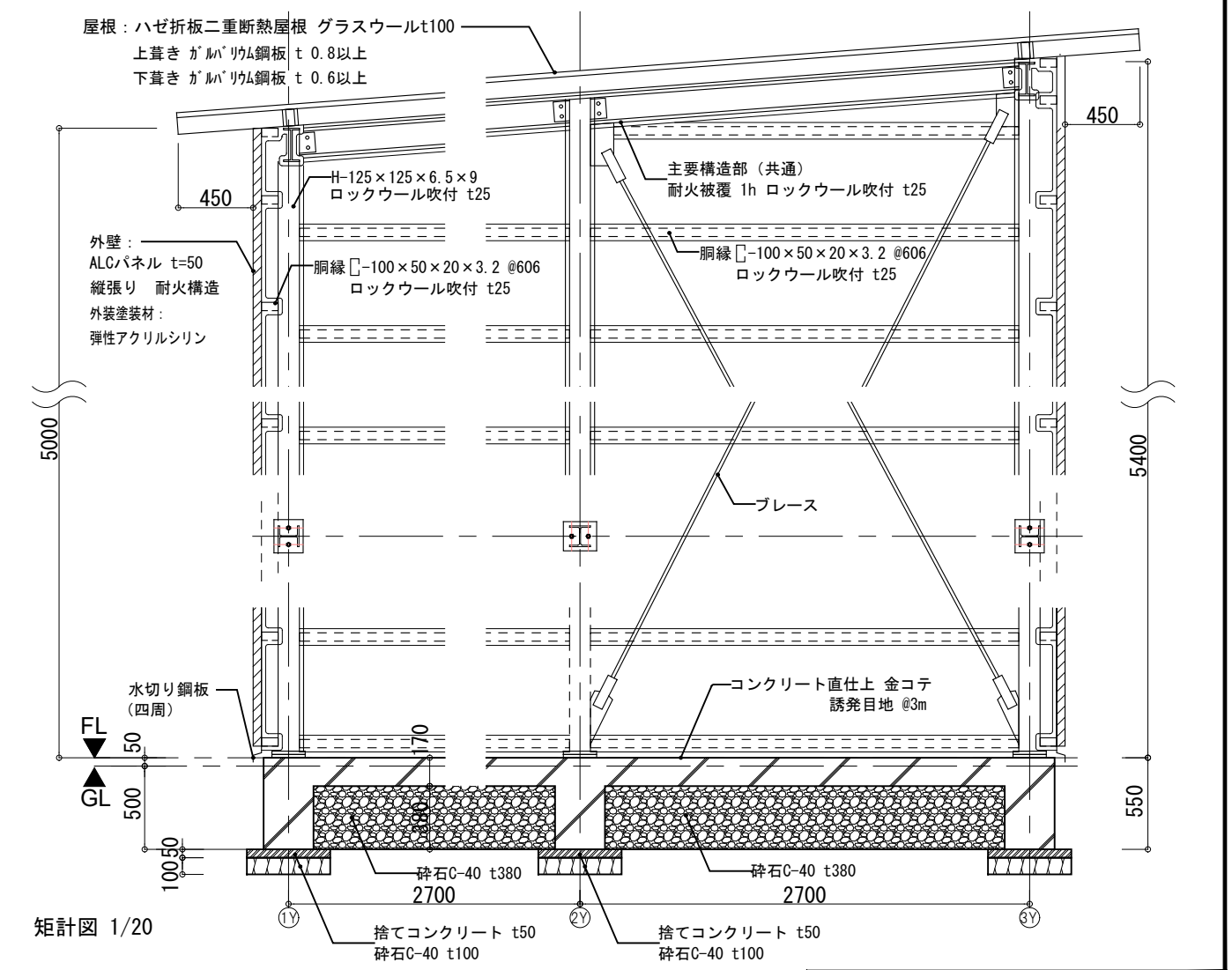
仮設動物炉棟設置工事 床面積：59.41m² 耐火構造(1時間)

1. 建設の目的
 長寿命化改修工事で計画されている既設の動物炉棟の改修及び炉の更新にむけて、予め火葬炉を配した仮設動物炉棟を設置し、動物火葬業務の停止をさせることを目的とする。

2. 仮設動物炉棟の外装・内装・付帯設備 (構造は構造図による)
 構造：S造 主要構造部 (柱・梁・壁・床・屋根) 耐火被覆 (1時間) ロックウール吹付 t25
 屋根：ハゼ折板二重断熱屋根：上葺 ガルバリウム鋼板 t0.8 下葺 ガルバリウム鋼板 t0.6
 グラスウールt100 密度10kg/m³ 面戸 (水上/軒先) 断熱金具ケラバ共
 ヨドローフ断熱工法108ハゼ (淀川製作所) 耐火認定FT030RF0101同等品
 外壁：ALCパネル (平板) t50 目地処理共 弾性アクリルシン吹付 (下塗1回)
 鋼筋C-100×50×20×3.2@606
 炉室：床：コンクリート金鍍仕上げ、防塵塗装、誘発目地 定規空目地20×10
 壁：ロックウール吹付 t25 直仕上げ
 天井梁：ロックウール吹付 t25 直仕上げ
 休憩室・洗面室：床：コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装 巾木：ビニール巾木 H75
 壁：LGS下地石膏ボードt12.5+12.5 EP-G (B種)
 天井：LGS下地石膏ボードt9.5 下地ロックウール吸音板t12 廻り縁 (塩ビ)
 流し台：L1200作業台付き (既製品)、洗面台：W750×D490×H815 (TOTOLDG75BAGES1A)
 シャワーユニット：800×1200×2030 TOTQJSV0812L 同等品
 トイレユニット：800×1200×2030 TOTQJCV0812シリーズ 同等品
 機械設備工事：温水器 (シャワー用)、消火器 (炉室内1ヶ所)、給排水工事、空調機
 電気設備工事：給湯室 (流し台廻り)、配線工事、コンセント、スイッチ

面積算定
 10.280 x 5.780 = 59.41840
 =59.41m²
 ※平面図記載寸法より

① AD W×H:1.8×2.0 1ヶ所 アルミ製額入両開きドア	② AD W×H:0.9×2.0 1ヶ所 アルミ製片開きドア	③ AD W×H:0.7×2.0 1ヶ所 アルミ製片開きドア	① AW W×H:1.1×0.5 1ヶ所 アルミ製引違窓	① SS W×H:2.4×4.0 1ヶ所 スチール製防火シャッター
枠見込70, シルバー 付属金物一式 丁番 ハンドル握手 錠、DC 型板ガラスt6 クツズリ「 水切り ステンレス	枠見込70, シルバー 付属金物一式 丁番 ハンドル握手 錠、DC クツズリ「 ステンレス	枠見込70, シルバー 付属金物一式 丁番 ハンドル握手 錠、DC クツズリ「 ステンレス	枠見込70, シルバー 付属金物一式 型板ガラスt6	2.4 レール ステンレス フラット SOP B種 クツズリ ステンレス



※鉄骨廻り納まり詳細図は構造図による。

704 令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事 (建築工事)
 仮設動物炉棟 平面図・立面図・断面図
 AK-040 検図
 一級建築士事務所 東京都知事登録第16680号
 株式会社 前川建築設計事務所
 東京都新宿区四谷本町4-5 03(3351)7101
 担当 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功
 A1:S=1/20, 1/50, 1/30
 A3:S=1/40, 1/100, 1/50

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様、特記仕様、図面による。
 - (b) 本標準図は鋼材の厚さが40mm以下の工事に適用する。但し、ベースプレートの厚さは除く。
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。
- (2) 作業一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る。
 - (b) 鋼管部材の分岐手前の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
 - (c) 高張力鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする。
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本図に使用するボルトと仮締めボルトの併用はしてはならない。
 - (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、50µmRz以上である場合は、さびの発生は要しない。
 - (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。
- (4) 溶接接合
- (a) 平成12年建設告示第1464号第二号イ、ロによる。溶接性の性能、溶着金属の性能を満足する事。
 - (b) 溶接技術者
 - 溶接技術者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
 - (c) 溶接機器
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
 - (ロ) アークエアークラウジング機(直流)
 - (ハ) サブマージアーク溶接機一式
 - (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ヒ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ヘ) 溶接機乾燥機
 - (d) 溶接方法
 - アーク手溶接(MC)
 - セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)
 - ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 - アークエアークラウジング(AAG)
 - (e) 溶接姿勢
 - 下向 F
 - 立向 V
 - 横向 H
 - 上向 O
 - (f) 組立溶接技術者は、原則として本工事に従事する者が行う。
 - (イ) 仮付位置
 - 組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。
 - (ロ) 完全溶込み溶接部分の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。
 - (g) 溶接施工
 - (イ) エンドタブ
 - I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同形状のエンドタブを取り付ける。
 - II) エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分な実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には監督者の承認を受けて他の方法とすることが出来る。
 - III) エンドタブの長さは、MC:35mm以上
 - NGC, GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度熱し切断して、グラインダー仕上げとする。
 - IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る。
 - (ロ) 裏あて金
 - 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、幅は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば管理者の承認を得て変更することができる。
 - (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルアールとする。但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする。
 - (ニ) ノンスカラップ工法
 - (h) 裏はつり
 - 現場図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、アークエアークラウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける。
 - (ハ) 現場溶接の裏面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、隅部を傷めない様に、養生を行う。
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接標準図

(注) t: 余盛 G: ルート開削 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

(1) スミ肉溶接

t ≤ 10mm			
t	7以下	8~10	11~13
S	6	7	10
			12

- 片側溶接の場合はS=tとする
- tはt1, t2 の小なる方とする
- 余盛は(1+0.1S)mm以下とする
- 軸力が加わる場合はSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所)に注意

t/4 ≤ f ≤ 10mm			
t	t > 10mm		
溶接姿勢	F, V		

- 両側に補強すみ肉溶接を付加する

(3) 完全溶け込み溶接 (平継手 T形継手)

平継手

t/4 ≤ f ≤ 10mm			
t	6 < t < 19mm		
溶接姿勢	F, V		

T形継手

t/4 ≤ f ≤ 10mm			
MC	NGC	GC	
tmm	θ	G	t1 L θ G t1 L
6 < t < 12	45°	6	6 5 45° 6 6 5
12 < t < 16	35°	9	9 8 45° 6 9 8
16 < t	35°	9	9 8 35° 9 9 8
溶接姿勢	F, V		

- 両側に補強すみ肉溶接を付加する AAG

T形突合せ継手余盛

t/4 ≤ f ≤ 10mm			
のど厚1mm	余盛の高さmm		
t ≤ 4	1		
4 < t ≤ 12	2		
12 < t ≤ 19	3		
t > 19	4		
t	t ≥ 19mm		
溶接姿勢	F, V		

- AAG
- 両側に補強すみ肉溶接を付加する

0 < f ≤ 3.0mm (ただし、t ≥ 15mm の時 4.0mm とする)

t/4 ≤ f ≤ 10mm の場合			
平継手で板厚が異なる時			
t	6 < t < 19mm		
溶接姿勢	F, V		

- 両側に補強すみ肉溶接を付加する

0 < f ≤ 3.0mm (ただし、t ≥ 15mm の時 4.0mm とする)

t/4 ≤ f ≤ 10mm の場合			
MC	NGC	GC	
tmm	θ	G	t1 L θ G t1 L
6 < t < 12	45°	6	6 5 45° 6 6 5
12 < t < 19	35°	9	9 8 45° 6 9 8
t > 19	35°	9	9 8 35° 9 9 8
溶接姿勢	F, V		

- 両側に補強すみ肉溶接を付加する

(4) フレア溶接

寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

- フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする
- 9mm~10mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
- 溶接傾角θは 30°~40°とする

● BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

ダイヤフラム厚さは、接合する柱、梁の最大厚さの2サイズアップ以上とする。
 <柱材料: BCR295, BCP325を使用する場合>
 ダイヤフラムは、柱フランジ厚 16mm未満の場合 SN490C, SN490B
 柱フランジ厚 16mm以上の場合 SN490C を使用する。

● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料と入熱量・パス温度	
	溶接材料	入熱(kJ/cm) パス温度(°C)
400N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40以下 350以下
	YGW-11, 15	
	YGW-18, 19	
	JIS Z 3315	
490N/mm ² 級鋼	YGA-50W, 50P	40以下 350以下
	JIS Z 3312	
	YGW-11, 15	
	YGW-18, 19	
	JIS Z 3315	40以下 350以下
YGA-50W, 50P		

注) STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312のみ使用可
 製作工場のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件の制限事項に従う。

● BH方式

● t > 16mm の場合の溶接は、③~⑤とする。

● t > 16mm の場合の溶接は、③~⑤とする。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1.一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
 d: 異形棒鋼の呼び名に用いた数値(径) D: 部材の成、又は鉄筋内法直径
 @: 間隔 r: 半径 c: 中心線 l_o: 部材間の内法距離 h_o: 部材間の内法高さ
 ST: あばら筋 HOOP: 帯筋 S.HOOP: 補強帯筋

2.鉄筋加工

(1) 鉄筋の折り曲げ加工

折り曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上	8d以上

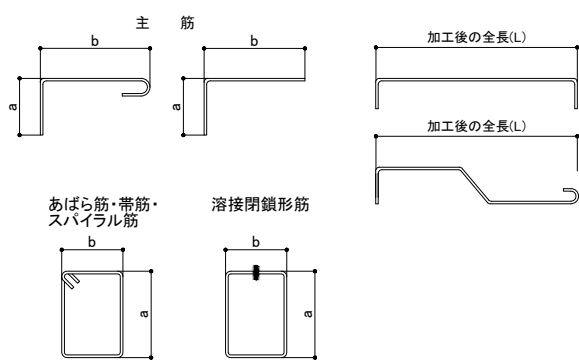
折り曲げ内法寸法Dは、SD345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上
 SD390のD41以下と、SD490のD25以下は5d以上、SD490のD29以上は6d以上

- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
 (2) スパイラル筋の重ね継手部に90° フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
 (3) 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フックまたは135° フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
 (4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
 (5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
 (6) SD490の鉄筋を90° を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

(2) 加工寸法の許容差

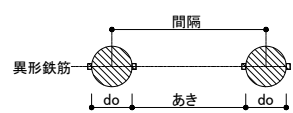
項目	符号	許容差	
各加工寸法 ※	主筋	D25以下 D29以上D41以下	a, b ± 15 ± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a, b	± 5
加工後の全長	L	± 20	

[注] ※各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



(3) 鉄筋のあき

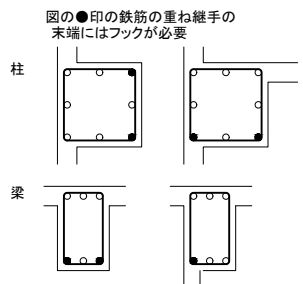
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



(4) 鉄筋のフック

※ a~fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける。

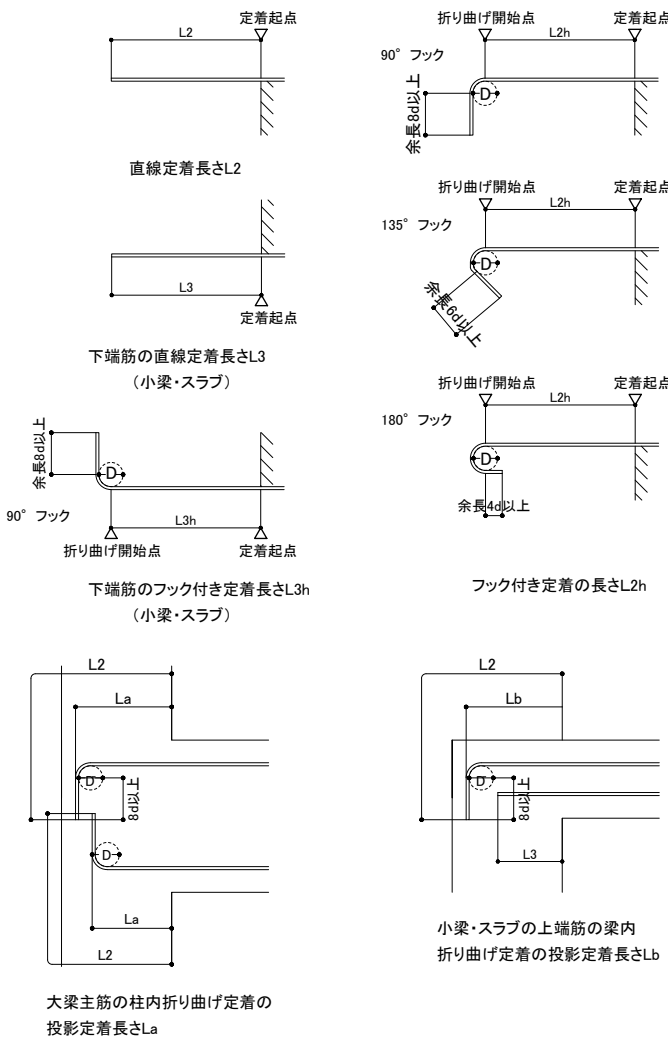
- あばら筋、帯筋、および幅止め筋
- 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
- 柱、梁(基礎梁を除く)の出隅部分および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所



(5) 定着長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²)	定着の長さ						
		一般				小梁下端筋	スラブ下端筋	
		L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La ※	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)	L3 (フックなし)
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10dかつ150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24~27	30d	20d	15d	15d			
	30~36	30d	20d	15d	15d			
	39~45	25d	15d	15d	15d			
	48~60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10dかつ150以上
	21	35d	25d	20d	20d			
	24~27	35d	25d	20d	15d			
	30~36	30d	20d	15d	15d			
	39~45	30d	20d	15d	15d			
	48~60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10dかつ150以上
	24~27	40d	30d	20d	20d			
	30~36	35d	25d	20d	15d			
	39~45	35d	25d	15d	15d			
	48~60	30d	20d	15d	15d			
	SD490	24~27	45d	35d	25d			
	30~36	40d	30d	25d	-	-	-	-
	39~45	40d	30d	20d	-	-	-	-
	48~60	35d	25d	20d	-	-	-	-

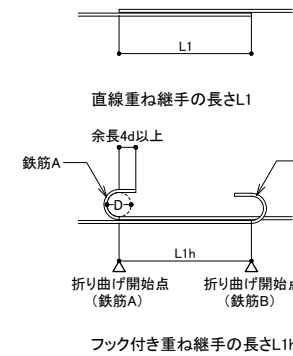
- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
 (2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
 (3) ※梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長さをL2以上とするとともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする。
 (4) 耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



(6) 継手

■重ね継手

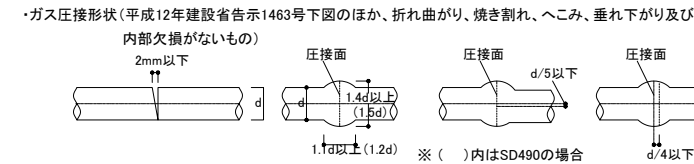
鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24~27	35d	25d
	30~36	35d	25d
	39~45	30d	20d
	48~60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24~27	40d	30d
	30~36	35d	25d
	39~45	35d	25d
	48~60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24~27	45d	35d
	30~36	40d	30d
	39~45	40d	30d
	48~60	35d	25d
	SD490	24~27	55d
	30~36	50d	35d
	39~45	45d	35d
	48~60	40d	30d



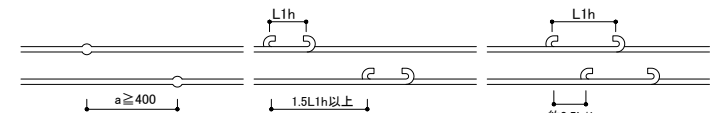
- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
 (2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
 (3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

■継手に関する注意点

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。



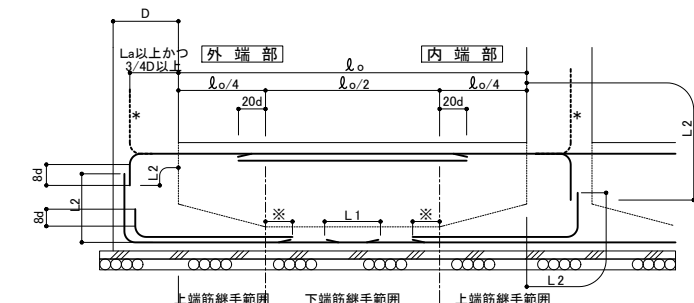
・圧接継手



- 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定を受けたA級継手工法とする。
- 非破壊検査は工事監理者が承認した信頼できる検査機関で行うこと。

3.地中梁

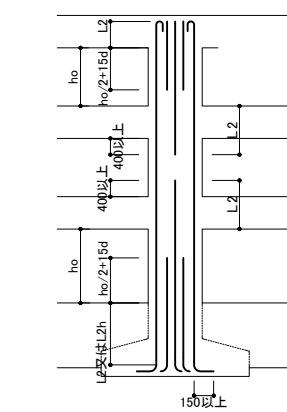
布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



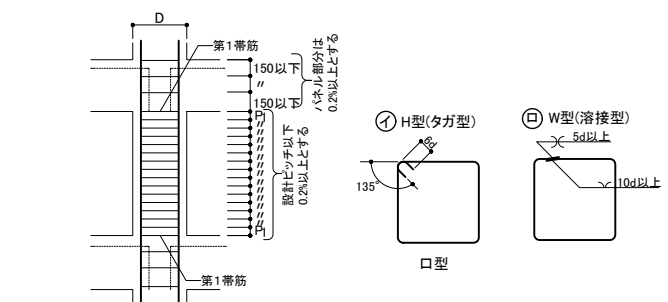
※主筋のカットオフ長さは l_o/4+15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

5.柱

(1) 柱主筋の定着



(2) 帯筋



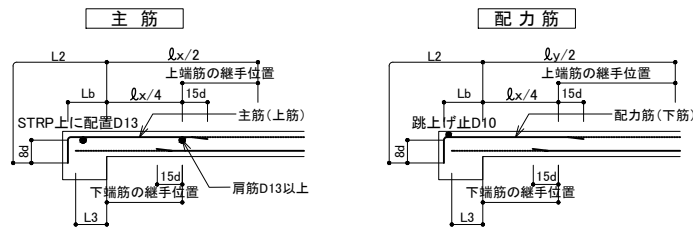
- 注1. 第1帯筋は、梁づらに入れる。
 注2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける。
 注3. フック及び継手の位置は、交互とする。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

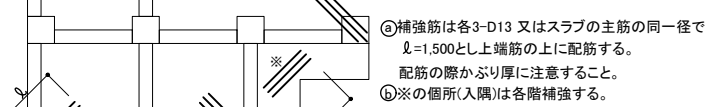
8. 床板

(1) 定着および継手

一般床スラブ(四辺固定)

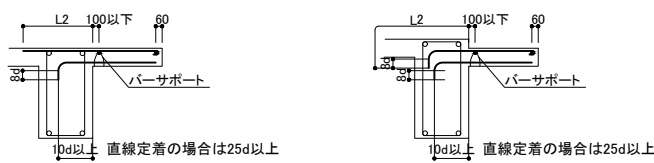


(2) 屋根スラブの補強

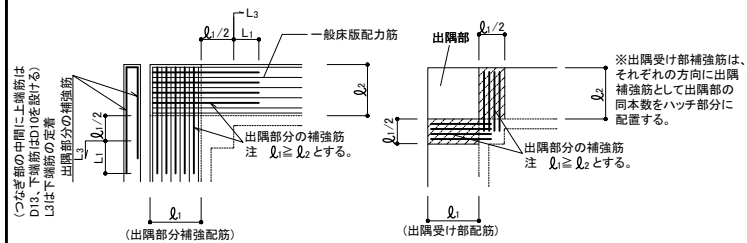


(3) 片持床スラブ定着及び出隅部補強

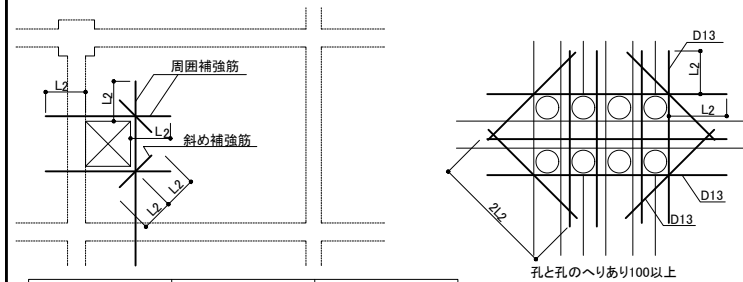
◎片持床スラブ定着



◎片持スラブ出隅部補強 注)出隅部の補強筋は、計算により算出する。



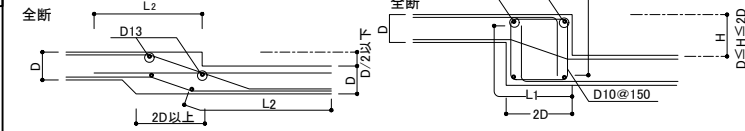
(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)



床板厚さD	周囲	斜め
$D \leq 150$	各2-D13	各1-D13
$150 < D \leq 300$	各2-D13	各2-D13
$300 < D \leq 500$	各2-D19	各2-D16

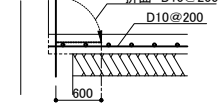
注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

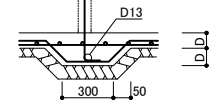


(6) 土間コンクリート

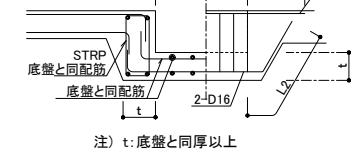
◎軽作業の土間



◎間仕切壁との交叉部



(7) 釜場



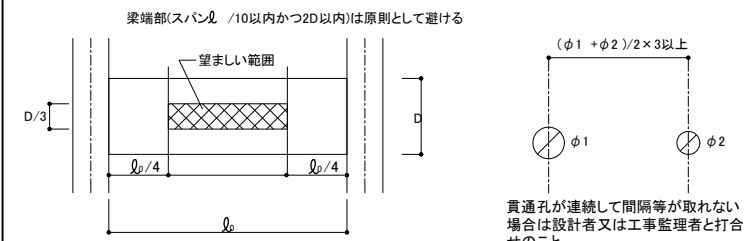
(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎについて)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- 無筋部分D10@200 長さ800以上

11. 梁貫通孔補強

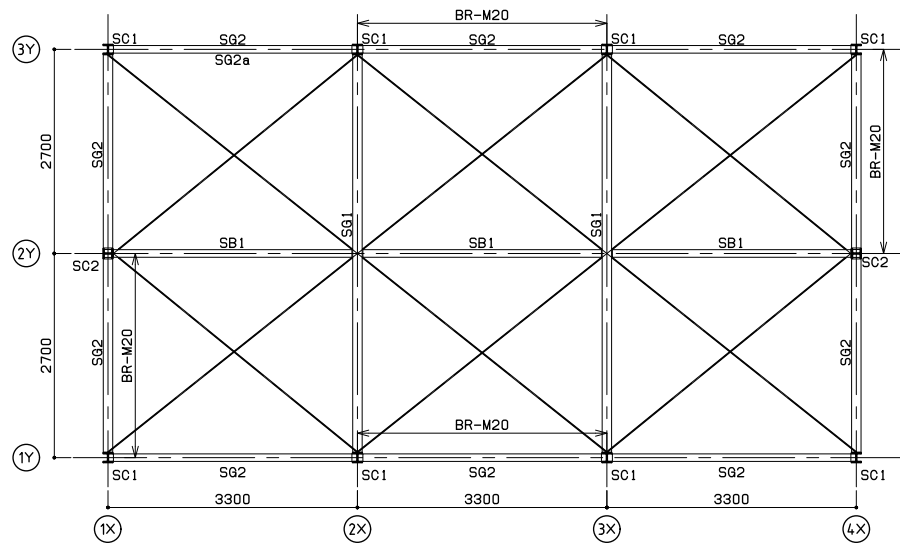
(開口補強筋については計算により確認すること)

(1) 設置可能範囲

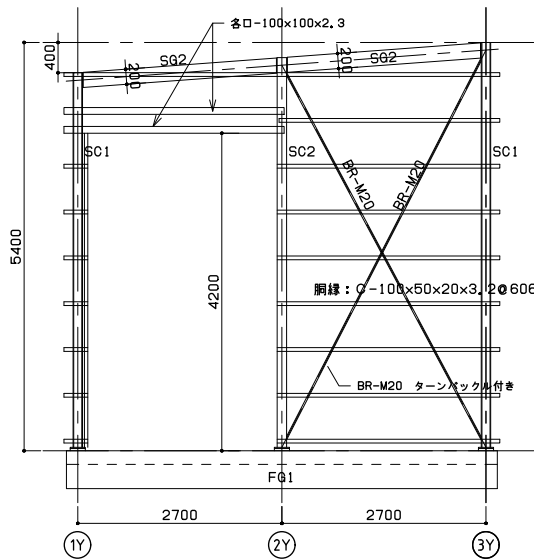


(2) 既製品 (指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打ち合わせのこと)

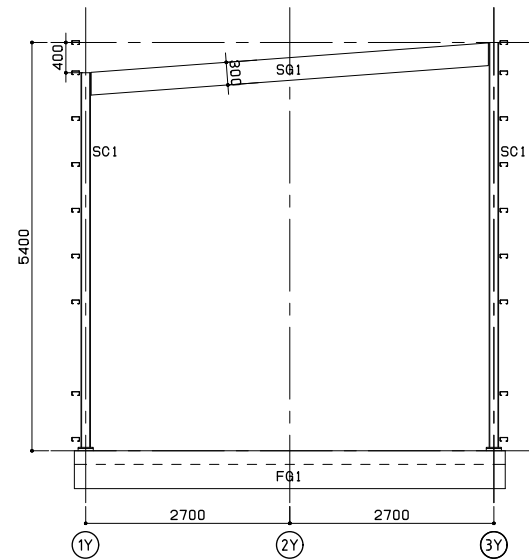
- 製品名 MAXウェブレ
- 施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
- 設計時に使用する評価取得品については計算書を提出すること。



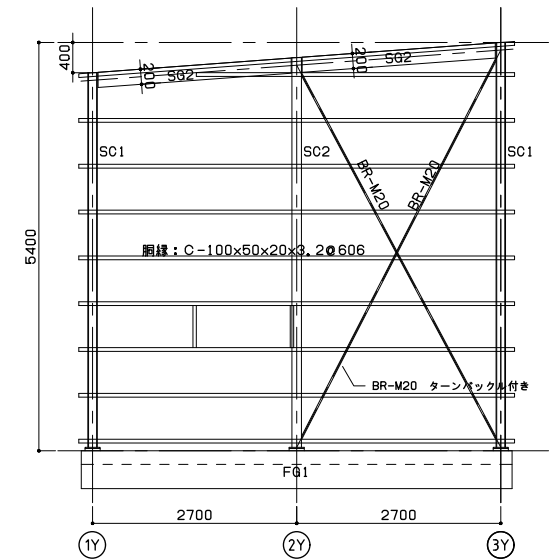
屋根伏図 S=1/50 水平ブレース: BR-M12



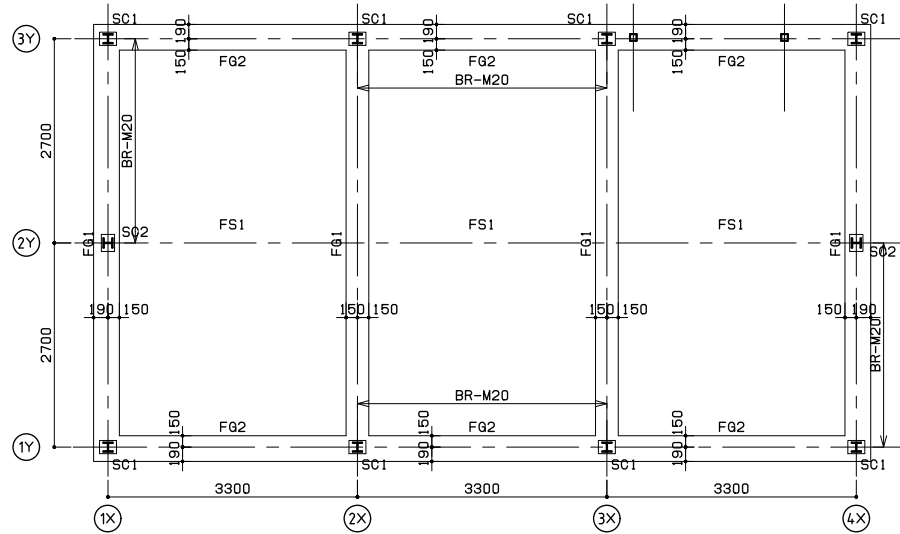
1X通り軸組図 S=1/50



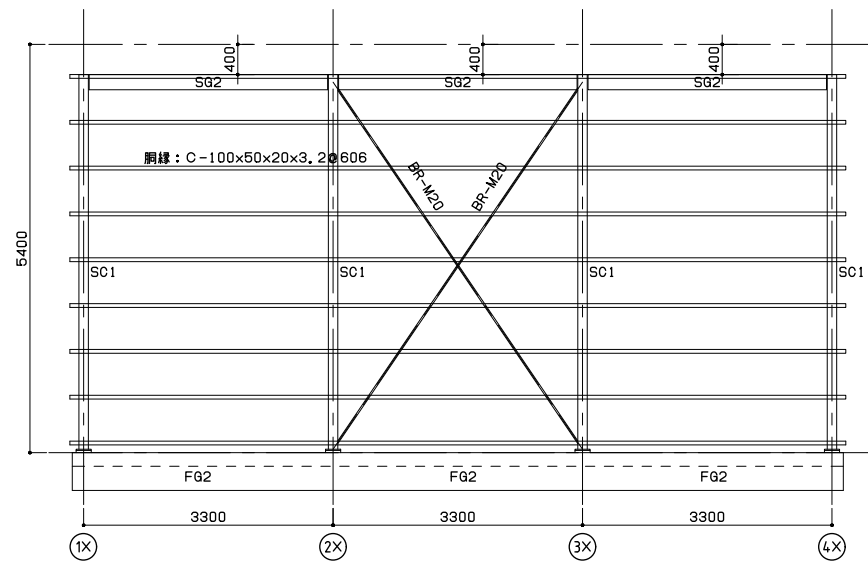
2X・3X通り軸組図 S=1/50



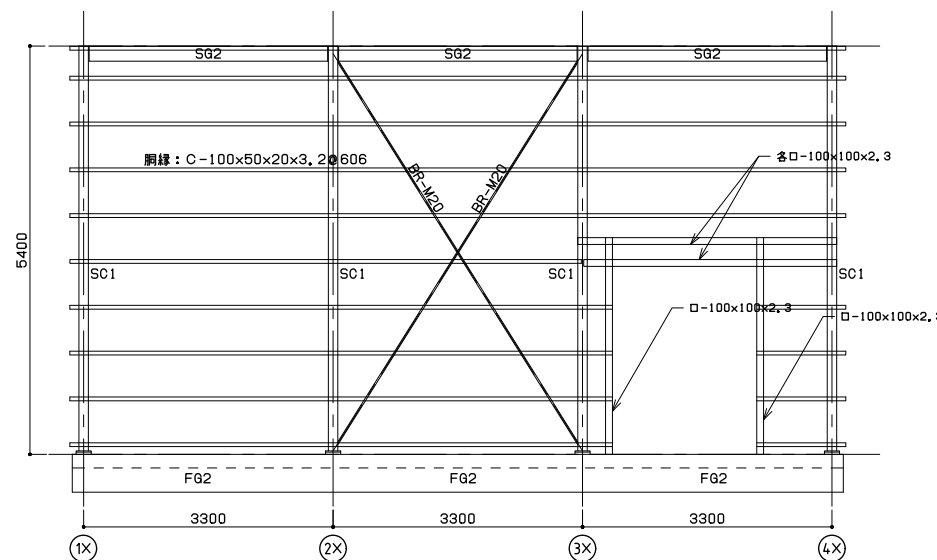
4X通り軸組図 S=1/50



1階伏図 S=1/50



1Y通り軸組図 S=1/50



3Y通り軸組図 S=1/50

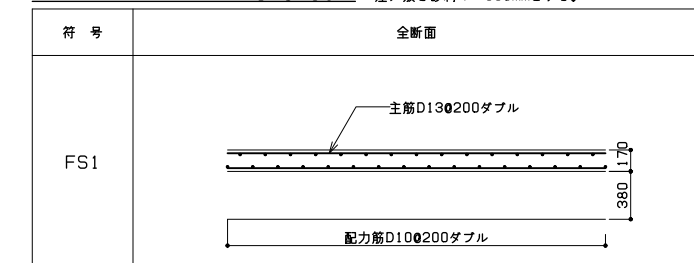
基礎梁断面表 S=1/30

注) 1) 捨コン t=50mm, 敷き砂利 t=100mmとする。

符号	FG1		FG2
	両端	中央	全断面
位置			
断面			
B x D	300 x 500		340 x 500
上端筋	2-D19	5-D19	2-D19
下端筋	2-D19	2-D19	2-D19
スターラップ	2-D100200		2-D100200
腹筋	-		-

基礎スラブ断面表 S=1/30

注) 敷き砂利 t=380mmとする。



使用材料	
コンクリート	普通コンクリート Fc=21N/mm ² スランプ 18cm 空気量 4.5±1.5 (%)
鉄筋	SD295A D10~D16 規格品 SD345 D19 以上 規格品 継ぎ手は特記無き場合、重ね継ぎ手とする
鉄骨	鋼材: SS400 SSC400 アンカーボルト: SS400級 高力ボルト: S10T

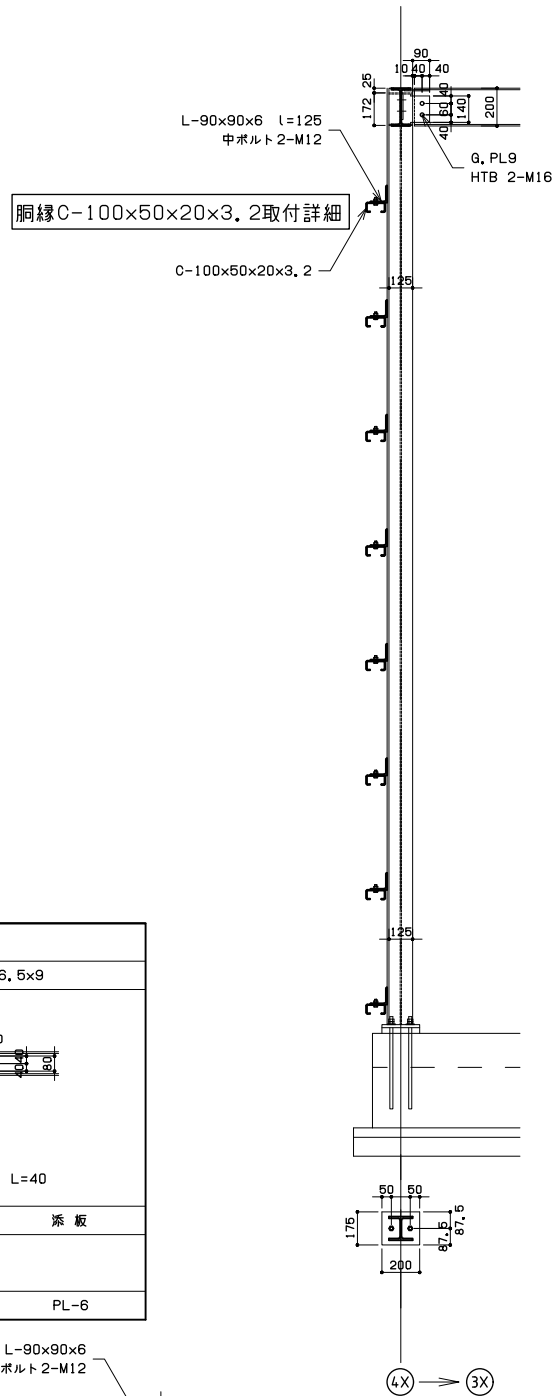
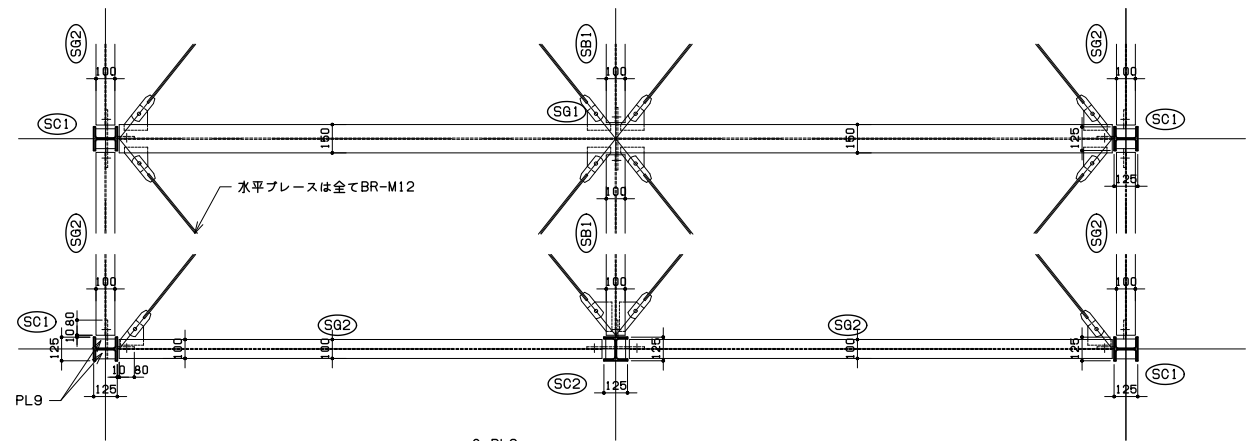
DRAWN BY Ishikawa	CHECKED BY	704	令和7年度 弘前市斎場長寿命化改修工事(建築工事) 仮設動物処理棟 伏図・軸組図・RC断面リスト
株式会社 林・石川構造設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第64284号 東京都新宿区四谷本町4番5号 03(5315)0275		AK-045 S=1/50(A1) S=1/100(A3)	検査 株式会社 前川建築設計事務所 東京都新宿区四谷本町4-5 03(3351)7101 一級建築士 国土交通大臣登録第94270号 橋本功

柱断面表

レベル	符号	SC1	SC2
FL+3.5 IFL	断面		
	寸法 規格	H-125x125x6, 5x9 SS400	H-125x125x6, 5x9 SS400
柱脚	断面		
	既成柱脚 ベースプレート アンカーボルト コンクリート柱断面 立上り筋 フープ筋 特記	- 275x175x16(SS400) 4-M16(SS400級) 300 x 300 4-D13(SD295A) □-D100x200(SD295A) -	- 275x175x16(SS400) 4-M16(SS400級) 300 x 300 4-D13(SD295A) □-D100x200(SD295A) -

ブレース断面表 S=1/20

水平ブレース BR-M12	鉛直ブレース BR-M20
JIS規格品 M12 (SS400級) ターンバックル付き	JIS規格品 M20 (SS400級) ターンバックル付き



鉄骨梁断面表

符号	SG1	SG2	SG3	SB1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
部材	H-300x150x6, 5x9	H-200x100x5, 5x8	H-125x125x6, 5x9	H-200x100x5, 5x8
材質	SS400	SS400	SS400	SS400
継手	JP1	JP2	JP3	JP2

SG3は弱軸使い

継手断面表

フランジのボルト数、添え板数は片側フランジ分を示す。
特記無きは、添板 SS400、高力ボルト S10Tとする。

JP1		JP2		JP3	
H-300x150x6, 5x9		H-200x100x5, 5x8		H-125x125x6, 5x9	
S10T M16 L=40		S10T M16 L=35(SB1) S10T M16 L=40(SB2)		S10T M16 L=40	
部位	ボルト	添板	部位	ボルト	添板
フランジ			ウェブ		
ウェブ	3-M16	PL-9	ウェブ	2-M16	PL-9 (SB1はPL-6)

